

一般財団法人下関市公営施設管理公社定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人下関市公営施設管理公社（以下「公社」という。）という。

(事務所)

第2条 公社の主たる事務所は、山口県下関市唐戸町4番1号カラトピア4階に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 公社は、下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等と密接な連携を保ち、下関市が設置する施設及び下関市内及びその周辺地域に設置された国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等の施設の管理運営について、下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は他の公共団体等から指定管理者の指定、業務の委託を受け、又は施設を借り受け、効率的に当該施設の設置目的等を達成することにより、市民等の福利厚生の上及び地域社会の健全な発展に寄与すること、その他市民の利便性の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 公社は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等から指定管理者の指定を受けて、又は業務の委託を受けて行う前条に規定する施設の管理運営
- (2) 管理運営する施設を利用した市民、勤労者及び高齢者並びにその他公衆の教養及び文化の向上に関する事業
- (3) 管理運営する施設を利用した市民、勤労者及び高齢者等の健康と福祉の増進並びに公衆衛生の向上を目的とする事業
- (4) 管理運営する施設を利用した市民、勤労者及び高齢者等の体育の振興を図るための事業
- (5) 管理運営する施設を利用した地域交流の場の提供
- (6) 駐車場及び駐輪場の管理運営等地域の健全な発展を目的とする事業
- (7) その他公社の目的を達成するために必要な事業

第3章 財産及び会計

(基本財産)

第5条 会社の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、会社の基本財産とする。

2 基本財産は、会社の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

3 基本財産の維持及び処分について必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(事業年度)

第6条 会社の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 会社の事業計画書及び収支予算書は、理事長が作成し、毎事業年度開始の日の前日までに理事会の決議を経て、評議員会へ報告するものとする。これを変更する場合も同様とする。

(事業報告及び決算)

第8条 会社の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 公益目的支出計画実施報告書

(公益目的支出計画の実施が完了したことの確認を受けるまでの期間に限る)

(4) 貸借対照表

(5) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(6) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第5号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号及び第3号の書類についてはその内容を報告し、第4号及び第5号の書類については承認を受けなければならない。

(剰余金の処分制限)

第9条 会社は、剰余金の分配を行わない。

第4章 評議員

(定数)

第10条 公社に、評議員3名以上5名以内を置く。

(選任等)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第179条から第195条の規定に従い、評議員会の決議により行う。

2 評議員は、公社又はその子法人の理事又は監事若しくは使用人を兼ねることができない。

(任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(報酬等)

第13条 評議員に対して、各事業年度の総額が42万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

第5章 評議員会

(構成及び権限)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2 評議員会は、次の事項を決議する。

(1) 理事及び監事の選任及び解任

(2) 理事及び監事に対する報酬等の額又はその支給の基準

(3) 評議員に対する報酬等の支給の基準

(4) 定款の変更

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認

(6) 残余財産の帰属

- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
 - (8) 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
 - (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項
- (開 催)

第 1 5 条 評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会とする。

- 2 定時評議員会は、毎事業年度終了後 3 ヶ月以内に開催する。
- 3 臨時評議員会は、必要がある場合には、いつでも開催することができる。

(招 集)

第 1 6 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き理事会の決議に基づき、理事長が招集する。

- 2 前項にかかわらず、評議員は理事に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。
- 3 前項による請求があったときは、理事長は遅滞なく評議員会を招集しなければならない。
- 4 第 2 項の請求をした評議員は、次の場合には、裁判所の許可を得て、評議員会を招集することができる。

- (1) 請求後遅滞なく招集の手続が行われない場合。
- (2) 請求があった日から 6 週間以内の日を評議員会の日とする招集の通知が発せられない場合。

(招集の通知)

第 1 7 条 理事長は、評議員会の開催日の 1 週間前までに、評議員に対して、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面により招集の通知を発しなければならない。

- 2 前項にかかわらず、評議員全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく、評議員会を開催することができる。

(決 議)

第 1 8 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上にあたる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準

(3) 定款の変更

(4) 基本財産の処分又は除外の承認

(5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第19条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第20条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第21条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

2 理事長及び出席した評議員の中から選任された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

(評議員会運営規則)

第22条 評議員会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、評議員会において定める評議員会運営規則による。

第6章 役員

(役員を設置)

第23条 会社に、次の役員を置く。

(1) 理事 3名以上10名以内

(2) 監事 1名以上2名以内

2 理事のうち理事長を1名、専務理事を1名とする。

- 3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する代表理事とし、専務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。
(選任等)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び専務理事は、理事会において選定する。
- 3 監事は、公社又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。
- 4 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は三親等以内の親族その他のその理事と一定の特殊の関係のある者である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えてはならない。
- 5 理事長に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記事項証明書等を添え、遅滞なくその旨を認可行政庁に届け出なければならない。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、公社を代表し、その業務を執行する。
- 3 専務理事は、理事長を補佐し、公社の業務を執行する。
- 4 理事長及び専務理事は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、公社の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第23条第1項に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事

としての権利義務を有する。

(報酬等)

第28条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

第7章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 会社の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長及び専務理事の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の5日前までに、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略)

第33条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

第34条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知したときは、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第4項に規定する報告には適用しない。

(議事録)

第35条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

(理事会運営規則)

第36条 理事会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会運営規則による。

第8章 定款の変更及び解散等

(定款の変更)

第37条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条並びに第11条についても適用する。

(解散)

第38条 公社は、基本財産の滅失によるこの公社の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(残余財産の帰属)

第39条 公社が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第40条 公社の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般財団法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1

項において読み替えて準用する第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、一般財団法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

- 3 会社の最初の理事長は、肥塚光志とする。
- 4 会社の最初の評議員は、別紙評議員名簿に掲げる者とする。

別表 基本財産

定期預金 11,000,000円

別紙

一般財団法人下関市公営施設管理公社評議員名簿

区分	氏名
評議員	吉川 宗利
評議員	高山 剛
評議員	近藤 洋平
評議員	森 邦恵
評議員	小野 哲

一般財団法人下関市公営施設管理公社 役員名簿

平成27年8月1日現在

役職名	氏名	備考 〔所属団体役職名〕	勤務形態
1 理事長	波多野 実	下関市(元総合政策部政策調整監)	常勤
2 専務理事	佐村 敏	専務理事	常勤
3 理事	松崎 淳志	下関市総務部長	非常勤
4 理事	久保 正昭	下関市観光交流部長	非常勤
5 理事	来島 あゆり	下関商工会議所総務課長	非常勤
6 理事	石津 文秀	山口県国際総合センター常務理事 下関市(元下関市役所川中支所長)	非常勤
7 監事	井上 浩	下関市会計管理者	非常勤
8 監事	岡田 健	税理士法人維新税理士	非常勤
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

平成 26 年度

一般財団法人下関市公営施設管理公社

事業報告書及び収支決算書

一般財団法人下関市公営施設管理公社

目 次

○ 事業概要	1
I. 評議員・役員名簿	2
II. 理事会・評議員会の開催状況	3
III. 事業報告書	
実施事業等会計	
実施事業	3
その他会計	
1. 火の山地区観光施設	4
2. 下関市火の山ロープウェイ	5
3. 下関市勤労青少年ホーム	6
4. 唐戸市場駐車場	7
5. 下関市長府体育館	8
6. 下関市市民プール	9
7. 下関市彦島体育館	10
8. 下関市立美術館	11
9. 下関市勤労者総合福祉センター	12
10. 長府庭園	13
11. 下関市ふれあい健康ランド	14
12. 長府毛利邸	15
13. 粗大ごみ等受付センター	16
14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場	17
15. 下関市満珠荘	18
16. 下関市営宿舍サングリーン菊川 菊川温泉プール	19 20
17. 売店	21
18. 駐車場	22
法人会計	
本社・福利厚生事業	23
○ 平成26年度 利用状況表	24
○ 財務諸表及び附属明細書並びに財産目録	29
貸借対照表	30
正味財産増減計算書	31
貸借対照表内訳表	33
正味財産増減計算書内訳表	35
財務諸表に対する注記	37
附属明細書	39
財産目録	40
○ 監査報告	41

事業概要

当社は、平成25年4月、国の公益法人制度改革により、従来の民法上の財団法人から一般社団法人法に基づく一般財団法人としてスタートしました。

その設立目的は、定款に定めるとおりですが、従来とは異なり、活動エリアの拡大や地域交流活動の場の提供など、時代の要請に沿って、事業活動の範囲が広がり、地域における社会活動の担い手としての役割が期待されています。

平成25年度からスタートした「公社経営改革」の取り組みは、市長の諮問機関である「経営検討委員会」の答申や「市改革プラン」の意見により、公社が引き続き存続するための必須条件として改善すべき事項が指摘されています。そのための改革の柱は、公社全体の収支改善を図るための「経営改善計画」において、初めに中小企業診断士の経営指導のもと、特に利用料金制の指定管理事業である満珠荘とサングリーン菊川の2施設における、新たな営業戦略方針による各種の営業戦略プランを実践し、速やかな経営分析とその対応が可能となるようにしました。次は自主事業の拡大ですが、社会情勢の変化に適応した公共施設の柔軟な対応が期待される中で、施設の性格や地域特性を活かし、かつ自主財源の確保に繋がる自主事業の拡大が必要であるとの認識のもとに、自主事業の実施マニュアルを作成し、これまでにない創意工夫を凝らした新たな取り組みに挑戦しています。その結果、事業規模は順調に拡大しています。更に人事給与制度の基本となる成長給制度の導入については、従来の年功序列制度から、成長シートの客観的評価による成長給制度への移行作業を進めました。本年度に試行を行い、予定どおり平成27年度から本格実施となります。

これらの取り組みの成果として、退職手当規程の改正など所要の制度や運用の改善を行ったことから、公社に対する市の公的支援は、当初の平成26年度限りから平成28年度までに延長され、特に指定管理事業については、次期選定時には非公募を基本とすることになりました。ただし、公社としては、こうした支援に甘んじることなく、今後の事業獲得のための独自の施策として、2名の体育施設管理士の資格取得や、平成26年2月にキックオフした個人情報保護に係るプライバシーマーク認証取得の作業に鋭意取り組んだ結果、平成27年4月に無事認証を取得しました。

また、経営基盤安定の基礎となる人材育成については、新たに研修計画を策定し、年間を通じて計画的かつ効果的に実行することとしました。市の研修にも参加することができ、ハイレベルでのスキルアップを図っています。

こうした本年度における内部執行体制の基盤固めと営業体制の強化に引き続き、新年度の最大の目標は、指定管理事業の選定替えに係る継続受注の確保とその方策にあります。そのため、現状の少子高齢社会が進展する中で、公共施設の今後のあり方を念頭において、各施設の運営戦略を検討するためのPTを結成して作業を進めることとしています。

最後に、本年度の事業実績については、前年度同様、実施事業等会計1事業、その他会計は、指定管理事業11事業、受託事業等7事業の18事業、法人会計の1事業の合計20事業となっています。収支については、経営収支がマイナスの赤字事業が5事業、プラスの黒字事業が15事業であり、前年度より改善しています。また、全体収支における一般正味財産期末残高は、前年度は、約108万円が、今年度は約286万円と約178万円増加しています。さらに施設の利用状況については、別添利用状

況表のとおりで、景気の低迷や天候の影響などにより、施設間で多少の増減はあるものの、ほぼ前年度並となっています。ただし、懸案の宿泊事業の2施設については、利用者の落ち込みはないものの営業収支が対前年度に比して大幅に悪化していることから、新年度は利益幅拡大のための施策に力点を置いて鋭意努力することとします。

平成27年度以降についても、経営検討委員会や市、関係機関との連携を図りながら、経営目標の達成を目指して、引き続き公社経営改革に前向きに取り組むこととします。

I. 評議員・役員名簿

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	職業	任期
評議員	吉川宗利	平成25年4月1日	下関市役所顧問	平成29年度定時評議員会 終結の時まで
〃	高山剛	平成25年4月1日	下関商工会議所 総務部 部長	平成29年度定時評議員会 終結の時まで
〃	蟻尾定夫	平成26年6月1日	一般社団法人下関 観光コンベンション協会 専務理事	平成30年度定時評議員会 終結の時まで
〃	森邦恵	平成25年4月1日	下関市立大学 准教授	平成29年度定時評議員会 終結の時まで
〃	久野耕一郎	平成26年7月1日	株式会社山口銀行 取締役 本店営業部 部長	平成30年度定時評議員会 終結の時まで
理事長	波多野実	平成26年4月1日	当管理公社 常勤役員	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
理事	松崎淳志	平成25年5月30日	下関市役所 総務部 部長	平成27年度定時評議員会 終結の時まで
〃	久保正昭	平成26年5月30日	下関市役所 観光交流部 部長	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
〃	来島あゆり	平成26年5月30日	下関商工会議所 総務課 課長	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
〃	石津文秀	平成26年5月30日	一般財団法人山口県 国際総合センター 常務理事	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
監事	中村文昭	平成24年4月1日	下関市役所 会計管理者	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
〃	岡田健	平成25年3月22日	税理士法人維新 税理士	平成28年度定時評議員会 終結の時まで

II. 理事会・評議員会の開催状況

事項	内容	開催日
第1回理事会	・理事長の選定について	4月1日
第2回理事会	・平成25年度 事業報告及び収支決算について ・平成26年度 定時評議員会の招集について	5月22日
定時評議員会	・平成25年度 事業報告及び収支決算について ・評議員の選任について ・理事の任期満了に伴う改選について	5月30日
第3回理事会	・平成26年度 補正予算について ・平成26年度 第1回臨時評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について	6月23日
第1回臨時評議員会	・評議員の選任について ・平成26年度 補正予算について	6月30日
第4回理事会	・平成26年度 第2回臨時評議員会の招集について ・下関市公営施設管理公社経営検討委員会の内容について ・平成26年度 決算見込みについて	12月22日
第2回臨時評議員会	・一般財団法人下関市公営施設管理公社役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改定について ・下関市公営施設管理公社経営検討委員会の内容について ・平成26年度 決算見込みについて	1月14日
第5回理事会	・平成26年度 補正予算について	2月19日
第6回理事会	・平成27年度 事業計画及び収支予算の承認について ・平成26年度 第3回臨時評議員会の招集について	3月19日
第7回理事会	・監事候補者の推薦について	3月26日
第3回臨時評議員会	・監事の選任について ・平成26年度 補正予算について ・平成27年度 事業計画及び収支予算について	3月27日

III. 事業報告書

実施事業等会計（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

実施事業

(1) 事業概要

一般財団法人へ移行することに伴い、公益目的財産額を計画的に支出する計画を作成し、下関市満珠荘ほか、下関市内の公共施設において実施事業として実施した。

(2) 事業実績

講座名	期間	参加人数
満珠荘 フラワーアレンジメント教室	平成26年6月・9月・12月・平成27年3月 延べ4日	延べ27名
満珠荘 総料理長おすすめの家庭で作れるお店の一品講座	平成26年7月・12月・平成27年1月・3月 延べ4日	延べ84名
満珠荘 ミニ門松作り	平成26年12月26日	20名
長府体育館 綺麗な身体作りエクササイズ	平成26年4月～平成27年3月 毎週水曜日	延べ703名
長府体育館 ユニカール教室	平成27年3月26日	15名
長府体育館 わーいプールでヨーヨー釣って遊ぼうよ！	平成26年8月12日・8月19日・8月26日 延べ3日	延べ108名
下関運動公園 綺麗な身体作りエクササイズ	平成26年4月～平成27年3月 毎週火曜日	延べ653名
下関運動公園 初めてのテニス教室	平成26年7月～8月 延べ7日	延べ14名
下関運動公園 足腰を鍛える太極拳講座	平成26年7月～平成27年3月 毎週金曜日	延べ124名
下関運動公園 ポールウォーキング教室	平成27年3月8日	34名

その他会計

1. 火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）

(1) 事業概要

職員4名をもって、火の山地区観光施設(火の山パークウェイ、火の山立体駐車場)の運営業務を実施した。なお、職員2名については、火の山ロープウェイ運行中は、運行業務専従とした。繁忙期は、火の山地区観光施設業務の職員補助として、日々雇用職員を雇用した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 関係法令、市の条例及び規則等を遵守し、公共施設として安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組んだ。
- イ. 火の山公園内にある公共の観光施設として、お客様に対する良質なサービスの提供、ホスピタリティの実践、向上に努め、好印象を持っていただけるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努めた。
- ウ. 施設内外の巡視点検等を実施し、事故や火災等リスクを理解し、発生を未然に防止するとともに、お客様の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、お客様に喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努めた。
- エ. 下関市の職員と連携し、お客様の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務としてのきめ細かな対応、業務実施に努めた。
- オ. 施設の機械設備等の保守点検、立体駐車場内の利用車両の把握、警備、監視、清掃、環境整備及びパークウェイ巡回、監視、清掃等火の山地区観光施設の維持管理を効果的・効率的に実施し、故障等のトラブル発生時は、直ちに応急措置を講じ、施設の安全性とお客様の利便性の向上に努めた。
- カ. 施設の立地条件等特性に配慮し、天候変化や路面状況の変化等情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、お客様の安全を第一にパークウェイ通行規制等、秩序ある維持管理を実施した。
- キ. 施設で使用する消耗品等の補充・交換は、お客様の利便性を常に意識し、環境整備としての適切な管理を実施した。
- ク. 施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理を実施した。
- ケ. 下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組んだ。
- コ. 公共施設の管理者として、職務の遂行において従うべき法令上の要請事項を理解し、コンプライアンスの遵守、個人情報の保護に取り組んだ。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. お客様の安全確保を第一に、施設の照明設備、誘導標識、防災設備、車両監視設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努めた。
- イ. 施設内外、パークウェイの点検巡回清掃を実施、トイレ等は衛生管理に重点をおき、お客様への快適な施設提供に努めた。
- ウ. 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止に努めた。
- エ. 設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見等、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努めた。
- オ. 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努めた。

(4) 事業実績

- ア. 立体駐車場利用状況 一般車両 57,266台 バス 1,901台
- イ. 元旦早朝開園(平成27年1月1日 5:00~21:00) 一般車両158台 バス5台
- ウ. 関門海峡花火大会(平成26年8月13日) 一般車両508台 バス9台

2. 下関市火の山ロープウェイ

(1) 事業概要

職員2名をもって、火の山ロープウェイ運行業務を実施し、火の山展望台維持管理の補助業務、火の山ロープウェイ運休期間中等における火の山地区観光施設(火の山パークウェイ、火の山立体駐車場)の運営に関する業務にも従事した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 関係法令、下関市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と公共施設として、施設等を常に良好な状態において管理運営し、安全性の向上を常に考え、施設の設置目的が最も効果的に達成できるよう業務の遂行に努めた。
- イ. 火の山公園内の公共観光施設として、お客様に提供するホスピタリティの実践、向上、接遇・マナーを常に意識した行動を心がけ、職員各自が持っている経験・知識を共有し、下関市の観光PRに努めた。
- ウ. 施設等の巡視点検等を実施する事で、事故や火災等の発生を未然に防止し、お客様の安全・安心の確保及び喜ばれる環境の整備、施設の維持に努めた。
- エ. 下関市、関係各所との密接な連携体制を維持し、お客様の安全輸送を第一に通常業務及び各種イベント開催時に、より利便性を考慮した管理運営に努めた。
- オ. 火の山ロープウェイの機械設備等の保守維持管理を効果的・効率的に実施し、故障等トラブル発生時においては、直ちに応急措置及び下関市への報告を実施し、安全確保とお客様の利便性の向上に努めた。
- カ. 火の山ロープウェイの運休については、施設の立地条件等の特性を配慮した上で天候等の情報を常に収集し、お客様の安全確保を第一に下関市や関係諸施設との連絡を密にした、秩序ある維持管理に努めた。
- キ. サービスの低下を招かないように施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識した施設管理に努めた。
- ク. ロープウェイ専門部会に出席し、中国運輸局・中国地方の他のロープウェイとの技術交流・情報交換を行い、技術の向上に努めた。
- ケ. 営業スタッフ研修時のスタッフに対する設備の説明、応急救助装置取扱い等、乗客の安全確保に関する指導、営業訓練時の運転業務等及び営業スタッフのスキルアップに協力することで、観光施設としての機能向上に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. お客様の安全確保のため、施設の照明設備、誘導標識、防災設備等の安全設備について巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努めた。
- イ. 施設・設備点検チェックリストに基づいた施設内外の巡視点検・日常点検を実施し、事故等の未然防止に努めた。
- ウ. 火の山ロープウェイ運行に係る機械設備等の保守については、各種法令、整備細則等に基づく点検を実施し、円滑に運行するための保守整備、安全運転を徹底することで、トラブル・事故等の発生防止に努め、応急救助装置点検、操作訓練等を実施し、対応体制に万全を期した。
- エ. 設備故障発生時等の応急措置及び下関市への報告を的確に実施し、必要な知識・操作の習得を行い、良好な設備の管理保守に努めた。
- オ. 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全の管理体制構築に努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用状況：利用人数 44,568人(大人 35,822人、小人 8,746人)
- イ. 運行期間：平成26年4月1日～11月30日、平成27年3月19日～3月31日(計200日)
- ウ. イベント：海峡花火大会夜間運行(8月13日)
夏季週末夜間運行8月2日, 8月9日, 8月16日, 8月23日, 8月30日, 観月夜間運行9月8日, ガイド体験・機械室見学ツアー8月16日, 貸切運行8月30日

3. 下関市勤労青少年ホーム

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 市内で働く青少年が余暇を有意義に活用し、充実した職業生活ができるよう、フラワーアレンジメント・社交ダンスなどの教養講座、韓国料理、お菓子作りを開催し利用者の増加に努めた。
- イ. 若者の出会いと交流の場を提供するため、自主事業「恋するクッキング」を企画し、また、人々の出会いと親睦を図る交流の場を提供するため、自主事業「ユーパール杯親睦卓球大会」を開催し、利用増加に努めた。
- ウ. 平日の午前・午後の時間帯に卓球教室、ピラティスを開催し利用増加に努めた。
- エ. 地域との交流を図り、各種文化講座、自主事業を企画・開催し、施設の宣伝及び利用増加に努めた。
- オ. 祝日を開館し、利用増加に努めた。
- カ. 施設利用のため登録されているグループやクラブの代表者で組織する合同委員会を開催し、施設利用や活動が円滑に行えるように努めた。
- キ. 園児の作品を通じ、家族とのふれあいの場、市民の交流の場を提供するため「大好きな人の顔」作品展を開催し利用増加に努めた。
- ク. お客様へのアンケートを行い、要望の内容を下関市へ報告し、可能な限り施設運営へ反映するよう努めた。
- ケ. 他市ホームとの意見交換を行い、知識の習得及び技術向上に努めた。
- コ. 施設内及び周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止など安全確保に努めた。
- サ. 職員の資質及びサービスの向上を図るため、施設内でのミーティングを実施し、また、施設間の連携を図り知識の習得及び技術向上に努めた。なお、各種研修会にも参加した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 館内整備のための日常・定期清掃、機械設備運転管理のための冷暖房設備保守点検、衛生確保のための貯水槽清掃、ねずみ・昆虫等防除業務、安全管理のための消防用設備保守点検、夜間の機械警備業務については、それぞれ業務委託により実施した。
- イ. 1階娯楽室壁紙、2階集会室の壁紙改修を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 19,916人 利用料収入 1,103,470円
- イ. 営業日数 357日 (休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

4. 唐戸市場駐車場

(1) 事業概要

職員4名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 下関市と連携を図り、駐車場の管理運営に万全を期した。
- イ. 公金及び有価証券等の厳正なる管理に努めた。
- ウ. 利用車両増による場内渋滞を緩和するため、場内での案内放送のうえ事前精算を行った。
また、駐車場出入口周辺の交通整理等を実施することにより、入出庫の円滑化に努めた。
- エ. 施設内及び周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止などお客様の安全確保に努めた。
- オ. 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルによる対応ができるよう備えた。なお、平成26年度においては、ゲートバーを破損する等の事故が1件発生したが、職員が緊急対応を行い、お客様の利用において支障とならないよう被害を最小限に留めるように努めた。
- カ. 観光パンフレット等を設置し、下関地域における観光の広報に努めた。
- キ. 場内及び周辺の清掃を適時行い、環境美化に努めた。
- ク. 職員の資質向上、お客様へのサービス向上のため、外部講師によるコンプライアンス研修、クレーム対応研修等を受講した。
- ケ. 駐車場棟における自動精算機の改修及び事前精算機の新設に伴い、下関市や設置業者と連携を図り、お客様の安全確保や円滑な利用の確保に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 清掃業務による環境整備、夜間機械警備業務による安全管理を、業務委託により実施した。
- イ. 場内の自動精算機等の点検を常時実施し、業務に支障のないように努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用台数 410,847台 利用料収入 81,677,690円
- イ. 営業日数 365日

5. 下関市長府体育館

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 下関市と連携を図り、長府扇町運動広場・市民プールを含めた一体管理を行い、管理体制の強化に努めた。
- イ. お客様に対する適切な接遇を徹底し、より多くの市民に親しまれる施設となるよう努め、地域スポーツの振興に寄与した。
- ウ. 利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムの効率的な運用に努めた。
- エ. 各種のスポーツに対するお客様のニーズを把握・検討し、施設の使用効率を検討することにより、多くの市民が利用できるよう努めた。
- オ. 地域との交流を図るため、自主事業として「綺麗な身体作りエクササイズ」や「ユニカール教室」を企画・開催し、施設の宣伝及びお客様の増加に努めた。
- カ. 施設利用されるお客様の要望等を把握するためのアンケートを行い、自主事業の開催や施設の管理運営の参考とした。
- キ. 施設内及び周辺施設、駐車場の巡回点検を行い、人身事故、火災、盗難等の防止など安全確保に努めた。
- ク. 所轄消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 館内環境の整備のための定期清掃、安全確保のための消防用設備保守点検、夜間の安全確保のための機械警備をそれぞれ業務委託により実施した。
- イ. 館内の照明設備・体育器具等について、常時点検を実施し、競技に支障の無いよう努めた。
- ウ. 2階フロア天井の照明灯調整修繕、女子トイレ大便器取替え修繕、男子トイレ小便器詰り修繕、屋内駐車場設置倉庫の火災報知器取付け修繕、屋外軒の破損修繕、玄関屋根の雨漏り修繕を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 57,493人 利用料収入 1,935,192円
(下関市長府体育館36,157人 長府運動場21,336人)
- イ. 営業日数 357日 (休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

6. 下関市市民プール（長府扇町運動広場）

(1) 事業概要

職員2名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 施設内の巡視点検を行い、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努めた。
- イ. 下関市と連携を図り、施設の整備等含め管理体制の強化に努めた。
- ウ. 消防署の協力をいただき、監督・監視員に対する安全研修やAEDを使用した普通救命講習を実施し、万全な知識及び技術を体得させ、万一の水難事故に対し、迅速かつ適切な処置を行うことのできる体制を構築した。
- エ. プール水の水質検査及び薬品の投入管理を適切に行い、常時快適な環境、水質基準の維持に努めた。
- オ. 幼児から小学生までを対象とした自主事業「わーいプールでヨーヨー釣って遊ぼうよ！」の開催により、施設の宣伝及びお客様の増加に努めた。
- カ. 職員及びアルバイトにおいては、お客様に対する適切な接遇を徹底し、より多くの市民に親しまれるように努めた。
- キ. 長府扇町第1運動広場が下関市社会人野球大会、長府扇町第2運動広場が全国選抜小学生男子ソフトボール大会等の競技会場となっており、下関市や関係機関と連携を図り計画的に環境維持に努めた。
- ク. お客様を対象としたアンケートを実施し、管理運営の改善点の参考とした。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 各プール水循環ろ過装置の運転・保守点検及び水質管理、浄化槽維持管理及び除草清掃等の環境の整備、夜間の機械警備等による安全管理については、業務委託により実施した。
- イ. 場内の諸施設について常時外観点検を実施し、不良箇所の早期発見に努め、汚水槽内汚水ポンプ取替え修繕、円形トイレ屋根の雨漏り及び出入り口腐食塗装剥げ修繕、女子更衣室トイレ、円形トイレ、スタンド下男子トイレの配管修繕を実施した。

(4) 下関市市民プール事業実績

- ア. 利用者数 19,246人 利用料収入 2,477,370円
- イ. 開場日数 50日（7月13日から8月31日まで）

(5) 長府扇町運動広場事業実績

- ア. 利用者数 33,406人
- イ. 営業日数 357日（休業日は、12月28日から1月4日までの8日間）

7. 下関市彦島体育館

(1) 事業概要

職員3名及びパートタイム職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

ア. 下関市彦島庭球場、彦島地区公園多目的広場との一体管理を行い、下関市と連携を図り管理体制の強化に努めた。

イ. 多くの市民に利用していただき喜んでいただける施設となるよう、お客様の要望も踏まえ、利用環境を整えることや利用形態を見直す等、スポーツの振興を軸とした利用促進に努めた。

ウ. 利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムの効率的な運用に努めた。

エ. 幼児から中高年層まで幅広い世代を対象とした各自主事業を実施し、市民との交流を図ることによる施設のPR、利用の増加に努めた。

実施した事業

おげんき体操2014(前期)	(4月～9月)	24回
みんなで春リトミック!2014	(4月～6月)	10回
おげんき体操2014(後期)	(10月～3月)	24回
みんなで秋リトミック!2014	(9月～11月)	10回
トライアル!ミュージカル	(1月)	1回
HTK杯バスケ・コミュ2015+	(大会/2月及び3月)	各1回
卒団フェスティバル!2015	(キャンペーン/11月～3月)	

オ. 施設内を日常安全点検マニュアルに基づいて施設内点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止など安全確保に努めた。

カ. 所轄消防署と連携を図り、定期的に消火訓練及び避難訓練を実施した。

キ. 職員同士による情報共有等の自己啓発を行い、職員の資質向上に努めた。

ク. 施設を利用されるお客様を対象としてアンケートを実施し、管理運営等の参考とした。

(3) 設備管理の実施状況

ア. 環境整備のためのフロアワックス清掃、衛生管理のための貯水槽清掃、安全管理のための消防用設備保守点検、夜間の機械警備を専門業者への業務委託により実施した。

イ. 施設及び設備は常時点検を実施し、施設運営に支障の無いよう努めた。主な修繕として、館内バスケットボード改修や庭球場のネットポール取替、照明灯設備改修及び時計取替等を実施し、お客様からの要望に答え、また、利用する上での支障を最小限に留めた。

(4) 事業実績

ア. 利用者数及び利用収入

下関市彦島体育館	29,891人	2,480,305円
下関市彦島庭球場	28,504人	1,385,865円
彦島地区公園多目的広場	37,589人	549,000円
計	95,984人	4,415,170円

イ. 営業日数

体育館 357日(休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

庭球場・多目的広場 357日(休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

8. 下関市立美術館

(1) 事業概要

職員5名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 観覧券販売及び観覧料の徴収事務、美術館入館者への受付案内、館内展示品の監視、売店内の図録等物品販売及び図録売払代金徴収事務等の業務を適切に実施した。
また、図録等物品の販売については、各種展覧会に応じた特設コーナーを設置し販売促進に努めた。
- イ. 公金及び観覧券の厳正なる管理に努めた。
- ウ. 入館されるお客様への対応については、特段の注意を払い、状況に応じて適切な接遇を行うよう努めた。
- エ. 下関市の学芸員の事前講習を受ける等、お客様に展示品の説明ができるよう、知識習得に努めた。また、近隣の美術館および博物館の情報を収集し、必要に応じて案内を行った。
- オ. 下関市の職員と連携を図り、各種展覧会に応じた人員配置を行い、円滑に業務を実施した。
また、特別展開催中は、日々雇用職員を雇用のうえ、監視業務を遂行した。
- カ. 施設内の巡回点検等を行い、下関市が委託する警備業者と連携を図り、安全確保に努めた。
- キ. 下関市が実施する避難訓練に参加し、消火器具の取扱いおよび避難経路等を確認した。
- ク. クレーム対応研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。
- ケ. 事故や災害は未発生であった。
- コ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

展示品の監視業務を行い、展示室を巡視点検し、異常があった場合は下関市の職員に報告し、必要に応じて警備・施設保守・清掃の各部門にも連絡を行い、美術館の円滑な運営確保に努めた。

(4) 事業実績

- ア. 入館者数 56,891人 観覧料収入 7,429,070円
- イ. 営業日数 296日
- 休館日 国民の祝日を除く毎週月曜日及び12月29日から1月3日まで その他、館内展示替え等に伴う下関市教育委員会が定めた臨時休館日

9. 下関市勤労者総合福祉センター

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 設置目的「勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上を図る」の達成のため、最少の経費で最大の効果を上げるよう効率的な運営に努め、経費削減可能な方策等を考案し、下関市と連携して業務を遂行した。
- イ. 勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上を図るため、会議室及びアリーナ（体育館）等活動の場を提供し、利用拡大に向けてお客様のニーズに対応した講座の開催に努めた。
- ウ. 長府扇町安全協議会会員を通じて施設及び講座のPRを続けるなど常に地域との交流を図り、稼働率の向上及びお客様の増加に努めた。
- エ. 国や県の委託を受けて、職業訓練等で3～6ヶ月にわたる長期利用ができることを積極的に広報し、お客様の増加と増収に努めた。
- オ. 施設内及び周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止など安全確保や除草・ゴミ回収等の環境整備に努めた。
- カ. 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施した。
- キ. 職員の資質向上のため、施設内でのミーティングを実施し、施設間の連携で知識習得及び技術向上に努めた。また接遇研修・クレーム対応研修等、各種研修会に参加した。
- ク. 責任者の指示のもと、緊急対応マニュアルにより事故や災害発生時に適切に対応できるよう備えた。
- ケ. 第12回長府企業フェスタにブースを出展し、パネル展示により施設及び各種講座の広報・PRを実施した。
- コ. 市民の余暇の充実を図り、施設利用者の増員を目的とした自主事業を開催した。
- サ. 周辺企業を訪問し、施設及び講座のPRを実施した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 機械設備の運転保守管理のための冷暖房設備や自動ドアの保守点検、館内・周辺環境整備のための日常・定期清掃や樹木剪定・草刈や粗大ゴミ収集、衛生管理のための浄化槽維持管理、安全管理のための消防用設備保守点検、夜間の安全管理のための機械警備等を、それぞれ業務委託により実施した。
- イ. 照明機具(安定器)や消防用設備の改修を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 48,810人 利用料収入 6,384,880円
- イ. 営業日数 345日（休業日は、国民の祝日及び12月29日から12月31日までと1月2日から1月3日までの合計20日）

10. 長府庭園

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 公共の施設である庭園の設置目的と指定管理者の意義を認識し、お客様に対し安心・安全の確保、サービスの提供及び業務の効率を向上させることに努めた。
- イ. お客様に対しては、おもてなしの心で接し、ゆったりとした空間の中で、四季折々の木々花々の美しさを感じ、楽しんでいただけるように努めた。
- ウ. 職員手作りのマップにイベントや耳より情報を掲載し窓口で来園者に配布し、より楽しんでいただけるように努めた。
- エ. 書院及び茶室を有効活用していただけるように施設のPRに努めた。
- オ. 蔵は、年間を通じて市民ギャラリー等としてふさわしいものを誘致し、お客様の増加に努めた。
- カ. お客様より要請があれば、職員が説明・案内を行いサービス向上に努めた。
- キ. 地域との連携を図り、下関市が主催する行事や地域行事等への参加、協力を積極的に努めた。
- ク. 「孫文蓮」の開花に伴い、観賞会を実施した。古布あそび・ひな飾り展等も自主企画で実施し、下関市の広報誌、報道関係等に情報提供することで、市民や周辺地域の方々への周知徹底を図り、お客様の増加に努めた。
- ケ. アンケートの実施を行い、お客様の声を聞くことにより、要望等に応えるように努めた。
- コ. 施設の安全維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難防止の為に安全確保に努めた。
- サ. 万が一事故や災害が発生した場合、緊急対応マニュアルにより応急処置を行い、報告、連絡、確認を速やかに行うための体制を整えた。
- シ. 職員資質向上のため、施設内でのミーティングを実施し、常に職員間の意見交換を行い、接遇研修や各種研修会等へ参加した。
- ス. 下関市が「しものせきエコマネジメントプラン」に基づく環境方針を制定していることを考慮し、省エネルギー、省資源及び廃棄物減量などの環境への負荷低減を図るよう、職員は基よりお客様、第三者委託業者にも指導の徹底を図った。
- セ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 日常清掃及び環境整備、中央監視装置保守や夜間機械警備の安全管理、また、庭園内の美しい景観を保つ為の維持管理を業務委託により行った。
- イ. 施設の設備等について随時点検を行い、お客様の安全確保及び使用に支障とならないように努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用状況 利用者 70,550人 利用料収入 7,483,716円
- イ. 営業日数 357日
- ウ. 休業日 12月28日から1月4日まで (8日間)

11. 下関市ふれあい健康ランド

(1) 事業概要

職員8名及びパートタイム職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 平成24年度から平成27年度までの4年間、下関市より指定管理者として指定を受け、下関市より示されたビジョン及び指標に沿った管理運営を行い設置目的の達成に努めた。
- イ. 平成26年4月1日に施行された使用料改定に伴い、お客様への説明を徹底することで支障なく運営を行った。
- ウ. 長期化した高温水配管不良による温浴施設閉鎖に伴い、下関市からの通知に基づきお客様への説明や苦情への対応を行った。
- エ. 所轄消防署の協力を得て、消防訓練及び普通救急救命講習(AED取扱い含む)を年2回(5月、11月)受講し、「防火優良認定証」を付する施設としての消火・避難誘導対策及びAED救急ステーションとしての応急手当技術向上に努めた。
- オ. 緊急時においては訓練の成果を生かし、緊急対応マニュアルに沿った初期対応及び関係機関への通報を適切かつ冷静に行った。
- カ. 幅広い世代の利用動機を高め、お客様の底辺拡大を目的とした自主事業を実施した。水泳53教室、運動40教室、その他の教室又はイベント4事業で延べ15,272人の受講者を得た。
- キ. 下関市より、一般高齢者介護予防教室業務を受託し、当該業務の実施目的を達成するとともに、お客様の増員及びお客様の底辺拡大に努めた。また、受託事業終了後、当該参加者が継続して運動を習慣化できるよう脳げんき体操教室を実施し、自主グループの育成に努めた。
- ク. 下関市保健部成人保健課の協力を得て市民の一日健康相談を開催し、市民の健康に対する意識を深めた。また、多くの市民のふれあい・憩いの場を提供することを目的とした園児の絵画展を開催し、幅広い年齢層のお客様に来館いただくように努めた。
- ケ. 健康維持や機能改善を目的とした市民のニーズに対応し、リハビリ的傾向のある内容を含めた水泳教室を実施してプール利用の増員に努めた。
- コ. 夏休み期間中の休業日に臨時営業を行い、市民サービスの向上及びお客様の増員に努めた。
- サ. 施設内外にわたる詳細な点検を行うとともに、高温水配管の状況を適宜点検し、異状の早期発見に努めた。
- シ. 急な高温水設備不良による温浴施設閉鎖に伴い、お客様への説明や、会場変更及び中止を余儀なくされた水泳教室の受講者に対し適切な対応を行った。
- ス. 高温水設備等の管理については、関係法令に基づいた業務マニュアルにより、監視業務、施設点検及び水質検査等を実施し、管理に遺漏がないように努めた。水質管理については、水質検査及び薬品の投入管理等を適切に実施し、常時快適な環境確保と水質基準の維持に努めた。
- セ. 職員の資質及び技能向上を目的とした各種講習会の受講及び事業運営の内容を充実させるため、基礎水泳指導員等の資格の取得をした。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 余熱関連設備運転保守等、専門的な知識・技術・器具を要する特殊な設備機器の保守点検及び消防用設備点検等、法律に基づく点検・検査業務については専門業者に業務を委託し、適切かつ確実に実施した。
- イ. 温水プール・浴場の水質管理、設備・施設点検について、業務マニュアルに基づき確実に実施し、危険要因の早期発見・排除に努め、常時安全な環境を維持した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 84,323人 利用料収入 19,368,858円
- イ. 熱交換器定期整備による休館 11月25日から12月7日まで13日間
- ウ. 高温水設備不具合調査に伴う温浴施設閉鎖 10月11日から10月17日まで7日間
- エ. 高温水配管不具合に伴う温浴施設閉鎖 10月18日から1月29日まで104日間
3月11日から3月31日まで21日間

1.2. 長府毛利邸

(1) 事業概要

職員4名、日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 四季折々の趣が味わえるよう清掃美化による快適な空間の提供や、部屋の各所に季節の野の花を生け、接客とあわせ心に届くおもてなしを心がけ、リピーターの増員に努めた。
- イ. 長府観光協会の理事に所属し、城下町長府活性化のため連携協力し誘致に取り組んだものとして「彩りの城下町長府」を春と秋の2回、合同イベントして開催、また、高杉晋作決起150年記念イベントを開催し集客効果をあげた。
- ウ. 施設の設置条例に基づいた自主企画を23件実施した。
著名な講師による歴史講座の開催により教養文化の向上に努めた。「城下町長府ひなまつり」にあわせ2件のさげもんの作品展や和の文化にふれる作品展、舞台衣裳の作品展など開催し、集客増員に努めた。また、作品展との相乗効果を図るため、体験講座を取り入れた。平成10年の一般公開より17年、入場者100万人を達成したため、記念の式典を実施し、広報宣伝に努めた。
- エ. 施設の雰囲気にあう自主事業を14件実施した。
お客様に好評な抹茶提供は、季節に沿ったイベントの考案・実施により利用促進効果がみられ、ツアーでの組み込みや予約も増加し実績も伸びた。また、新たに茶室「淵黙庵」のPRを兼ねた茶席体験の実施や季節感のある梅ジュース・甘酒の販売実施により、話題性による集客および利用促進効果がみられた。
- オ. 市報やマスコミ、様々な広報媒体の活用、施設ホームページの頻繁な情報更新等、情報社会に対応した発信にも努めた。観光関連施設へ、パンフレットやチラシをこまめに補充した。また、下関市が主催する観光施策への協力や民間企業と提携した特典提供により利用促進に努めた。新たな観光業者との契約を結び、観光客へのPRおよび誘致に努めた。
- カ. 規約の遵守、効率的・効果的な予算の執行、適正な業務の遂行、環境への負担軽減に努めた。プライバシーマーク取得に際し研修参加や個人情報取り扱いの管理徹底に努めた。定期的な責任者会議やコンプライアンス研修、クレーム対応研修、サービス講習会を受講し、苦情やトラブルの防止及び業務運営におけるレベルアップを図った。
- キ. お客様アンケートや感想ノートへの記入により要望や意見の把握に努め、可能な限り催しとして取り入れた。また、要望により施設説明の案内にも積極的に対応した。こども文化パスポートの参加や中学生のグループ学習での質問対応、インターンシップの受け入れを通し、日本文化の良さを知り学べるよう対応に努めた。
- ク. 職員による邸内の巡回点検を度々行い、人身事故・火災・盗難等を未然に防ぎ常にお客様の安全確保に努めた。事故や災害が発生した場合の緊急対応マニュアルや連絡網を備え、即時対応できるよう努めた。また、普通救命講習を受講し、施設にAEDを設置し救命措置の向上に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 庭園の樹木や苔の維持管理、邸内の環境整備、池の循環設備の保守を業務委託し確認とともに報告等を義務づけ、施設全体の維持管理に努めた。
- イ. 消防設備の点検を定期的実施し、常時災害等に備えた。また業務終了後も機械警備・緊急時の警備員の派遣を警備会社に委託し、夜間においても緊急連絡体制をもって24時間管理に万全を期するよう努めた。
- ウ. 消火栓ホース取替、母屋窓ガラス取替、空調機ドレンポンプ取替、樹木根幹保護柵取替、滝口の漏水の修繕を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用状況 利用者 56,707 人 利用料収入 7,942,170
- イ. 営業日数 357日
- ウ. 休業日 12月28日から1月4日まで (8日間)

13. 粗大ごみ等受付センター

(1) 事業概要

職員4名及びパートタイム職員11名をもって、環境部クリーン推進課の管理体制のもと、日々繁閑を考慮した人員配置による体制をつくり、サービスの向上及び苦情軽減に努め、粗大ごみ等受付業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

ア. 排出されるお客様から粗大ごみ等の戸別収集依頼を電話及びインターネットより受付し、収集地図の印刷及び伝票整理をした後、的確にクリーン推進課へ回付した。

イ. のべ244日（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く。）受付業務を実施した。

ウ. 環境部クリーン推進課との連携を密にし、相違遺漏のないよう努めた。

エ. 現状の排出規則及び受付方法に問題があった場合は、直ちに環境部クリーン推進課と協議し、支障のない受付業務を実施できるよう努めた。

オ. 見直しのあった排出規則については、受付時に規則の変更に沿ったアナウンスをすることで、市の広報を補完する役割を担った。また、広報前のごみ百科やホームページ等を事前確認させていただくことで、市民の皆様からの声が反映されるよう努めた。

カ. 職員の資質向上を目的として、各種研修を受講した。また、受講内容を共有するためのスタッフミーティングを実施した。

平成26年度受講実績

- ・電話対応研修3名（4月19日 主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会山口県支部）
- ・電話対応技能検定2級受験講座1名（5月23日、5月28日 主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会山口県支部）
- ・電話対応技能検定1級受験講座1名（8月27日、9月4日 主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会山口県支部）
- ・第3級陸上特殊無線技士養成講座1名（11月4日 主催 公益財団法人日本無線協会）
- ・コーチング研修1名（1月15日 自社講師手配による研修）
- ・クレーム対応研修1名（3月13日 自社講師手配による研修）

キ. 高度な実践力・指導力をもつオペレーターを育成するため、電話対応における検定試験を積極的に受験するよう職員の啓発に努めた。

平成26年度の資格取得実績

- ・ビジネス電話検定知識A級合格者3名（主催 公益財団法人実務技能検定協会）
- ・電話対応技能検定3級合格者2名（主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会）
- ・電話対応技能検定2級合格者1名（主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会）

ク. 実践に近い形式で、高い水準のオペレーターと競い合うとともに、質の高い電話対応を学習した。

平成26年度全国電話対応コンクール 大会入賞実績

- ・山口県大会地区予選 下関地区 最優秀賞1名、優秀賞6名、敢闘賞4名
- ・山口県大会出場5名 優秀賞（2、3位）2名、特別賞（7、8位）2名

ケ. 職員の資質向上のため、年間を通じて下記方策に取り組んだ。

- ・スタッフミーティングの実施による情報共有及び運用改善。
- ・電話対応チェックリスト（自己分析）による電話対応水準の向上。
- ・卓上鏡を設置し、「笑声」を实践した好感をもたれる電話対応。

(3) 設備管理の実施状況

株式会社富士通エフサスの定期的な保守点検を実施、また機器異常発生時は、環境部クリーン推進課及び株式会社富士通エフサスに対応依頼した。

(4) 事業実績

受付件数	(前年度)	(対前年度比)
電話受付	117,454件 (119,733件)	(98.1%)
インターネット受付	16,850件 (15,460件)	(109.0%)
計	134,304件 (135,193件)	(99.3%)

14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場

(1) 事業概要

職員10名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 体育施設の設置条例、同規則及び関係法令等を遵守し、体育施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を達成できるように努めた。
- イ. 下関市や下関市体育協会、各スポーツ団体との連携を行い、下関市と地域スポーツの振興と発展向上に努めた。
- ウ. 施設の安全対策として毎日開閉場前の巡視点検を行い、人身事故、火災、盗難等の防止を行い安全確保に努めるとともに、台風接近時には積極的に情報を得て、災害予防対策を実施した。また、消防局等の要請に応じ、ドクターヘリの発着に対応した。所轄消防署の指導のもとに、消防法に基づいた消火訓練及び避難訓練を実施した。
- エ. 利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムの効率的な運用に努めた。
- オ. お客様からの要望に対しては、アンケート調査を行い、内容を精査して要望を実施するように努めた。
- カ. 所轄の消防署に協力依頼を行い、職員1名（主任）が防火管理者再講習を更新し、職員2名、嘱託職員7名が消防署員立ち合いで消防訓練を実施した。
- キ. 下関市体育館において、自主事業「綺麗な身体作りエクササイズ」、「足腰を鍛える太極拳教室」、「初めてのテニス教室」、「ボールウォーキング教室」を開催し、施設の利用者増を図った。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 日常清掃等による環境整備状況、夜間機械警備による安全管理状況及びグラウンド維持管理状況など適時実施状況を確認し、お客様の安全確保や競技に支障をきたさないよう努めた。
- イ. 消防用設備や機械警備機器、バスケットゴールなど運動機器の異常の有無を常時確認し、お客様の安全確保や円滑な利用に努めた。

(4) 事業実績

ア. 利用者数及び利用料収入

下関市体育館	65,154人	5,851,618円
下関市営下関陸上競技場	76,656人	3,787,243円
下関市営下関庭球場	95,161人	6,464,110円
下関市弓道場	8,013人	580,990円
下関市アーチェリー場	358人	5,833円
下関市相撲場	599人	84,660円
下関市向洋グラウンド	25,076人	1,535,500円
下関市フットサル場	8,434人	1,174,835円
計	279,451人	19,484,789円

- イ. 営業日数 357日（休業日は、12月28日から1月4日までの8日間）

15. 下関市満珠荘

(1) 事業概要

職員7名、日々雇用職員及びパートタイム職員をもって、多くの市民の方が気軽に利用でき、健康増進や休養で利用していただく施設として、健全な運営に努めた。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 平成26年度実績は、宿泊者4,786人、浴場利用者41,876人となり、宿泊者数は当初計画を若干下回ったが、浴場利用者数は計画を上回った。
- イ. 下関市と連携を図り、多くの市民の方が気軽に利用できる施設として、浴場利用者、宿泊者の方が安心・安全に利用できるよう健全な運営に努めた。
- ウ. 市内、市外の多くのお客様にご利用頂くために、「ふくコース」等の宿泊プランの企画及び実施、日帰り入浴スタンプカードの継続実施、またインターネット予約の積極的な活用を行い、新規のお客様及びリピーターの確保に努めた。また、クレジットカード精算の導入を行い、サービスの向上に努めお客様の確保に努めた。売店においては、宿泊のお客様が当館でご購入いただけるように商品棚の新規増設を行い、品揃えに重視したレイアウトを行い増収に努めた。
- エ. レストラン営業に際し、地元食材を活用したメニューの開発、食材の確保、食器仕入れ、サービス提供等を図り、リピーターの確保に努めた。また、平成27年度に向けた宿泊プランの開発においては、地元食材の生産者、利用層の中心である女性団体等を交えた試食会を実施するなど、積極的に研究に努めた。お客様の利便性の向上では、開設当初より要望の多かった送迎車の導入、また、テーブル席10席の増設等の設備投資を積極的に実施し、市民サービス及び増収に努めた。衛生管理においては、衛生管理マニュアルに基づき、安全・安心かつ高品質の食事の提供に努めた。
- オ. 調理職員による料理教室を定期的実施し、市民サービス及び当施設のPRに努めた。また、フラワーアレンジメント教室を実施し、多目的室の効率的な利用に努めた。
- カ. 新聞、情報誌等へ積極的に情報提供を行い、施設のPR及びお客様の確保に努めた。
- キ. 所轄の消防署と連携を図り、自主避難訓練を実施し、安全・安心な施設管理に努めた。
- ク. 客室に用意しているアンケートを活用し、お客様の要望や意見の把握に努め、運営の参考とするよう努めた。

(3) 事業実績

- ア. 利用者数 46,662人
- イ. 営業日数 359日（法定点検による休業6日）

16. 下関市営宿舎サングリーン菊川

(1) 事業概要

職員5名、日々雇用職員及びパートタイム職員をもって、市民の方が健康的で気軽に利用できる宿泊施設として、健全な運営に努めた。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 下関市と連携を図り、多くの市民の方が気軽に利用できる施設として、食事利用者、浴場利用者、宿泊者の方が安心・安全に利用できるよう管理運営に努めた。
また、営業戦略に基づく各種企画の実践により、利用者数を拡大した。
なお、公共施設であることを念頭に置き、公平な利用環境を提供した。
- イ. 市内、市外の多くのお客様にご利用いただくために、「季節感のある料理自慢の宿」、「良質で様々な効能のあるきくがわ温泉」、「団体利用の誘致に欠かせない送迎バス」をメインに、4半期ごと四季に合わせた宿泊プランを開発し、新聞折込やホームページ、ダイレクトメールなど多様な広告媒体での広報を行った。また、下関市合併10周年記念として、ビジネスマンや家族向けの宿泊プランや日帰り入浴フェアを行うなど、新規のお客様及びリピーターの確保のための利用促進に努めた。さらには、ネットエージェント及び旅行会社との幹旋契約を締結し集客に努めた。
- ウ. 下関市及び地元地域の方などと連携し、菊川町における体験型教育旅行を受け入れるため、先進地である大島町への視察を行った。また、魅力ある体験交流プログラム策定のため、受入地域協議会等関係者との研修会を開催した。
- エ. 市内の船会社との連携により、中国の青島市からのご宿泊利用を獲得した。平成27年度においても自転車愛好家の方の利用など、多数の予約を獲得できる見込みがあることから、平成27年3月には山口県や下関市とともに、青島市へのセールス活動を行った。
- オ. 一体管理する菊川温泉プールとともに「下関菊川温泉プールにおける入場者10万人達成感謝イベント」、宿泊者への温泉プール無料サービス特典などを開催し、お客様サービスや施設の周知に努めた。
- カ. 地元でのイベントやお祭り「チャリティーゴルフ大会」「菊川町夏まつり・大花火大会」「小日本ぶらうま鍋」等、積極的に参加・協力・協賛することにより地域活動への貢献に努めた。
- キ. 職員の資質、サービスの向上及び経営方針を徹底するため、毎日施設内でのミーティングを実施した。
また、外部講師によるコンプライアンス研修、クレーム対応研修等を受講し、職員間での共有に努めるとともに、苦情やトラブルの防止及び業務運営におけるレベルアップを図った。
- ク. 施設を宿泊利用されるお客様へアンケートを実施し、ご要望や施設に対するご意見を把握し、管理運営を行ううえで参考とした。
- ケ. プライバシーマーク取得に際し講習を受講するとともに、個人情報保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般公開しない情報の保護についても適正に管理した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理した。
- イ. 法律に基づく検査業務や特殊な設備の保守点検など、専門的な知識や技術を必要とする業務については、専門業者に委託し、効率的な管理に努めた。

(4) 事業実績

ア. 宿泊者数	4,991人
イ. 浴場利用者数	22,269人
ウ. 営業日数	362日（施設点検による休業：3日）

16. 菊川温泉プール

(1) 事業概要

職員2名及びパートタイム職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 幅広い年齢層の利用促進や、リハビリ等で利用されている方々にも快適な利用ができる、健康増進の場を提供し、市民の福利向上に寄与した。
- イ. 公共施設であることを念頭に置き、公平な利用環境を提供した。
- ウ. 施設の衛生管理について、水質など関係法令に定められた基準で適正に維持することはもとより、室温・水質の管理、更衣室の清掃を行うなど、常に衛生的な環境の確保に努めた。
- エ. 光熱水料費、消耗品費など省エネ意識を持ち、経費の削減に努めた。
- オ. 管理運営全般に関する意見・情報交換など下関市担当課との連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図った。
- カ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般公開しない情報の保護についても適正に管理した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 温泉プール・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理した。
- イ. 法律に基づく検査業務や特殊な設備の保守点検など、専門的な知識や技術を必要とする業務については、専門業者に委託し、効率的な管理に努めた。

(4) 事業実績 (開館日は4月1日から3月31日までの間で329日間)

- ア. 利用者数 40,956人
- イ. 利用収入 7,838,030円

17. 売店

(1) 事業概要

職員3名をもって、長府庭園売店、下関市ふれあい健康ランド売店の2店舗を独立採算により運営を行った。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 施設の特徴や四季折々に合わせた商品構成、商品レイアウトの変更を行い、お客様の購買意欲を高めることに努めた。
- イ. 施設のオリジナル商品（孫文蓮コースターやココロもカラダも生きカエルタオル）の販売を行い、施設の広報宣伝を行った。
- ウ. 長府庭園売店では、売店入口に常に季節の花を生け、おもてなしの心を大切に接客を心がけた。長府庭園の代名詞ともいえる孫文蓮をPRするため、蓮茶や蓮うどんといった関連商品の販売を行い売上増に努めた。
また、一の蔵での展示利用者から商品を受託し、販売を行った。各種観光キャンペーン等に協力し、お客様へのサービス向上を図った。
- エ. 下関市ふれあい健康ランド売店では、水泳用品をはじめ、地元で収穫される新鮮野菜や新米等を生産者から受託のうえ店頭販売を行い、地元産の高品質をお客様へ周知するとともに売上の増額に努めた。
施設が行った消防訓練（5月及び11月）と普通救命講習にも参加し、お客様の安全確保を目的に技術の向上に努めた。
平成27年3月29日、イベント「射的まつり」を開催し、お客様へのサービス向上にも努めた。
- オ. 各店舗では商品の品質管理に注意するとともに、常にお客様ニーズの把握に努め、新商品の販売や委託商品での販売促進を行った。
- カ. 下関市内の各公民館や公共施設に清涼飲料水やアイスクリームの自動販売機を設置し、お客様への利便性の確保に努めた。
- キ. 火の山展望台に望遠鏡を、また、下関市ふれあい健康ランドにマッサージ機を設置し、お客様へのサービス向上に努めた。
- ク. 店舗等の売上金やつり銭準備金については、毎日の集計及び帳票作成等、適正かつ厳正に取り扱い処理を行った。また、消費税率改正に係る取引事業者との連絡調整やお客様への店頭通知を行い、円滑な移行に努めた。

(3) 事業実績

ア. 売店事業収益	352,891 円
イ. 販売手数料	2,708,631 円
ウ. 自動販売機収益	4,781,775 円
エ. 遊戯機使用料	365,562 円
オ. 実費弁償金収益	1,355,977 円
カ. 雑収益	400,633 円

18. 駐車場

(1) 事業概要

職員1名をもって、関彦橋（第1、第2、第3）、筋川及び迫町駐車場の管理運営を行った。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 山口県下関土木建築事務所から道路用地を借り受け、月極駐車場を営業した。
- イ. 職員による定期的な巡回点検を行い、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、場内清掃や区画整備など駐車場設備の維持管理を行った。
- ウ. 定期的に植栽地の選定等を行い、駐車場の衛生と美観の維持に努めた。
- エ. 契約車両以外の不法駐車の見つけや通報を受けた際は、直ちに所轄警察署に協力を得て、不法駐車排除と駐車場の安全、公平な利用の確保を図った。

(3) 事業実績

- ア. 関彦橋駐車場、筋川駐車場、迫町駐車場の3箇所合計の契約台数は、84台であった。
- イ. 駐車料 5,633,732円
- ウ. 雑収入（車庫証明・受取利息） 1,802円

法人会計

本 社

(1) 事業概要

- ア. 常勤役員 理事長 1 名
- イ. 職員 9 名をもって、本社事業及び福利厚生事業の業務を実施した。

(2) 事業実績

- ア. 新たな理事長のもとに、平成 26 年度改革実施計画に基づき、下関市役所総務部総務課の指導もいただき、主に満珠荘やサングリーン菊川の経営改善、自主事業の推進や新人事制度の準備に取り組んだ。
- イ. 下関市や外部機関と連携を図り、評議員会や理事会を開催のうえ公社の業務を執行した。
- ウ. 下関市との指定管理に係る協定の締結や、業務委託に係る受託契約の締結をそれぞれ行い、各施設の事業計画書・収支予算書等の策定及び事業報告書・収支決算書等を作成した。
- エ. 職員の人事、給与、福利厚生に関する業務の一括管理を行った。
- オ. 管理運営を行う全事業所の委託業務や物品購入業務などの契約事務を行い、複数の事業所で共通する内容は取りまとめて入札執行等を行い、管理経費の節減に努めた。
- カ. 一般財団法人移行後の事務手続きの円滑化を図るため、山口県が主催する公益法人制度改革に関する説明会に参加し、変更手続きや定期提出書類等の内容の習得に努めた。
- キ. 本社及び各事業所の責任者が、相互の情報交換に基づく協議を定期的に開催することにより、効率的な組織運営と業務改善に努めた。
- ク. 平成 26 年 8 月及び 11 月に開催された下関市経営検討委員会及び同年 8 月に開催された下関市出資法人調査特別委員会へ出席のうえ、経営改革の推進状況の報告等を行った。
- ケ. 下関市が策定する「しものせきエコマネジメントプラン」に基づき、本社にて使用する光熱水料費の削減やグリーンマーク商品等の購入、第三者委託などの受託事業者へも協力を行うことで、環境への配慮や環境保全に努めた。
- コ. 当公社職員の個人情報や、各施設を利用される際に提出を受ける申請書等には、お客様の個人情報の記載があるので、個人情報の保護と適正な取り扱いに努めるよう各事業所責任者に指導した。なお、プライバシーマーク付与については、当公社マニュアル等を定め運用を行い、平成 27 年 4 月に取得した。
- サ. 職員の福利厚生事業として、定期的に健康診断を行い、職員の健康状態を確認することで生活習慣病の予防、健康維持及び健康増進に努めた。

福利厚生事業

(1) 事業概要

当事業は「高年齢者多数雇用奨励金」を財源としたもので、当公社職員の福利厚生、勤労意欲の増進と奨励を目的として、業務を実施した。

なお、平成 26 年度の事業において、当事業の繰越金をほとんど執行し、次年度以降も収益の見込みもないことから、平成 26 年度をもって閉鎖することとした。

(2) 事業実績

- ア. 公益財団法人日本体育施設協会が主催する「体育施設管理士養成講習会」を受講のうえ、職員に資格を取得させるとともに、同協会が主催する「スポーツ施設等安全管理講習会」、「体育施設研究協議会」へ参加し、知識技能の習得に努めた。同様に、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会が主催する「電話対応技能検定」を受験のうえ資格取得させ、「電話対応研修」を受講し、職員資質や市民サービスの向上に努めた。
- イ. 文化・スポーツ行事への参加助成に関する要領を策定のうえ、下関海響マラソン等へ参加した職員へ、参加料等の助成を行った。
- ウ. 社有車 2 台の安全運行と適正な管理を目的として、車両検査や修繕を実施した。

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.1

月	下関市勤労青少年ホーム		下関市勤労者総合福祉センター		火の山地区観光施設	
	利用者数	金額	利用者数	金額	火の山立体駐車場	火の山ロープウェイ
					利用台数	利用者数
4	1,445	89,850	3,156	495,240	7,636	10,727
	1,576	89,240	4,370	657,450	7,607	9,849
5	1,995	86,160	4,107	431,930	6,498	6,755
	1,877	82,620	3,969	522,520	6,493	6,500
6	1,779	83,390	3,653	447,450	3,553	2,558
	1,736	88,660	4,136	523,840	3,604	2,453
7	1,921	98,040	3,265	449,640	3,382	2,094
	1,767	93,910	3,932	494,180	3,800	2,077
8	1,962	91,750	3,392	542,580	5,088	4,858
	1,913	92,000	3,321	446,100	5,417	5,268
9	1,781	87,150	4,611	509,310	5,205	4,002
	1,467	95,300	4,081	508,190	5,020	3,470
10	1,714	84,730	4,651	621,640	4,786	4,563
	1,841	94,730	4,367	510,140	4,778	3,523
11	1,616	89,030	4,648	508,850	4,692	3,849
	1,694	86,260	4,118	549,420	4,182	3,123
12	1,553	100,200	4,014	804,240	3,103	0
	1,844	99,230	3,797	500,960	3,424	0
1	1,191	96,380	4,572	645,910	3,626	0
	1,935	94,700	3,454	546,960	4,049	0
2	1,333	97,430	3,988	576,620	3,232	0
	1,547	93,390	3,508	479,900	3,222	0
3	1,626	99,360	4,753	351,470	6,465	5,162
	1,957	97,890	4,008	338,300	5,518	3,907
合計	19,916	1,103,470	48,810	6,384,880	57,266	44,568
	21,154	1,107,930	47,061	6,077,960	57,114	40,170
差異	△ 1,238	△ 4,460	1,749	306,920	152	4,398

対前年 94.1% 99.5% 103.7% 105.0% 100.2% 110.9%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.2

月	長府庭園		下関市ふれあい健康ランド		長府毛利邸	
	利用者数	金額	利用者数	金額	利用者数	金額
4	5,250	567,886	8,495	1,963,020	4,026	534,780
	4,927	522,980	7,896	1,817,050	3,489	528,720
5	5,653	650,862	9,646	2,270,934	5,494	752,360
	5,437	675,100	9,601	2,158,950	5,614	817,500
6	5,200	509,926	10,047	2,389,168	3,642	493,250
	4,268	482,230	10,858	2,648,350	3,292	427,580
7	3,578	352,932	11,147	2,689,084	2,304	316,500
	3,530	367,530	12,913	3,244,640	2,582	320,360
8	3,189	322,056	14,547	3,771,436	2,834	407,320
	2,796	281,920	14,285	3,752,050	2,301	343,700
9	4,717	476,732	10,269	2,398,694	3,026	466,180
	5,420	462,310	10,325	2,476,010	2,438	367,620
10	6,100	594,136	4,011	681,284	4,379	662,420
	6,451	549,708	9,473	2,178,050	3,767	556,340
11	18,082	2,130,758	733	53,840	11,037	1,631,960
	17,197	1,979,450	2,215	442,120	11,822	1,578,420
12	2,271	279,342	352	32,360	2,214	342,720
	4,297	508,130	4,979	1,118,810	2,938	424,240
1	2,632	236,918	1,810	251,382	2,460	348,360
	3,970	410,140	8,001	1,784,170	2,285	328,080
2	6,747	591,006	9,095	2,133,116	7,816	887,900
	6,940	763,570	8,098	1,771,840	7,059	941,460
3	7,131	771,162	4,171	734,540	7,475	1,098,420
	6,004	722,670	8,096	1,860,520	6,361	901,640
合計	70,550	7,483,716	84,323	19,368,858	56,707	7,942,170
	71,237	7,725,738	106,740	25,252,560	53,948	7,535,660
差異	△ 687	△ 242,022	△ 22,417	△ 5,883,702	2,759	406,510

対前年 99.0% 96.8% 78.9% 76.7% 105.1% 105.3%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.3

月	唐戸市場駐車場		長府体育館			長府扇町運動広場	市民プール	
			長府体育館		長府運動場			
	利用台数	金額	利用者数	金額	利用者数	利用者数	利用者数	金額
4	31,181	6,140,190	2,795	185,358	2,145	3,661	0	0
	31,993	5,937,000	6,384	170,950	1,851	4,303	0	0
5	35,376	7,587,680	2,469	164,698	1,986	3,682	0	0
	35,075	7,023,600	2,739	196,930	2,138	6,430	0	0
6	29,339	5,447,040	2,721	186,715	1,599	2,544	0	0
	29,043	5,823,800	2,785	183,235	1,617	2,502	0	0
7	31,334	6,390,990	2,684	216,188	1,814	2,246	9,226	1,182,330
	34,018	5,418,840	6,402	171,600	1,728	4,122	11,637	1,437,650
8	41,311	9,508,360	2,362	177,488	1,549	1,960	10,020	1,295,040
	42,135	8,655,160	2,220	173,780	1,540	3,430	16,282	2,203,900
9	35,213	8,383,630	1,667	110,938	1,760	3,741	0	0
	34,992	7,032,060	2,756	187,400	1,693	6,005	0	0
10	31,208	6,367,240	1,591	92,198	1,953	4,150	0	0
	32,052	7,321,600	3,094	217,250	2,121	4,646	0	0
11	34,605	6,244,450	1,543	105,278	2,024	4,737	0	0
	31,775	5,454,840	2,540	204,280	2,091	6,615	0	0
12	43,208	7,104,050	6,077	168,624	1,565	1,430	0	0
	44,178	7,191,060	2,088	165,015	1,571	1,965	0	0
1	30,897	5,433,930	6,363	172,288	1,371	850	0	0
	31,282	5,648,220	2,164	180,110	1,351	668	0	0
2	29,683	4,547,860	2,664	179,095	1,535	1,485	0	0
	28,406	4,356,640	6,045	163,375	1,694	1,869	0	0
3	37,492	8,522,270	3,221	176,324	2,035	2,920	0	0
	35,978	7,824,160	2,573	187,775	1,651	3,362	0	0
合計	410,847	81,677,690	36,157	1,935,192	21,336	33,406	19,246	2,477,370
	410,927	77,686,980	41,790	2,201,700	21,046	45,917	27,919	3,641,550
差異	△ 80	3,990,710	△ 5,633	△ 266,508	290	△ 12,511	△ 8,673	△ 1,164,180

対前年 99.9% 105.1% 86.5% 87.8% 101.3% 72.7% 68.9% 68.0%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.4

月	彦島体育館等施設合計		美 術 館		粗大ごみ等 受付センター	下関運動公園内7体育施設 及び下関市フットサル場	
	利用 者 数	金 額	利用 者 数	金 額	受 付 件 数	利用者数	金額
4	9,099	360,013	2,516	59,800	12,279	27,727	1,830,514
	7,232	357,785	1,645	41,600	10,609	26,398	1,670,940
5	10,287	393,773	4,606	93,100	11,063	24,923	1,601,079
	9,084	434,695	6,233	66,700	11,736	24,990	1,635,770
6	7,776	380,848	4,180	81,160	11,230	23,505	1,539,848
	6,835	394,670	3,290	294,150	11,091	23,082	1,472,435
7	7,048	376,808	3,445	259,620	12,183	27,225	1,522,682
	6,899	366,018	2,974	831,450	13,207	24,849	1,525,413
8	11,803	358,373	6,888	629,300	9,953	20,660	1,575,697
	6,905	369,605	6,509	401,050	10,145	22,175	1,634,390
9	7,931	435,111	4,368	81,300	12,301	31,586	1,766,380
	8,375	392,655	5,561	108,100	10,883	26,541	1,559,685
10	9,581	464,454	6,444	52,800	12,473	25,627	1,757,996
	7,544	445,003	6,225	66,860	12,528	24,274	1,464,255
11	8,912	404,117	4,113	367,540	11,675	20,206	1,570,955
	7,793	406,145	5,312	172,000	12,655	18,496	1,522,836
12	4,841	253,669	1,838	391,050	15,083	15,117	1,209,026
	6,658	267,025	1,848	285,700	15,399	16,454	1,247,670
1	5,990	304,525	4,962	92,200	8,665	20,898	1,388,309
	5,376	291,700	7,074	2,970,100	8,754	17,432	1,150,970
2	5,098	287,283	5,759	2,409,600	7,541	18,628	1,445,061
	5,388	264,990	7,886	2,052,400	7,576	17,920	1,277,150
3	7,618	396,196	7,772	2,911,600	9,858	23,349	2,277,242
	9,196	379,770	5,071	67,900	10,610	23,777	1,913,320
合 計	95,984	4,415,170	56,891	7,429,070	134,304	279,451	19,484,789
	87,285	4,370,061	59,628	7,358,010	135,193	266,388	18,074,834
差 異	8,699	45,109	△ 2,737	71,060	△ 889	13,063	1,409,955

対前年 109.9% 101.0% 95.4% 100.9% 99.3% 104.9% 107.8%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.5

月	下関市満珠荘			菊川温泉プール		サングリーン菊川		
	宿泊者数	浴場利用者数	金額	利用者数	金額	宿泊者数	浴場利用者数	金額
4	383	3,420	8,481,219	2,583	507,435	266	1,404	7,340,039
	344	3,301	8,403,194	2,314	472,220	376	1,348	9,303,399
5	431	3,404	9,364,055	3,069	509,325	346	1,320	11,067,916
	406	3,106	8,174,682	2,743	514,230	406	1,370	9,568,842
6	286	2,840	5,997,383	3,795	690,780	198	1,229	6,684,686
	301	2,645	6,032,280	3,614	748,670	256	1,202	7,274,781
7	374	2,676	6,545,954	5,388	990,830	319	1,299	6,467,701
	328	2,734	5,638,302	5,841	1,132,560	252	972	7,969,827
8	656	2,830	9,512,526	6,082	1,293,015	522	1,828	10,156,662
	592	2,859	8,198,994	6,374	1,323,810	505	1,179	10,076,494
9	270	2,661	6,226,438	3,693	706,180	321	1,516	5,870,480
	356	2,488	5,838,473	3,893	701,870	276	1,135	5,113,780
10	381	3,211	7,624,588	4,468	847,000	550	1,624	8,960,589
	442	2,668	7,460,855	3,493	561,300	408	1,207	7,654,808
11	463	3,412	9,094,885	3,603	730,140	591	1,835	10,744,049
	435	2,933	8,104,208	3,021	568,790	366	1,451	8,600,076
12	399	4,266	9,078,738	2,582	467,810	432	2,099	12,241,093
	431	3,590	8,367,235	2,124	365,700	388	1,722	11,606,111
1	358	4,824	8,457,129	2,638	507,115	513	2,656	12,205,470
	392	4,460	8,408,118	2,141	392,500	321	2,182	11,809,741
2	311	3,668	7,314,962	1,189	179,190	423	2,654	9,469,440
	285	3,419	5,894,257	1,760	302,650	208	1,645	6,487,955
3	474	4,664	10,159,957	1,866	409,210	510	2,805	10,671,350
	391	4,038	8,674,058	2,049	404,060	377	1,653	10,745,212
合計	4,786	41,876	97,857,834	40,956	7,838,030	4,991	22,269	111,879,475
	4,703	38,241	89,194,656	39,367	7,488,360	4,139	17,066	106,211,026
差異	83	3,635	8,663,178	1,589	349,670	852	5,203	5,668,449

対前年 101.7% 109.5% 109.7% 104.0% 104.6% 120.5% 130.4% 105.3%

財務諸表及び附属明細書 並びに財産目録

貸借対照表	P30
正味財産増減計算書	P31
貸借対照表内訳表	P33
正味財産増減計算書内訳表	P35
財務諸表に対する注記	P37
附属明細書	P39
財産目録	P40

(参考資料)

事業所別予算対比正味財産増減計算書	P42
-------------------	-----

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	102,413,973	112,305,540	△ 9,891,567
現金	377,230	446,719	△ 69,489
普通預金	92,036,743	101,858,821	△ 9,822,078
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
つり銭準備金	2,464,000	2,356,000	108,000
売掛金	1,681,910	829,499	852,411
未収金	2,649,738	728,965	1,920,773
前払金	109,308	0	109,308
商品	85,230	87,352	△ 2,122
原材料	959,105	1,246,410	△ 287,305
貯蔵品	167,947	170,932	△ 2,985
流動資産合計	110,531,211	117,724,698	△ 7,193,487
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	34,661,183	35,470,303	△ 809,120
特定資産合計	34,661,183	35,470,303	△ 809,120
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	7	7	0
建物附帯設備	3,910,055	4,693,939	△ 783,884
機械装置	1,073,667	1,562,833	△ 489,166
工具器具備品	810,000	0	810,000
その他固定資産合計	5,793,731	6,256,781	△ 463,050
固定資産合計	51,454,914	52,727,084	△ 1,272,170
資産の部合計	161,986,125	170,451,782	△ 8,465,657
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	4,060,163	4,388,959	△ 328,796
未払金	38,746,162	60,720,844	△ 21,974,682
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	16,562,262	7,254,650	9,307,612
前受金	1,484,100	2,413,100	△ 929,000
預り金	1,445,468	1,683,806	△ 238,338
賞与引当金	12,466,700	15,152,246	△ 2,685,546
流動負債合計	74,835,855	91,684,605	△ 16,848,750
2 固定負債			
退職給付引当金	41,731,933	36,211,053	5,520,880
借入金	0	0	0
固定負債合計	41,731,933	36,211,053	5,520,880
負債の部合計	116,567,788	127,895,658	△ 11,327,870
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	45,418,337	42,556,124	2,862,213
(うち基本財産への充当額)	(11,000,000)	(11,000,000)	(0)
正味財産の部合計	45,418,337	42,556,124	2,862,213
負債及び正味財産合計	161,986,125	170,451,782	△ 8,465,657

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,000	9,642	1,358
事業収益			
施設管理料	539,480,029	537,872,497	1,607,532
介護予防事業収益	360,000	360,000	0
受講料収益	10,921,575	8,626,740	2,294,835
商品販売収益	603,200	374,600	228,600
施設利用料	48,681,045	46,279,911	2,401,134
飲食料収益	124,463,524	119,488,102	4,975,422
入浴料収益	27,582,260	25,272,750	2,309,510
入湯税収益	1,287,450	1,013,000	274,450
売店収益	1,357,637	1,242,822	114,815
販売手数料	4,122,420	4,539,496	△ 417,076
自動販売機収益	6,312,897	6,707,857	△ 394,960
手数料収益	664,866	792,323	△ 127,457
実費弁償金収益	1,444,236	1,560,911	△ 116,675
遊技機使用料	447,762	488,122	△ 40,360
駐車料	5,633,732	5,871,027	△ 237,295
ユニカール事業収益	0	1,181,250	△ 1,181,250
雑収益			
受取利息	51,842	56,220	△ 4,378
雑収益	2,657,243	994,871	1,662,372
経常収益計	776,082,718	762,732,141	13,350,577
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	223,555,917	256,027,341	△ 32,471,424
臨時雇賃金	76,156,097	64,576,741	11,579,356
賞与引当金繰入額	10,684,365	13,088,324	△ 2,403,959
退職給付費用	6,461,798	6,370,920	90,878
法定福利費	40,112,920	42,556,647	△ 2,443,727
旅費交通費	2,696,408	2,295,485	400,923
通信運搬費	3,992,037	3,479,865	512,172
減価償却費	1,435,050	1,653,072	△ 218,022
広告宣伝費	4,622,140	2,481,081	2,141,059
手数料	4,729,791	3,395,517	1,334,274
消耗什器備品費	946,180	1,902,110	△ 955,930
消耗品費	15,823,959	15,403,940	420,019
修繕費	13,557,204	13,042,594	514,610
印刷製本費	3,781,355	4,833,884	△ 1,052,529
燃料費	13,532,323	13,150,629	381,694
光熱水料費	95,693,891	94,197,930	1,495,961
賃借料	14,456,370	13,785,476	670,894
保険料	1,832,406	1,506,420	325,986
諸謝金	5,204,232	4,238,580	965,652
租税公課	30,892,506	20,800,222	10,092,284
支払負担金	103,700	86,700	17,000
報酬	0	798,000	△ 798,000
委託費	95,573,883	93,389,349	2,184,534
交際費	49,729	37,126	12,603
行事費	112,307	221,383	△ 109,076
研修費	94,600	300,650	△ 206,050

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
商品仕入	2,171,864	1,805,827	366,037
原材料費	45,048,065	42,804,050	2,244,015
寄付金	742,045	855,250	△ 113,205
雑費	1,116	2,047	△ 931
管理費			
役員報酬	3,076,960	6,136,050	△ 3,059,090
給料手当	28,833,590	20,686,950	8,146,640
臨時雇賃金	35,025	10,000	25,025
賞与引当金繰入額	1,782,335	2,063,922	△ 281,587
退職給付費用	6,618,202	1,108,000	5,510,202
法定福利費	5,545,728	4,036,104	1,509,624
福利厚生費	608,445	620,273	△ 11,828
会議費	46,515	21,433	25,082
旅費交通費	719,496	414,094	305,402
通信運搬費	495,712	394,510	101,202
手数料	1,363,386	157,107	1,206,279
消耗什器備品費	0	167,475	△ 167,475
消耗品費	531,639	597,431	△ 65,792
修繕費	17,268	57,540	△ 40,272
印刷製本費	50,563	21,210	29,353
燃料費	155,949	140,785	15,164
光熱水料費	522,959	509,808	13,151
賃借料	1,623,024	883,102	739,922
保険料	202,750	263,880	△ 61,130
租税公課	3,576,606	1,742,129	1,834,477
支払負担金	130,600	217,100	△ 86,500
報酬	2,284,200	1,848,000	436,200
委託費	109,089	0	109,089
交際費	10,000	43,000	△ 33,000
研修費	732,374	342,120	390,254
経常費用計	773,136,673	761,569,183	11,567,490
評価損益等調整前当期経常増減額	2,946,045	1,162,958	1,783,087
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,946,045	1,162,958	1,783,087
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	100	0	100
当期経常外増減額	△ 100	0	△ 100
税引前当期一般正味財産増減額	2,945,945	1,162,958	1,782,987
法人税、住民税及び事業税	83,732	84,182	△ 450
当期一般正味財産増減額	2,862,213	1,078,776	1,783,437
一般正味財産期首残高	42,556,124	41,477,348	1,078,776
一般正味財産期末残高	45,418,337	42,556,124	2,862,213
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,418,337	42,556,124	2,862,213

貸借対照
平成27年3

勘定科目	実施事業等会計	その他		
		施設管理	満珠荘	サングリーン菊川
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	366,361	86,132,358	691,861	3,530,536
現金	2,140	40,800	0	319,429
普通預金	364,221	86,091,558	691,861	3,211,107
定期預金				
つり銭準備金			331,000	286,000
売掛金			905,270	776,640
未収金	10,472	1,867,473	56,137	43,085
前払金	59,308	50,000	0	0
商品			52,388	32,842
原材料			532,605	426,500
貯蔵品			0	5,718
流動資産合計	436,141	88,049,831	2,569,261	5,101,321
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金				
基本財産合計	0	0	0	0
(2) 特定資産				
退職給付引当資産		0		
特定資産合計	0	0	0	0
(3) その他固定資産				
車両運搬具			0	
什器備品			0	
建物附帯設備			3,910,055	
機械装置			1,073,667	
工具器具備品			810,000	
貸付金				
その他固定資産合計	0	0	5,793,722	0
固定資産合計	0	0	5,793,722	0
資産の部合計	436,141	88,049,831	8,362,983	5,101,321
II 負債の部				
1 流動負債				
買掛金	0		1,948,202	2,111,961
未払金	110,000	24,883,620	5,187,083	6,252,410
未払法人税等	0	0	0	0
未払消費税等	11,457	10,177,777	1,578,065	2,142,135
前受金	0	1,022,100	0	0
預り金	10,210	2,551	139,469	164,018
賞与引当金	104,865	8,691,650	728,750	936,700
流動負債合計	236,532	44,777,698	9,581,569	11,607,224
2 固定負債				
退職給付引当金		6,602,826	492,600	248,150
借入金			52,757,000	
固定負債合計	0	6,602,826	53,249,600	248,150
負債の部合計	236,532	51,380,524	62,831,169	11,855,374
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
2 一般正味財産	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産の部合計	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053
負債及び正味財産合計	436,141	88,049,831	8,362,983	5,101,321

表内訳表
月31日現在

(単位：円)

会計			法人会計	内部取引消去	法人合計
売店	駐車場	小計	法人会計		
14,277,103	3,786,738	108,418,596	△ 6,370,984		102,413,973
14,861	0	375,090			377,230
4,262,242	3,786,738	98,043,506	△ 6,370,984		92,036,743
10,000,000		10,000,000			10,000,000
254,000	20,000	891,000	1,573,000		2,464,000
0	0	1,681,910	0		1,681,910
468,854	11,428	2,446,977	192,289		2,649,738
0		50,000	0		109,308
0		85,230	0		85,230
0		959,105	0		959,105
162,229		167,947	0		167,947
15,162,186	3,818,166	114,700,765	△ 4,605,695	0	110,531,211
		0	11,000,000		11,000,000
0	0	0	11,000,000	0	11,000,000
		0	34,661,183		34,661,183
0	0	0	34,661,183	0	34,661,183
		0	2		2
5		5	2		7
		3,910,055	0		3,910,055
		1,073,667	0		1,073,667
		810,000	0		810,000
38,757,000		38,757,000	14,000,000	△ 52,757,000	0
38,757,005	0	44,550,727	14,000,004	△ 52,757,000	5,793,731
38,757,005	0	44,550,727	59,661,187	△ 52,757,000	51,454,914
53,919,191	3,818,166	159,251,492	55,055,492	△ 52,757,000	161,986,125
		4,060,163			4,060,163
721,289	24,791	37,069,193	1,566,969		38,746,162
0	0	0	71,000		71,000
232,637	166,741	14,297,355	2,253,450		16,562,262
0	462,000	1,484,100	0		1,484,100
42,051	5,628	353,717	1,081,541		1,445,468
180,000	42,400	10,579,500	1,782,335		12,466,700
1,175,977	701,560	67,844,028	6,755,295	0	74,835,855
		7,343,576	34,388,357		41,731,933
		52,757,000		△ 52,757,000	0
0	0	60,100,576	34,388,357	△ 52,757,000	41,731,933
1,175,977	701,560	127,944,604	41,143,652	△ 52,757,000	116,567,788
		31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
(0)	(0)	(0)	(11,000,000)	(0)	(11,000,000)
52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
53,919,191	3,818,166	159,251,492	55,055,492	△ 52,757,000	161,986,125

正味財産増減計算書内訳表
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	実施事業等会計	その他会計						法人会計	内部取引消去	法人合計
		施設管理	満珠荘	サングリーン菊川	売店	駐車場	小計	法人会計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	11,000		11,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	11,000		11,000
事業収益	1,503,525	517,054,915	97,856,927	141,747,498	9,564,836	5,634,932	771,859,108	0		773,362,633
施設管理料	0	504,506,029	1,208,000	33,766,000	0	0	539,480,029	0		539,480,029
介護予防事業収益	0	360,000	0	0	0	0	360,000	0		360,000
受講料収益	1,503,525	9,312,450	0	105,600	0	0	9,418,050	0		10,921,575
商品販売収益	0	548,300	0	54,900	0	0	603,200	0		603,200
施設利用料	0	0	23,401,050	25,279,995	0	0	48,681,045	0		48,681,045
飲食料収益	0	2,322,472	53,602,946	68,538,106	0	0	124,463,524	0		124,463,524
入浴料収益	0	0	17,064,140	10,518,120	0	0	27,582,260	0		27,582,260
入湯税収益	0	0	0	1,287,450	0	0	1,287,450	0		1,287,450
売店収益	0	0	276,890	727,856	352,891	0	1,357,637	0		1,357,637
販売手数料	0	5,664	1,408,125	0	2,708,631	0	4,122,420	0		4,122,420
自動販売機収益	0	0	813,576	717,546	4,781,775	0	6,312,897	0		6,312,897
手数料収益	0	0	0	663,666	0	1,200	664,866	0		664,866
実費介償金収益	0	0	0	88,259	1,355,977	0	1,444,236	0		1,444,236
遊技機使用料	0	0	82,200	0	365,562	0	447,762	0		447,762
駐車料	0	0	0	0	0	5,633,732	5,633,732	0		5,633,732
管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	56,523,000	△ 56,523,000	0
本社管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	56,523,000	△ 56,523,000	0
雑収益	50	5,378	907	558,477	400,633	602	965,997	1,743,038		2,709,085
受取利息	50	752	722	1,435	10,956	602	14,467	37,325		51,842
雑収益	0	4,626	185	557,042	389,677	0	951,530	1,705,713		2,657,243
経常収益計	1,503,575	517,060,293	97,857,834	142,305,975	9,965,469	5,635,534	772,825,105	58,277,038	△ 56,523,000	776,082,718
(2) 経常費用										
事業費	4,874,315	435,690,161	114,059,522	145,338,508	10,634,477	3,467,275	709,189,943	0	△ 56,523,000	657,541,258
給料手当	2,976,259	160,939,139	27,122,118	25,083,659	5,767,966	1,666,776	220,579,658	0		223,555,917
臨時雇賃金	0	33,083,899	17,514,300	25,557,898	0	0	76,156,097	0		76,156,097
賞与引当金繰入額	104,865	8,691,650	728,750	936,700	180,000	42,400	10,579,500	0		10,684,365
退職給付費用	295,293	5,138,822	589,683	438,000	0	0	6,166,505	0		6,461,798
法定福利費	94,636	27,492,193	5,381,775	5,816,157	1,047,903	280,256	40,018,284	0		40,112,920
旅費交通費	0	1,417,805	609,960	598,370	70,273	0	2,696,408	0		2,696,408
通信運搬費	0	2,069,627	574,842	1,110,616	174,760	62,192	3,992,037	0		3,992,037
減価償却費	0	0	1,435,050	0	0	0	1,435,050	0		1,435,050
広告宣伝費	0	1,113,117	1,525,892	1,983,131	0	0	4,622,140	0		4,622,140
手数料	0	621,998	1,575,744	2,531,734	315	0	4,729,791	0		4,729,791
消耗什器備品費	0	69,660	741,520	135,000	0	0	946,180	0		946,180
消耗品費	175,530	8,202,694	1,808,738	5,557,883	79,114	0	15,648,429	0		15,823,959
修繕費	0	12,080,996	111,240	1,343,368	21,600	0	13,557,204	0		13,557,204
印刷製本費	0	2,924,375	736,668	85,320	34,992	0	3,781,355	0		3,781,355
燃料費	0	76,885	62,183	13,393,255	0	0	13,532,323	0		13,532,323
光熱水料費	0	59,786,271	17,049,079	17,046,568	1,504,600	307,373	95,693,891	0		95,693,891
賃借料	116,329	5,133,855	4,439,060	3,233,941	885,348	647,837	14,340,041	0		14,456,370
保険料	42,946	1,136,450	175,320	427,970	33,640	16,080	1,789,460	0		1,832,406
諸謝金	1,057,000	4,115,232	0	32,000	0	0	4,147,232	0		5,204,232
租税公課	11,457	21,184,869	3,043,639	5,868,052	458,928	325,561	30,881,049	0		30,892,506
支払負担金	0	32,500	1,000	62,200	8,000	0	103,700	0		103,700
委託費	0	78,402,822	9,599,927	7,452,334	0	118,800	95,573,883	0		95,573,883
交際費	0	0	0	24,000	25,729	0	49,729	0		49,729

行事費	0	47,000	0	0	65,307	0	112,307	0	112,307	
研修費	0	94,600	0	0	0	0	94,600	0	94,600	
商品仕入	0	949,244	416,831	530,039	275,750	0	2,171,864	0	2,171,864	
原材料費	0	152,413	18,816,203	26,079,449	0	0	45,048,065	0	45,048,065	
寄付金	0	732,045	0	10,000	0	0	742,045	0	742,045	
雑費	0	0	0	864	252	0	1,116	0	1,116	
本社費	0	55,430,000	10,000	1,063,000	10,000	10,000	56,523,000	△ 56,523,000	0	
管理費	0	0	0	0	0	0	59,072,415	0	59,072,415	
役員報酬	0	0	0	0	0	0	3,076,960	0	3,076,960	
給料手当	0	0	0	0	0	0	28,833,590	0	28,833,590	
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	35,025	0	35,025	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,782,335	0	1,782,335	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	6,618,202	0	6,618,202	
法定福利費	0	0	0	0	0	0	5,545,728	0	5,545,728	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	608,445	0	608,445	
会議費	0	0	0	0	0	0	46,515	0	46,515	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	719,496	0	719,496	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	495,712	0	495,712	
手数料	0	0	0	0	0	0	1,363,386	0	1,363,386	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	531,639	0	531,639	
修繕費	0	0	0	0	0	0	17,268	0	17,268	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	50,563	0	50,563	
燃料費	0	0	0	0	0	0	155,949	0	155,949	
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	522,959	0	522,959	
賃借料	0	0	0	0	0	0	1,623,024	0	1,623,024	
保険料	0	0	0	0	0	0	202,750	0	202,750	
租税公課	0	0	0	0	0	0	3,576,606	0	3,576,606	
支払負担金	0	0	0	0	0	0	130,600	0	130,600	
報酬	0	0	0	0	0	0	2,284,200	0	2,284,200	
委託費	0	0	0	0	0	0	109,089	0	109,089	
交際費	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	
研修費	0	0	0	0	0	0	732,374	0	732,374	
経常費用計	4,874,315	491,120,161	114,069,522	146,401,508	10,644,477	3,477,275	765,712,943	59,072,415	△ 56,523,000	773,136,673
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,370,740	25,940,132	△ 16,211,688	△ 4,095,533	△ 679,008	2,158,259	7,112,162	△ 795,377	0	2,946,045
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,370,740	25,940,132	△ 16,211,688	△ 4,095,533	△ 679,008	2,158,259	7,112,162	△ 795,377	0	2,946,045
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	100	0	0	0	100	0	0	100
当期経常外増減額	0	0	△ 100	0	0	0	△ 100	0	0	△ 100
他会計振替額	3,570,355	△ 2,440,192	△ 130,163	△ 2,910,953	0	△ 1,000,000	△ 6,481,308	2,910,953	0	0
他会計からの繰入額	3,570,355	25,926	1,000,000	0	0	0	1,025,926	2,910,953	△ 7,507,234	0
他会計への繰出額	0	2,466,118	1,130,163	2,910,953	0	1,000,000	7,507,234	0	△ 7,507,234	0
税引前当期一般正味財産増減額	199,615	23,499,940	△ 16,341,951	△ 7,006,486	△ 679,008	1,158,259	630,754	2,115,576	0	2,945,945
法人税、住民税及び事業税	6	143	145	289	2,220	121	2,918	80,808	0	83,732
当期一般正味財産増減額	199,609	23,499,797	△ 16,342,096	△ 7,006,775	△ 681,228	1,158,138	627,836	2,034,768	0	2,862,213
その他利益剰余金		11,303,238	0	2,910,953	0	0	14,214,191	△ 14,214,191	0	0
前期繰越利益剰余金		11,303,238	0	2,910,953	0	0	14,214,191	△ 14,214,191	0	0
一般正味財産期首残高	0	1,866,272	△ 38,126,090	△ 2,658,231	53,424,442	1,958,468	16,464,861	26,091,263	0	42,556,124
一般正味財産期末残高	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053	52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053	52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 翌期支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、退職手当規程に基づく算定額（自己都合要支給額）から、中小企業退職金共済制度により支給される額を差し引いた要支給見込額の一部を計上している。（残額は、今後の収益により補填予定）

(4) 消費税等の会計処理

税込方式による。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,000,000	0	0	11,000,000
小 計	11,000,000	0	0	11,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	35,470,303		809,120	34,661,183
小 計	35,470,303	0	809,120	34,661,183
合 計	46,470,303	0	809,120	45,661,183

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	11,000,000	(0)	(11,000,000)	(0)
小 計	11,000,000	(0)	(11,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	34,661,183	(0)	()	(34,661,183)
小 計	34,661,183	(0)	(0)	(34,661,183)
合 計	45,661,183	(0)	(11,000,000)	(34,661,183)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具 (トヨタカルディナ)	1,208,000	1,207,999	1
車両運搬具 (ミニキャブトラック)	790,000	789,999	1
小 計	1,998,000	1,997,998	2
什器備品 (本社応接セット)	240,000	239,999	1
什器備品 (本社MSシュレッター231MA)	145,000	144,999	1
什器備品 (火の山展望台望遠鏡3台)	849,000	848,997	3
什器備品 (長府庭園売店ショーケースカウンター)	237,000	236,999	1
什器備品 (ヘルシーランド売店冷蔵オープンケース)	660,000	659,999	1
小 計	2,131,000	2,130,993	7
建物付帯設備 (内装工事)	976,500	427,782	548,718
建物付帯設備 (電気工事)	819,000	358,784	460,216
建物付帯設備 (給排水・ガス工事)	1,382,850	605,795	777,055
建物付帯設備 (空調設備)	3,780,000	1,655,934	2,124,066
小 計	6,958,350	3,048,295	3,910,055
機械装置 (飲食店業務用設備)	3,493,550	2,419,883	1,073,667
小 計	3,493,550	2,419,883	1,073,667
工具器具備品 (売店陳列棚)	972,000	162,000	810,000
小 計	972,000	162,000	810,000
合 計	15,552,900	9,759,169	5,793,731

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(1) 賞与引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	15,152,246	12,466,700	15,152,246		12,466,700

(2) 退職給付引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	36,211,053	6,330,000	809,120		41,731,933

財 産 目 録

平成27年 3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金 現金	手元保管 (売店) 14,861円	運転資金として (3/31売上分)	102,413,973	
		手元保管 (サングリーン) 319,429円	運転資金として (3/31売上分)	377,230	
		手元保管 (実施事業) 2,140円	運転資金として (3/31売上分)		
		手元保管 (自主事業) 40,800円	運転資金として (3/31受講料受領分)		
	普通預金	山口銀行 本店 口座No. 6470288 74,912,582円	運転資金として (施設管理・法人会計)	92,036,743	
		山口銀行 本店 口座No. 554508 159,784円	運転資金として (法人会計・福利厚生)		
		山口銀行 本店 口座No. 0410864 3,017,281円	運転資金として (売店:本社)		
		山口銀行 長府支店 口座No. 282394 1,129,573円	運転資金として (売店:長府庭園)		
		山口銀行 新下関駅前支店 口座No. 5015587 115,388円	運転資金として (売店:ヘルシーランド)		
		山口銀行 本店 口座No. 5024095 3,786,738円	運転資金として (駐車場)		
		山口銀行 田部支店 口座No. 5006785 3,211,107円	運転資金として (サングリーン菊川・温泉プール)		
		山口銀行 本店 口座No. 5018803 691,861円	運転資金として (満珠荘)		
		山口銀行 本店 口座No. 5138343 281,121円	運転資金として (実施事業)		
		山口銀行 本店 口座No. 5129165 3,250,198円	運転資金として (自主事業)		
		山口銀行 長府支店 口座No. 5019597 195,200円	運転資金として (自主事業:毛利邸)		
		山口銀行 彦島支店 口座No. 5020294 130,550円	運転資金として (自主事業:彦島体育館)		
		山口銀行 長府東支店 口座No. 5018043 7,000円	運転資金として (実施事業:長府体育館)		
		山口銀行 彦島支店 口座No. 5020304 25,200円	運転資金として (自主事業:青少年ホーム)		
		山口銀行 新下関駅前支店 口座No. 5046486 990,960円	運転資金として (自主事業:ヘルシーランド)		
		山口銀行 長府支店 口座No. 5019580 35,100円	運転資金として (自主事業:長府庭園)		
		山口銀行 長府東支店 口座No. 5021926 20,000円	運転資金として (自主事業:アクティブセンター)		
		山口銀行 東駅出張所 口座No. 5016346 77,100円	運転資金として (実施事業:下関運動公園)		
		定期預金	西中国信用金庫 下関市役所出張所 大口定期預金 No. 34052 10,000,000円		10,000,000
		つり銭準備金			2,464,000
	売掛金		クレジットカード利用者売上等	1,681,910	
	未収金		美術館受託料、自動販売機販売手数料 (3月分) 等	2,649,738	
前払金		有証・貨紙幣類年進運送保険等	109,308		
商品		自販機販売用飲料、商品	85,230		
原材料		食材・飲料等	959,105		
貯蔵品		商品 (菓子類)、名入れタオル、コースター等	167,947		
流動資産合計			110,531,211		
(固定資産)	基本財産	定期預金	西中国信用金庫 下関市役所出張所 定期預金 No. 0033365 11,000,000円	11,000,000	
		退職給付引当資産	西中国信用金庫 下関市役所出張所 定期預金 No. 0035147 27,682,563円 山口銀行 本店 定期預金 No.410864-013 6,492,673円 山口銀行 本店 定期預金 No.410864-014 485,947円 山口銀行 本店 普通預金 No. 6470288 0円	34,661,183	
	その他固定資産	車両運搬具	車両運搬具2台 (カルディナ・ミニキャブトラック)	2	
		什器備品	望遠鏡3台・ショーケース等	7	
		建物附帯設備	厨房等の給排水設備等	3,910,055	
	機械装置	厨房の機械装置	1,073,667		
	工具器具備品	売店陳列棚	810,000		
固定資産合計			51,454,914		
資産合計			161,986,125		
(流動負債)	買掛金	食材・飲料等	4,060,163		
	未払金	委託等の業者支払・退職金の支払等	38,746,162		
	未払法人税等	平成26年度法人税納付のため	71,000		
	未払消費税等	平成26年度第4期消費税納付のため	16,562,262		
	前受金	平成27年度分自主事業講座受講料、駐車場収入	1,484,100		
	預り金	雇用保険料、3月分市・県民税及び所得税	1,445,468		
	賞与引当金	当会計年度に帰属する額	12,466,700		
流動負債合計			74,835,855		
(固定負債)	退職給付引当金 借入金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	41,731,933		
固定負債合計			41,731,933		
負債合計			116,567,788		
正味財産			45,418,337		

監査報告

平成27年 5月18日

一般財団法人下関市公営施設管理公社
理事長 波多野 実 様

監事

岡田 健

監事

井上 浩

私たち監事は、当法人の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の理事の職務の執行について、監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第99条第1項の規定に基づき、業務及び会計の監査を行い、下記のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査については、閲覧、質問など必要と思われる監査手続を用いて事業報告及びその附属明細書並びに理事の職務の執行を監査した。
- (2) 会計監査については、閲覧、証憑突合など必要と思われる監査手続を用いて貸借対照表及び正味財産増減計算書(財務諸表に対する注記を含む。以下「計算書類」という。)並びにその附属明細書を監査した。
- (3) 計算書類及び附属明細書に基づいて作成されている公益目的支出計画実施報告書を監査した。

2 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は、会計帳簿又はこれに関する資料の記載金額と一致し、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していると認める。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書の記載内容と一致し、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以上

平成 27 年度

一般財団法人下関市公営施設管理公社

事業計画書及び収支予算書

一般財団法人下関市公営施設管理公社

目 次

平成27年度 事業計画書及び収支予算書

○ 事業計画書		1
○ 収支予算書		3
○ 実施事業等会計内訳、その他会計内訳、法人会計内訳		
○ 実施事業等会計内訳		
実施事業（公益目的事業）		4
○ その他会計内訳		
1. 火の山地区観光施設		6
2. 下関市火の山ロープウェイ		8
3. 下関市勤労青少年ホーム		10
4. 唐戸市場駐車場		12
5. 下関市長府体育館（長府運動場）		14
6. 下関市市民プール（長府扇町運動広場）		16
7. 下関市彦島体育館 （下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場）		18
8. 下関市立美術館		20
9. 下関市勤労者総合福祉センター		22
10. 長府庭園		24
11. 下関市ふれあい健康ランド		26
12. 長府毛利邸		28
13. 粗大ごみ等受付センター		30
14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場		32
15. 下関市満珠荘		34
16. 下関市営宿舎サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）		36
17. 売店		38
18. 駐車場		40
○ 法人会計内訳		
本社		42

事業計画書

1. 基本方針

一般財団法人下関市公営施設管理公社は、下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等と密接な連携を保ち、下関市が設置する施設及び下関市内及びその周辺地域に設置された国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等の施設の管理運営について、下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は他の公共団体等から指定管理者の指定、業務の委託を受け、又は施設を借り受け、効率的に当該施設の設置目的を達成することにより、市民等の福利厚生の上及び地域社会の健全な発展に寄与すること、その他市民の利便性の向上を図ることを目的としている。

この目的を達成するため、下関市から指定管理者の指定及び業務の委託を受けた施設の条例等による管理内容と公共性を十分理解し、施設の設置目的の達成に向けて効率的、効果的な事業運営に努める。

施設管理においては、「下関市環境方針」に基づき、省エネルギー、省資源、廃棄物減量など、環境への負荷低減に努め、適切な管理を行う。

公共施設の管理運営を行うにあたり、「個人情報保護に関する法律」及び「下関市個人情報保護条例」等に基づき、業務上知り得た個人情報の保護の重要性を認識し、その取り扱いを慎重かつ適正に行うことに努めることとしている。そのため平成27年度の早々においては、個人情報保護マネジメントシステムを導入し、個人情報保護方針を定め、個人情報を安全に管理できる体制を整え、たうえで全社一丸となって個人情報を適切に取り扱う事業者としての認証であるプライバシーマークの取得をした。

規制緩和による競争激化、余暇の過ごし方の多様化、景気の低迷等による施設の利用者数の減少傾向等、公社を取り巻く情勢が、年々厳しくなっており、全職員が経営環境を今まで以上に認識し、自主事業を始めとする顧客満足度を最優先とした新たな事業展開と健全な経営及び中長期に渡る経営計画の目標達成に努める。そのための経営方針として、下関市公営施設管理公社経営検討委員会の答申や下関市改革プランからの指摘事項を着実に実行するため、職員の意識改革を図りながら、改革実施計画に基づく成長給制度の導入や営業戦略プランの実行など人材育成と営業力の強化に努める。

2. 事業計画

一般財団法人下関市公営施設管理公社は、定款に基づき評議員5名による評議員会と、理事及び監事8名による理事会を構成し、それぞれの運営規則により当公社の目的と事業達成のための会議を行う。

平成27年度の事業数は、実施事業等会計（1事業）、その他会計（18事業）、法人会計（1事業）の計20事業であり、79名（職員54名、嘱託職員25名）の職員をもって実施する。

(1) 実施事業（公益目的事業）等会計

市民等の教養・文化の向上、健康と福祉の増進並びに公衆衛生の向上に寄与するための事業及び地域交流の場を提供するため、下関市勤労青少年ホーム、下関市長府体育館、下関市市民プール、下関市勤労者総合福祉センター、下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場、下関市満珠荘及び下関市内公共施設において公益目的事業を実施する。

(2) その他会計

ア. 指定管理事業及び業務受託事業（16事業）

下関市から指定管理者の指定及び業務の委託を受けた公共施設等の管理業務について、施設を利用されるお客様に満足していただくための管理運営に努める。

また、指定管理施設においては、市民等の教養・文化の向上、健康と福祉の増進並びに公衆衛生の向上に寄与するため、自主事業として各種講座やイベント等を開催し昨年を上回る施設の利用促進を図る。

その他会計における指定管理施設及び受託施設は、次表のとおり。

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設（※表示）
産業振興部 ・産業立地・就業支援課	・下関市勤労青少年ホーム（愛称：ユーパル下関） ・下関市勤労者総合福祉センター（愛称：下関アクティブセンター）
・市場流通課	※唐戸市場駐車場
観光交流部 ・観光施設課	※火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ・火の山立体駐車場） ※下関市火の山ロープウェイ ・長府庭園 ・下関市ふれあい健康ランド（愛称：ヘルシーランド下関） ・長府毛利邸
・スポーツ振興課	・下関市長府体育館（長府運動場） ・下関市市民プール（長府扇町運動広場） ・下関市彦島体育館（下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場） ・下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場 （下関市営下関陸上競技場・下関市営下関庭球場・下関市体育館 下関市弓道場・下関市相撲場・下関市アーチェリー場 下関市向洋グラウンド・下関市フットサル場）
教育委員会 ・美術館	※下関市立美術館
環境部 ・クリーン推進課	※粗大ごみ等受付センター
福祉部 ・長寿支援課	・下関市満珠荘
菊川総合支所 ・地域政策課	・下関市営宿舍サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）

イ. 売店事業（1事業）及び駐車場事業（1事業）

下関市から指定管理者として指定を受けた施設内等において、お客様へのサービス向上のため売店営業や自動販売機を設置する等の売店事業を行う。

また、山口県が所有する土地を借り受け、月極駐車場として駐車場事業を行う。

(3) 法人会計

一般財団法人下関市公営施設管理公社の設置目的を達成するための本社機能として、また、下関市及び関係各機関と連携を図り、管理運営を行う各施設の効率的な運営に努めるために事務局を設置する。

3. 管理運営の考え方

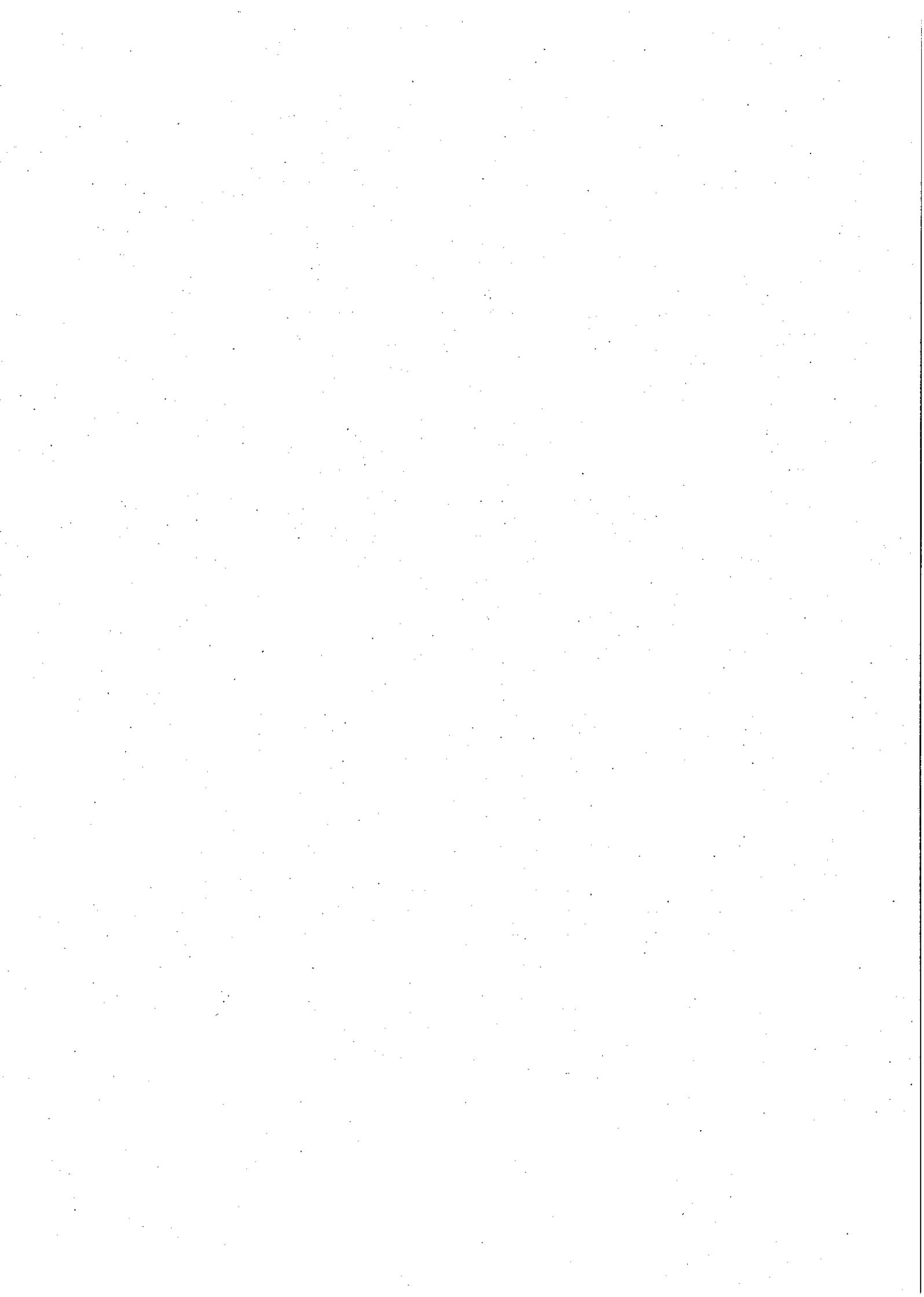
- (1) 下関市と密接な連携を保ち、効率的な運営並びにお客様に満足していただくことを最優先にした運営に努める。
- (2) 指定管理者に適わしい技術の習得と接遇態度の向上に努める。
- (3) 各事業所に意見箱を設置し、利用者の意見・要望に前向きに対応する。
- (4) 個人情報保護マネジメントシステムを導入のうえ、個人情報の安全管理や取り扱い方法を定めたマニュアル及び手順書等を作成し、これらに基づき個人情報の保護と安全な管理を行うように努める。
- (5) 公金の管理及び指定管理料と受託料の執行については、安全かつ厳正を期する。
- (6) 職員の健康保持並びに職場環境の改善に努める。

平成27年度収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	実施事業等会計	その他会計						法人会計	内部取引 消去	合計
	実施事業	施設管理	済珠荘	サングリーン 舟川	売店	駐車場	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	11	0	11
事業収益	7,073	523,288	112,719	155,730	10,630	5,775	808,142	0	0	815,215
管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	49,651	△ 49,651	0
受取手数料								526		526
雑収益	8	8	2	674	23	2	709	30	0	747
経常収益計	7,081	523,296	112,721	156,404	10,653	5,777	808,851	50,218	△ 49,651	816,499
(2) 経常費用										
事業費	14,864	516,471	111,763	156,404	10,653	5,777	801,068		△ 49,651	766,281
管理費								50,137	0	50,137
経常費用計	14,864	516,471	111,763	156,404	10,653	5,777	801,068	50,137	△ 49,651	816,418
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,783	6,825	958	0	0	0	7,783	81	0	81
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,783	6,825	958	0	0	0	7,783	81	0	81
2. 経常外増減の部							0			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	7,801	△ 6,843	△ 958				△ 7,801			0
税引前当期一般正味財産増減額										
法人税、住民税及び事業税								81		81
当期一般正味財産増減額	18	△ 18	0	0	0	0	△ 18	0	0	0
一般正味財産期首残高	204	1,662	△ 38,126	△ 2,658	53,443	1,959	16,280	25,092		41,576
一般正味財産期末残高	222	1,644	△ 38,126	△ 2,658	53,443	1,959	16,262	25,092	0	41,576
II 指定正味財産増減の部							0			
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	222	1,644	△ 38,126	△ 2,658	53,443	1,959	16,262	25,092	0	41,576



平成 2 7 年 度

実 施 事 業 等 会 計 内 訳

事 業 計 画 内 訳 書

収 支 予 算 内 訳 書

実施事業

事業計画書

下関市公営施設管理公社が、一般財団法人へ移行することに伴い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第119条公益目的支出計画の作成に基づき、公社が保有する財産に相当する額を公益目的財産額として、計画的に公益の目的のために支出する計画を、下関市満珠荘ほか公共施設において実施事業として実施するもの。

1. 下関市勤労青少年ホーム
卓球大会 他7事業
2. 下関市長府体育館
ユニカール大会 他7事業
3. 下関市市民プール
ヨーヨー釣り大会 他2事業
4. 下関市勤労者総合福祉センター
太極拳初心者コース 他6事業
5. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場
綺麗な身体作りエクササイズ 他7事業
6. 下関市満珠荘
料理教室 他2事業

実施事業等会計

実施事業（公益目的事業）

（様式2-1）

平成27年度収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

（単位：千円）

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
実施事業 事業収益	7,073	2,721	4,352	
受講料収益	5,980	0	5,980	
参加料収益	1,093	2,721	△ 1,628	
雑収益	8	4	4	
受取利息	4	2	2	
雑収入	4	2	2	
経常収益計	7,081	2,725	4,356	
(2) 経常費用				
実施事業 事業費	14,057	5,894	8,163	
2 給料手当	5,361	2,453	2,908	
4 賞与引当金繰入額	223	95	128	
6 退職給付費用	300	75	225	
7 法定福利費	1,322	1,118	204	
13 広告宣伝費	270	0	270	
14 手数料	6	0	6	
16 消耗品費	953	252	701	
21 貸借料	543	189	354	
22 保険料	207	128	79	
23 諸謝金	2,771	1,392	1,379	
24 租税公課	718	169	549	
27 委託費	354	0	354	
32 原材料費	329	23	306	
34 予備費	700	0	700	
管理費	807	572	235	
本社費	807	572	235	
経常費用計	14,864	6,466	8,398	
評価損益等調整前経常増減額	△ 7,783	△ 3,741	△ 4,042	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 7,783	△ 3,741	△ 4,042	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	7,801	3,741	4,060	
税引き前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	18	0	18	
一般正味財産期首残高	204	△ 2,784	2,988	
一般正味財産期末残高	222	△ 2,784	3,006	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	222	△ 2,784	3,006	

平成 2 7 年 度

そ の 他 会 計 内 訳

事 業 計 画 内 訳 書

収 支 予 算 内 訳 書

火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）

事業計画書

1. 職員構成

-職員4名をもって火の山地区観光施設(下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場)の運營業務を実施するが、職員2名は、主に下関市火の山ロープウェイ運行業務に従事し、ロープウェイ運行業務に影響がでない範囲内(運休期間等)において、火の山地区観光施設(下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場)の運營業務に従事することができる。繁忙期においては、日々雇用職員を職員補助として雇用する。

2. 営業時間(※市のイベント等により、開放時間等の変更あり)

下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場

月 別	パークウェイ(上り)	火の山立体駐車場	パークウェイ(下り)	備 考
	開 放 時 間	閉 鎖 時 間	閉 鎖 時 間	
11月～2月	8:00～21:00	22:00	22:30	
3月～10月	8:00～22:00	23:00	23:30	
1月1日	5:00～21:00	22:00	22:30	元旦 早朝営業

年中無休：天候・路面状況等により通行規制、臨時閉鎖する場合がある。

3. 管理運営

- (1) 関係法令、市の条例及び規則等を遵守し、人命を預かる公共輸送と公共施設として、安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態に管理し、施設の設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組む。
- (2) 火の山公園内にある公共観光施設として、お客様に対する良質なサービスの提供、内容の向上に努め、接遇・マナーについても常に好印象を与えるよう職員各自が持っている経験・知識を共有し、下関市の観光PRに努める。
- (3) 施設の巡視点検等を実施し、事故等の発生を未然に防止するとともに、お客様の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、お客様に喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努める。
- (4) ロープウェイ運行に係わる下関市の職員と連携し、お客様の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務として、きめ細かな対応、業務実施に努める。
- (5) 施設の機械設備等の保守点検、立体駐車場内の利用車両の把握、警備、監視、清掃、環境整備及びパークウェイ巡回、監視、清掃等の火の山地区観光施設の維持管理を効率的・効果的に実施し、故障等トラブル発生時は、直ちに応急措置を実施し、施設の安全性と、お客様の利便性の向上に努める。
- (6) 施設の立地条件等の特性を配慮した天候変化や路面状況の変化等の情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、お客様の安全確保を第一にパークウェイ通行規制等、秩序ある維持管理を実施する。
- (7) 施設の消耗品等の補充・交換は、お客様の利便性を常に意識し、環境整備としての適切な管理を行う。
- (8) 施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理に努める。
- (9) 下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組む。

4. 設備管理

- (1) お客様の安全確保を第一に、照明設備、誘導標識、防災設備、車両監視設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、市への報告、施設の維持保全に努める。
- (2) 施設・パークウェイの点検巡回清掃を実施、トイレ等衛生管理に重点をおき、お客様の快適な施設利用に努める。
- (3) 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- (4) 修繕箇所の早期発見等、設備故障発生時等の応急措置、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努める。
- (5) 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備に対する知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努める。

その他会計

施設管理 1. 火の山地区観光施設

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	14,739	14,662	77	
施設管理料	14,739	14,662	77	
経常収益計	14,739	14,662	77	
(2) 経常費用				
火の山地区観光施設事業費	13,551	13,466	85	
2 給料手当	9,117	9,103	14	
4 賞与引当金繰入額	489	556	△ 67	
5 臨時雇賃金	638	638	0	
6 退職給付費用	653	513	140	
7 法定福利費	1,518	1,535	△ 17	
10 旅費交通費	106	105	1	
24 租税公課	1,030	1,016	14	
火の山地区観光施設管理費	1,188	1,196	△ 8	
本社費	1,188	1,196	△ 8	
経常費用計	14,739	14,662	77	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関市火の山ロープウェイ

事業計画書

1. 職員構成

職員2名をもって、火の山地区観光施設（下関市火の山ロープウェイ）の運行業務を行う。なお、ロープウェイ運行業務に影響がでない範囲内（運休期間等）において、火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運營業務に従事することができる。

2. 営業時間（※市のイベント等により運行時間等の変更あり）

下関市火の山ロープウェイ 運行日数年間198日（注）

月 別	運 行 時 間
4月1日(木)～11月23日(月)	10:00～17:00（夜間運行時：花火大会夜間運行8/13(木)10:00～21:00、夏季
3月20日(木)～3月31日(月)	週末夜間運行8/1(土),8/8(土),8/15(土),8/22(土),8/29(土) 10:00～21:00、中秋の名月夜間運行9/27(日)10:00～21:00

定休日（予定）：毎週火、水曜日（祝日及び一部運転予定日除く）（注：市観光施設課による平成27年度ロープウェイ運行日程（予定）に基づくもので、実施される市の運行計画に対応するため、運行日程等変更の場合がある。）

3. 管理運営

- (1) 関係法令、市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送・公共施設として、安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組む。
- (2) 火の山公園内の公共観光施設として、お客様に対して良質なサービスの提供、内容の向上に努め、接遇・マナーについても常に好印象を持っていただけるよう職員各自が知識・経験を共有し、下関市の観光PRに努める。
- (3) 施設等の巡視点検を実施し、事故等の発生を未然に防止するとともに、お客様の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、お客様に喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努める。
- (4) 下関市、運行に係わる市の職員と連携を密にし、お客様の安全確保を第一に、より公共性・公益性の高い業務として、きめ細かな対応、業務実施に努める。
- (5) ロープウェイの機械設備等の保守点検等施設の維持管理については、作業を効率的・効果的に実施し、故障等トラブル発生時には、直ちに応急措置を実施し、施設の安全性と、お客様の利便性の向上に努める。
- (6) 施設の立地条件等の特性を配慮し、天候や状況の変化等の情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、お客様の安全を第一にロープウェイの運休等、秩序ある維持管理を実施する。
- (7) 施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないように工夫した施設管理に努める。
- (8) 市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組む。
- (9) ロープウェイ乗客に、より快適な利用をしていただけるよう更なる運転技術の向上に努め、ロープウェイ営業スタッフ研修時に、設備説明、応急救助装置等乗客の安全確保に関する指導、営業訓練時運転業務等協力し、観光施設としての向上に努める。

4. 設備管理

- (1) お客様の安全確保を第一に、照明設備、誘導標識、防災設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努める。
- (2) 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- (3) ロープウェイ運行に係わる機械設備等の保守は、各種法令、整備細則等に基づく点検を実施し、円滑運行のための保守整備、安全運転を徹底、トラブル等発生防止に努め、緊急時に備えた応急救助装置点検、操作訓練等実施し対応体制に万全を期す。
- (4) 設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見、市への報告を的確に実施し、設備管理・維持保守に努める。
- (5) 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できる知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努める。

その他会計

施設管理 2. 下関市火の山ロープウェイ

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	6,446	6,561	△ 115	
施設管理料	6,446	6,561	△ 115	
経常収益計	6,446	6,561	△ 115	
(2) 経常費用				
下関市火の山ロープウェイ事業費	5,924	6,039	△ 115	
2 給料手当	4,147	4,229	△ 82	
4 賞与引当金繰入額	252	322	△ 70	
6 退職給付費用	368	298	70	
7 法定福利費	687	715	△ 28	
10 旅費交通費	20	18	2	
24 租税公課	448	457	△ 9	
25 支払負担金	2	-	2	
下関市火の山ロープウェイ管理費	522	522	0	
本社費	522	522	0	
経常費用計	6,446	6,561	△ 115	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関市勤労青少年ホーム

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 月曜日及び火曜日 13:00～21:00

水曜日から土曜日まで 9:00～21:00

日曜日及び祝日 9:00～17:00

休館日は、12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 市内で働く青少年が余暇を有意義に活用し、充実した職業生活ができるよう文化講座の団体の誘致に努める。
- (2) 勤労青少年及び一般市民の交流を図り広く学習機会を提供し福祉の増進と健全な育成に資すること、また、地域の方々の交流の場として、文化講座を14講座開催する。
- (3) 平日の午前・午後の時間帯に部屋の稼働率を上げるため卓球教室、ピラティスを開拓し、増収・増員に努める。
- (4) グループ・クラブ活動に対して、合同委員会の開催及び発表会行事の補佐をし、施設利用が円滑に行えるように努める。
- (5) レクリエーションの指導等の健全な活動の場を与え、自主的な社会性を育み、生産性の向上を図る支援に努める。
- (6) 若者の出会いの場及び勤労青少年と地域との交流の場を提供し自主事業を企画・開催し施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- (7) 文化講座等の自主事業により勤労青少年の利用促進を図るとともに勤労青少年登録者を募集し団体活動に繋がるように努める。
- (8) お客様へのアンケートを行い、要望の内容を下関市へ報告するとともに、可能な限り施設運営へ反映するように努める。
- (9) 安全な施設維持のため、施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (10) 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。
- (11) 職員の資質及びサービスの向上を図るため、施設内でのミーティングを実施、施設間の連携で知識の習得、技術の向上に努める。また、接遇研修等の各種研修会へ参加する。
- (12) 事故や災害等が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。
- (13) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに個人情報の保護と適正管理に努める。

4. 設備管理

- (1) 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、貯水槽清掃・害虫駆除等の衛生管理、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。
- (2) 館内の照明設備、軽運動室等について、適時点検を行い、お客様の安全確保に努める。

その他会計

施設管理 3. 下関市勤労青少年ホーム
(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
大中								
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	22,607	-	22,607	22,954	287	23,241	△ 634	
施設管理料	22,607	-	22,607	22,954	-	22,954	△ 347	
受講料収益	-	-	-	-	287	287	△ 287	
雑収益	-	-	-	-	2	2	△ 2	
受取利息	-	-	-	-	1	1	△ 1	
雑収益	-	-	-	-	1	1	△ 1	
経常収益計	22,607	-	22,607	22,954	289	23,243	△ 636	
(2) 経常費用								
下関市勤労青少年ホーム事業費	16,338	-	16,338	17,867	253	18,120	△ 1,782	
2 給料手当	7,729	-	7,729	8,956	-	8,956	△ 1,227	
4 賞与引当金繰入額	442	-	442	619	-	619	△ 177	
6 退職給付費用	591	-	591	500	-	500	91	
7 法定福利費	1,319	-	1,319	1,492	-	1,492	△ 173	
10 旅費交通費	58	-	58	57	-	57	1	
11 通信運搬費	185	-	185	188	-	188	△ 3	
13 広告宣伝費	33	-	33	-	-	-	33	
14 手数料	21	-	21	20	-	20	1	
16 消耗品費	90	-	90	103	41	144	△ 54	
17 修繕費	311	-	311	365	-	365	△ 54	
18 印刷製本費	43	-	43	12	-	12	31	
20 光熱水料費	2,909	-	2,909	2,865	-	2,865	44	
21 賃借料	104	-	104	104	15	119	△ 15	
22 保険料	7	-	7	7	-	7	0	
23 諸謝金	-	-	-	-	47	47	△ 47	
24 租税公課	829	-	829	952	7	959	△ 130	
27 委託費	1,660	-	1,660	1,615	-	1,615	45	
29 行事費	7	-	7	12	-	12	△ 5	
32 原材料費	-	-	-	-	143	143	△ 143	
下関市勤労青少年ホーム管理費	4,525	-	4,525	5,087	36	5,123	△ 598	
本社費	4,525	-	4,525	5,087	36	5,123	△ 598	
経常費用計	20,863	-	20,863	22,954	289	23,243	△ 2,380	
評価損益等調整前経常増減額	1,744	-	1,744	0	0	0	1,744	
評価損益等計	0	-	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	1,744	-	1,744	0	0	0	1,744	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	-	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	-	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	-	0	0	0	0	0	
他会計振替額	△ 1,744	△ 18	△ 1,762	0	0	0	△ 1,762	
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税								
当期一般正味財産増減額	0	△ 18	△ 18	0	0	0	△ 18	
一般正味財産期首残高	0	18	18	0	0	0	18	
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	-	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	-	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

唐戸市場駐車場

事業計画書

1. 職員構成

職員4名をもって管理運営を行う。

但し、馬関街開催日、年末・年始、関門海峡花火大会、亀山八幡宮花火大会、ゴールデンウィーク等には安全管理と渋滞緩和のため日々雇用職員を雇用して対応する。

2. 営業時間 0:00~24:00 (年中無休・24時間営業)

3. 管理運営

- (1) 下関市との連携を図り、管理運営に万全を期する。
- (2) お客様に不快感を与えないよう接客・サービス向上に努める。
- (3) 公金及び有価証券等の厳正なる管理に努める。
- (4) 利用車両による場内渋滞を緩和するため事前精算を行うとともに、事前精算場内アナウンスや案内表示設置等を実施することにより、出庫の円滑化に努める。
- (5) 駐車場内及び施設周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止に努める。
- (6) 職員の資質向上のため、接客研修等の各種研修会へ参加する。
- (7) 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと、緊急マニュアルによる対応を行う。
- (8) 観光パンフレット等を設置して、お客様への下関市の広報宣伝に努める。
- (9) 市外からの観光客のため、市内全域のイベント・行事の情報を集めて周知する。
- (10) 駐車場内及び周辺の清掃を適時行い、環境美化に努める。
- (11) 下関市と連携を図り、消火訓練及び避難訓練に参加する。
- (12) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに個人情報の保護と適正管理に努める。

4. 設備管理

- (1) 清掃業務による環境整備、夜間機械警備の安全管理及び海峡花火大会開催日の臨時警備を業務委託により行う。
- (2) 場内の自動精算機等の点検を常時実施し、業務に支障の無いように努める。
- (3) 施設点検を行い安全管理に努める。

その他会計
 施設管理 4. 唐戸市場駐車場
 (様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	26,453	26,143	310	
施設管理料	26,453	26,143	310	
経常収益計	26,453	26,143	310	
(2) 経常費用				
唐戸市場駐車場事業費	23,429	23,140	289	
2 給料手当	12,793	12,675	118	
4 賞与引当金繰入額	741	921	△ 180	
5 臨時雇賃金	612	612	0	
6 退職給付費用	1,020	810	210	
7 法定福利費	2,188	2,228	△ 40	
10 旅費交通費	81	57	24	
11 通信運搬費	82	81	1	
16 消耗品費	546	386	160	
17 修繕費	87	87	0	
18 印刷製本費	2,158	2,158	0	
21 賃借料	26	26	0	
22 保険料	50	50	0	
24 租税公課	1,423	1,409	14	
27 委託費	1,622	1,640	△ 18	
唐戸市場駐車場管理費	3,024	3,003	21	
本社費	3,024	3,003	21	
経常費用計	26,453	26,143	310	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関市長府体育館（長府運動場）

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって、管理運営を行う。

2. 営業時間
- | | |
|---------|------------|
| 日曜日・祝日 | 9:00～17:00 |
| 月曜日～土曜日 | 9:00～22:00 |
- 休館日は、12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 市民の健康の増進と体育の振興・普及に資するための公共施設であることを十分認識し、公平な利用の確保並びに安全かつ快適な施設を提供できるよう適正なる管理運営に努める。
- (2) 「安全確保のためのチェック表」に基づいた管理を徹底し、施設や機器の異常等をいち早く発見することによる危険要因の排除、事故や災害の未然防止・安全確保に努める。
また、緊急災害時の地区避難場所として、避難者の安全確保を第一に考え、誘導等の適切な対応を迅速に行なうとともに、下関市、警察・消防・医療各機関と連携し、必要な指示を受け対応する。
- (3) 各施設の予約について、下関市及び各体育団体と連絡を密にとり、年間の使用調整を行うとともに、お客様の利便性及び確実性向上のために下関市公共予約システムの普及と合わせ、平成23年12月1日から開始した長府運動場の抽選予約システムの普及に努める。
- (4) アンケート調査を実施することにより、利用されるお客様の声を反映し、より充実した施設運営に努める。
- (5) お客様に対する接遇を徹底し、広く市民に親しまれる施設になるように努め、地域スポーツの振興に寄与する。また、周辺地域や市教育機関等に施設利用のPRを行い、お客様の増加を図る。
- (6) 施設利用のきっかけづくりとして実施する自主事業を通じて、施設のPR及びお客様の増加に努める。
(平成27年度自主企画事業の実施予定)
①綺麗な身体作りエクササイズ②卓球大会③ユニカール教室④ユニカール大会
- (7) 施設内でのミーティングの実施、接遇研修など各種研修会の受講を実施させ、職員の資質向上、知識の習得や技術の向上及びサービスの充実を図る。
- (8) 所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた消火訓練及び避難訓練を定期的実施する。
- (9) 事故や災害等が発生した場合は、緊急連絡網、緊急対応マニュアルにより速やかな対応と適切な処置を行う。また、施設に備え付けているAEDの取り扱いについては、全職員がその操作を熟知しており、緊急時に早急で適確な対応を実施する。
- (10) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守し、個人情報の保護と適正管理に努める。

4. 設備管理

- (1) 専門的な知識技能を必要とする維持管理については、専門業者により実施する。
 - ア. 夜間機械警備業務 … 夜間の無人状態時における機械警備
 - イ. 消防設備保守点検業務 … 消防法に基づく法令点検
 - ウ. 定期清掃業務 … 高所の窓ガラスの清掃、床のワックス掛け
- (2) 照明設備、体育器具等については、お客様の安全確保と利用に支障が出ないよう適時点検を行う。
- (3) お客様や周辺散策者の安全確保及び美観維持のため、環境整備に努める。
また、日常的な清掃、周辺美化等については、職員により適宜実施する。

施設管理 5. 下関市長府体育館
(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
大中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	18,166	18,489	△ 323	
施設管理料	18,166	18,489	△ 323	
経常収益計	18,166	18,489	△ 323	
(2) 経常費用				
下関市長府体育館事業費	15,481	16,312	△ 831	
2 給料手当	7,991	8,492	△ 501	
4 賞与引当金繰入額	452	584	△ 132	
6 退職給付費用	605	502	103	
7 法定福利費	1,381	1,467	△ 86	
10 旅費交通費	9	9	0	
11 通信運搬費	169	169	0	
16 消耗品費	108	216	△ 108	
17 修繕費	1,000	1,000	0	
18 印刷製本費	72	72	0	
19 燃料費	4	4	0	
20 光熱水料費	1,939	1,939	0	
21 賃借料	26	26	0	
22 保険料	80	80	0	
24 租税公課	862	969	△ 107	
27 委託費	783	783	0	
下関市長府体育館管理費	1,311	1,461	△ 150	
本社費	1,311	1,461	△ 150	
経常費用計	16,792	17,773	△ 981	
評価損益等調整前経常増減額	1,374	716	658	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	1,374	716	658	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 1,374	△ 716	△ 658	
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0		0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関市市民プール（長府扇町運動広場）

事業計画書

1. 職員構成

職員2名及び日々雇用職員をもって、管理運営を行う。

2. 営業時間	下関市市民プール開催期間	7月13日から8月31日まで（50日間）
	下関市市民プール営業時間	9：30～18：30
	長府扇町運動広場使用時間	9：00～17：00
	長府扇町運動広場休場日	12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 下関市体育施設の設置目的や公共施設であることを十分認識し、市民の福利厚生に寄与することに努める。
- (2) 施設の安全対策を重視し、最少の経費で最大の効果をあげるため、効率的な運営及び経費削減可能な方策を考案し、下関市と連携して業務を遂行する。
- (3) プール管理運営上で必要な知識を得るため職員はプール衛生管理者等の資格習得に努める。
また、プール監視を行うために監督員、監視員として雇用する日々雇用職員に対する安全講習会及びAED取扱講習を実施し、事故に対して迅速かつ適切な処置を実施できる体制を構築する。
- (4) 市民プール開場期間にヨーヨー釣り大会等の自主事業を開催し、施設の宣伝に努めてお客様の増加を図る。
- (5) 下関市及び各体育団体と連絡を密にとり年間の使用調整を行うとともに、下関市公共予約システムの導入に伴い、長府扇町運動広場の施設予約についてお客様の利便性向上のため、その普及と合わせ、平成23年12月1日から開始した抽選予約システムの普及に努める。
- (6) アンケート調査を実施することにより、利用されるお客様の声を反映し、より充実した施設運営に努める。
- (7) 接遇研修及び各種研修会に参加し資質向上を図り、より多くのお客様に親しまれるように努める。
- (8) 施設内外の適時巡視点検に努めるとともに、万が一事故や災害が発生した場合、責任者指示のもと緊急連絡網、緊急対応マニュアルにより適切に対応する。
- (9) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努める。

4. 設備管理

- (1) プールのろ過機の運転及び保守点検、水質検査、浄化槽維持管理並びに場内外除草、開場前後片付け清掃業務、夜間機械警備等維持管理は業務委託により実施する。
- (2) プール開場中はプール専属の監督員、監視員、窓口員、看護師を雇用し、安全管理について万全を期する。
- (3) プール場内外や長府扇町運動広場を適時点検し、不良箇所の早期発見により事故防止に努める。
- (4) 長府扇町運動広場内の雑草等の環境整備及び浄化槽の維持管理のため衛生管理は業務委託により実施する。
- (5) 長府扇町運動広場内のトイレ、設置しているグランド整備器具等は適時点検を実施する。

その他会計
 施設管理 6. 下関市市民プール
 (様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度		増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	42,685	42,834	△ 149	
施設管理料	42,685	42,834	△ 149	
経常収益計	42,685	42,834	△ 149	
(2) 経常費用				
下関市市民プール事業費	38,294	38,279	15	
2 給料手当	5,072	5,346	△ 274	
4 賞与引当金繰入額	262	335	△ 73	
5 臨時雇賃金	8,003	7,995	8	
6 退職給付費用	323	270	53	
7 法定福利費	885	953	△ 68	
11 通信運搬費	184	185	△ 1	
14 手数料	199	199	0	
16 消耗品費	1,113	794	319	
17 修繕費	1,000	1,000	0	
18 印刷製本費	45	45	0	
20 光熱水料費	5,973	5,969	4	
21 賃借料	26	26	0	
22 保険料	260	260	0	
24 租税公課	1,216	1,244	△ 28	
27 委託費	13,733	13,658	75	
下関市市民プール管理費	4,012	4,555	△ 543	
本社費	4,012	4,555	△ 543	
経常費用計	42,306	42,834	△ 528	
評価損益等調整前経常増減額	379	0	379	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	379	0	379	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 379	0	△ 379	
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関市彦島体育館（下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場）

事業計画書

1. 職員構成

職員3名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間
- | | |
|---------|------------------|
| 日曜日・祝日 | 9:00から17:00まで |
| 月曜日～土曜日 | 9:00から22:00まで |
| 休館日は、 | 12月28日から翌年1月4日まで |

3. 管理運営

- (1) 下関市彦島体育館の設置目的や公共施設であることを十分認識し、下関市の施策を鑑みて、同調・協力していく運営を基調とする。
- (2) 市民のみなさまに、余暇を楽しみながら心身とも健康の向上を図ることができる活気のある施設を提供する。
- (3) より多くの市民のみなさまに利用していただき、喜んでいただけるよう、スポーツ振興を中心に、幅広い観点から施設価値を引き出せるよう運営努力する。
また、幼児から中高年層まで幅広い世代を対象とした各自主事業を展開し、地域の方々と交流を図ることによる施設のPR、利用の増加に努める。
- (4) お客様の利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムを効率的に運用し、最大限に活用するとともにその普及に努める。
また、年間主要行事の使用調整について、滞りなく完結できるよう努める。
- (5) 研修会への参加、職員同士による知識・情報共有等の自己啓発を行うことにより、常に職員の資質向上を目指す。
- (6) アンケート調査等を行い、お客様の要望や各種スポーツに対するニーズを把握し、これらの情報や要望を施設運営へ反映するように努める。
- (7) 周辺自治会等への情報発信や行事への積極的参加を行い、地域コミュニケーションのネットワークを構築することにより、施設の周知・利便化はもとより、周辺地区の美化及び防犯に寄与する。
- (8) 施設内の巡視点検を常時行い、安全確保、異常の早期発見・防止に努める。
- (9) 不測の事態に備え、また、事故や災害が発生した場合を想定し、所轄消防署と連携を図りながら、定期的に消火訓練や避難訓練を実施するとともに、緊急対応マニュアルによる最善の応急処置等を行えるよう努める。

4. 設備管理

- (1) 業務委託による体育館無人時における機械警備、施設清掃（ワックス掛け、窓・屋上清掃）、貯水槽の衛生管理、消防用設備保守点検の施設管理を実施する。
- (2) 体育館、庭球場及び多目的広場に設置している器具備品等については、適時点検を実施し、不良箇所の早期発見に繋げ、安全の確保及び施設運営に支障が出ないように努める。

その他会計
 施設管理 7. 下関市彦島体育館
 (様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
大 中								
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	21,527	2,170	23,697	21,953	1,137	23,090	607	
施設管理料	21,527	-	21,527	21,953	-	21,953	△426	
受講料収益	-	1,260	1,260	-	820	820	440	
参加料収益	-	530	530	-	-	-	530	
飲食料収益	-	175	175	-	317	317	△142	
実費弁償収入	-	205	205	-	-	-	205	
雑収益	-	2	2	-	2	2	0	
受取利息	-	1	1	-	1	1	0	
雑収益	-	1	1	-	1	1	0	
経常収益計	21,527	2,172	23,699	21,953	1,139	23,092	607	
(2) 経常費用								
下関市彦島体育館事業費	20,857	2,056	22,913	20,938	1,042	21,980	933	
2 給料手当	9,030	-	9,030	8,978	-	8,978	52	
4 賞与引当金繰入額	508	-	508	629	-	629	△121	
5 臨時雇賃金	908	-	908	1,037	-	1,037	△129	
6 退職給付費用	680	-	680	540	-	540	140	
7 法定福利費	1,555	-	1,555	1,581	-	1,581	△26	
10 旅費交通費	47	-	47	70	2	72	△25	
11 通信運搬費	143	3	146	146	-	146	0	
13 広告宣伝費	10	30	40	-	-	-	40	
14 手数料	-	272	272	-	-	-	272	
16 消耗品費	147	300	447	162	136	298	149	
17 修繕費	1,000	-	1,000	1,000	-	1,000	0	
18 印刷製本費	35	39	74	25	-	25	49	
20 光熱水料費	4,718	-	4,718	4,718	-	4,718	0	
21 貸借料	26	299	325	26	94	120	205	
22 保険料	100	178	278	100	85	185	93	
23 諸謝金	-	767	767	-	487	487	280	
24 租税公課	1,048	-	1,048	1,056	54	1,110	△62	
27 委託費	902	-	902	870	-	870	32	
32 原材料費	-	118	118	-	184	184	△66	
34 予備費	-	50	50	-	-	-	50	
下関市彦島体育館管理費	670	116	786	1,015	97	1,112	△326	
本社費	670	116	786	1,015	97	1,112	△326	
経常費用計	21,527	2,172	23,699	21,953	1,139	23,092	607	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	159	159	-	-	-	159	
一般正味財産期末残高	0	159	159	0	0	0	159	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	159	159	0	0	0	159	

下関市立美術館

事業計画書

1. 職員構成

職員5名及び日々雇用職員をもって、管理運営を行う。

2. 営業時間 9:30~17:00 (入館は、16:30まで)

休館日は、月曜日

12月28日から翌年1月4日まで

ただし、下関市教育委員会が必要と認めるときには、休館日以外の日に臨時に休館し、または、休館日に臨時に開館する。

3. 管理運営

- (1)平成27年度 下関市立美術館観覧料の徴収、案内、監視等業務仕様書にもとづき業務を遂行する。
- (2) 公金及び観覧券の厳正なる管理に努める。
- (3) 美術館との連携を図り、各種展覧会に応じた人員配置を行い、円滑に業務を遂行する。企画展においては、日々雇用職員を雇用のうえ、監視業務を遂行する。
- (4) 図録の販売については、適性な在庫管理を行うとともに、各種展覧会に応じた陳列等を行い、販売促進に努める。
- (5) 展示物の知識を深め、適切な説明および対応が出来るよう努める。
- (6) 近隣の美術館及び博物館の情報を収集し、必要に応じてお客様に案内出来るよう努める。
- (7) 接遇については、お客様に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応じた適切な対応に努める。
- (8) 受託業務範囲内において、巡回点検等を実施し、人身事故、火災・盗難等防止のための監視体制を強化するとともに、お客様への安全確保の向上に努める。
- (9) 美術館が実施する消火訓練等に協力し、非常時の対応確認を行い、災害に備えるように努める。
- (10) 職員の資質向上のため、各関係機関が開催する接遇研修等に参加し、業務に反映させるよう努める。
- (11) 事故や災害が発生した場合、美術館館長の指示のもと、各職員が行動する体制を作る。
- (12) 個人情報の保護に関する法律および下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努める。

その他会計
 施設管理 8. 下関市立美術館
 (様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	22,918	23,036	△ 118	
施設管理料	22,918	23,036	△ 118	
経常収益計	22,918	23,036	△ 118	
(2) 経常費用				
下関市立美術館事業費	21,118	21,399	△ 281	
2 給料手当	12,366	12,443	△ 77	
4 賞与引当金繰入額	593	713	△ 120	
5 臨時雇賃金	3,550	3,645	△ 95	
6 退職給付費用	680	540	140	
7 法定福利費	2,114	2,211	△ 97	
10 旅費交通費	87	103	△ 16	
11 通信運搬費	86	81	5	
16 消耗品費	39	38	1	
18 印刷製本費	6	6	0	
21 賃借料	26	26	0	
24 租税公課	1,571	1,593	△ 22	
下関市立美術館管理費	1,800	1,637	163	
本社費	1,800	1,637	163	
経常費用計	22,918	23,036	△ 118	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関市勤労者総合福祉センター

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 平日 9:00 ~ 22:00

日曜日 9:00 ~ 17:00

休館日は、国民の祝日及び12月29日から翌年1月3日まで

3. 管理運営

- (1) 設置目的「勤労者の福祉の充実、及び勤労意欲の向上を図る。」達成のため、最少の経費で最大の効果をあげるように効率的な運営に努め、経費削減可能な方策等を考案し、下関市と連携して業務の遂行に努める。
- (2) 勤労者の福祉の充実、及び勤労意欲の向上を図るため、会議室及びアリーナ（体育館）等活動の場を提供する。
- (3) 利用者増員に向けて、お客様のニーズに対応した講座を健康スポーツ講座から5講座、教養文化講座から5講座、計10講座開講する。
- (4) お客様のニーズに柔軟に対応し、新規利用者増員のため、自主事業を実施する。
- (5) 勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上、市民の余暇の充実を図り、施設の周知及び利用者増加を目的とした1日体験講座を適時開講する。
- (6) 随時お客様へのアンケートを行ない、下関市に報告するとともに、施設の改善に努める。
- (7) 地域交流企画として、長府地区の公立幼稚園・保育園に協力依頼をし、園児が作品を通じ親への感謝の気持ちを育む場を提供し、施設のPRと利用者増加を図ることを目的とした「大好きパパ・ママ」似顔絵展を開催する。
- (8) 長府扇町安全協議会の会員になることにより、地域との交流を図り、定期総会・長府企業フェスタ・名刺交歓会等に参加し、施設の宣伝を実施することで、利用者増加に努める。
- (9) 周辺企業を訪問し、パンフレットや文化講座等のチラシを配布することにより、施設の利用促進に努める。
- (10) ロビーを展示スペースとし、お客様へ情報を提供する。
- (11) 文化講座発表の場としてロビー展を開催し、受講者増加に努める。
- (12) 安全な施設維持のため施設内及び周辺の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (13) 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。
- (14) 職員の資質向上のため、施設内でのミーティング実施、施設間の連携で知識の習得や技術の向上に努める。また、接遇研修等の各種研修会にも参加する。(全10回の研修に参加予定)
- (15) 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等行う。
- (16) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努める。

4. 設備管理

- (1) 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、浄化槽維持管理、自動扉開閉装置保守点検、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。
- (2) 施設の備品等について、適時状況点検を実施し、利用者の安全確保及び使用に支障のないように努める。

その他会計
施設管理
(様式2-1)

9. 下関市勤労者総合福祉センター

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
大 中								
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
事業収益	25,332	-	25,332	25,507	800	26,307	△ 975	
施設管理料	25,332	-	25,332	25,507	-	25,507	△ 175	
受講料収益	-	-	-	-	800	800	△ 800	
雑収益	-	-	-	-	2	2	△ 2	
受取利息	-	-	-	-	1	1	△ 1	
雑収入	-	-	-	-	1	1	△ 1	
経常収益計	25,332	-	25,332	25,507	802	26,309	△ 977	
(2) 経常費用								
下関市勤労者総合福祉センター事業費	19,943	-	19,943	20,803	778	21,581	△ 1,638	
2 給料手当	7,900	-	7,900	8,766	-	8,766	△ 866	
4 賞与引当金繰入額	447	-	447	620	-	620	△ 173	
6 退職給付費用	598	-	598	500	-	500	98	
7 法定福利費	1,333	-	1,333	1,475	-	1,475	△ 142	
10 旅費交通費	83	-	83	77	-	77	6	
11 通信運搬費	156	-	156	156	-	156	0	
13 広告宣伝費	46	-	46	13	-	13	33	
14 手数料	12	-	12	12	3	15	△ 3	
15 消耗什器備品費	-	-	-	-	95	95	△ 95	
16 消耗品費	146	-	146	146	57	203	△ 57	
17 修繕費	190	-	190	190	-	190	0	
18 印刷製本費	12	-	12	12	-	12	0	
19 燃料費	5	-	5	5	-	5	0	
20 光熱水料費	3,582	-	3,582	3,323	-	3,323	259	
21 賃借料	179	-	179	179	45	224	△ 45	
22 保険料	12	-	12	12	40	52	△ 40	
23 諸謝金	-	-	-	-	493	493	△ 493	
24 租税公課	848	-	848	940	45	985	△ 137	
25 支払負担金	22	-	22	22	-	22	0	
27 委託費	4,337	-	4,337	4,320	-	4,320	17	
29 行事費	35	-	35	35	-	35	0	
下関市勤労者総合福祉センター管理費	3,730	-	3,730	4,704	24	4,728	△ 998	
本社費	3,730	-	3,730	4,704	24	4,728	△ 998	
経常費用計	23,673	-	23,673	25,507	802	26,309	△ 2,636	
評価損益等調整前経常増減額	1,659	-	1,659	0	0	0	1,659	
評価損益等計	0	-	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	1,659	-	1,659	0	0	0	1,659	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	-	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	-	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	-	0	0	0	0	0	
他会計振替額	△ 1,659	-	△ 1,659	0	0	0	△ 1,659	
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税								
当期一般正味財産増減額	0	-	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	-	0	0	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	-	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	-	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	-	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	-	0	0	0	0	0	

長府庭園

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 開園時間 9:00～17:00

休業日は、12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 公共の施設である庭園の設置目的と指定管理者の意義を認識し、お客様に対し安心・安全の確保、サービスの提供及び効率を向上させることに努める。
- (2) お客様に対してはおもてなしの心で接し、ゆったりとした空間の中で、四季折々の木々花の美しさを感じ、楽しんで頂けるように努める。
- (3) 下関市報をはじめ、フリーペーパー、情報雑誌、新聞社、テレビ局等報道機関に情報発信をするとともに、職員による協力施設等へのポスター掲示や、周辺地域への広報活動、また公式ホームページによる告知等を積極的に行い、幅広い層への周知と集客に努める。
- (4) 書院及び茶室を有効に活用して頂けるように施設のPRに努める。
- (5) 蔵は年間を通じて市民ギャラリー等としてふさわしいものを誘致し、お客様の増加に努める。
- (6) お客様へ施設の説明・案内を行いサービス向上に努める。
- (7) 地域との連携を図り、下関市が主催する行事や地域行事等への参加、協力を積極的に行う。
- (8) 「孫文蓮」の開花に伴う観賞会、また、ひな飾りさげもん展等の自主企画を計画的に実施すると共に様々な自主事業を実施する。また、新たな自主企画・自主事業の立案にも力を入れ集客に努める。
- (9) アンケートを実施し、お客様の声を収集し、サービス等の向上に努める。
- (10) 施設の安全維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難防止の為の安全確保に努める。
- (11) 万が一事故や災害が発生した場合、緊急対応マニュアルにより応急処置等を行い、関係各所への報告、連絡、確認をすみやかに行う。
- (12) 職員の資質向上のため、施設内でのミーティングを実施し、常に職員間の意見交換を行うとともに、接遇研修や各種研修へ参加する。
- (13) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等関係法令を遵守し、個人情報の保護と適正管理に努める。

4. 設備管理

- (1) 日常清掃及び環境整備、中央監視装置保守や夜間機械警備の安全管理、また、庭園内の美しい景観を保つ為の維持管理を業務委託により行う。
- (2) 施設の設備等について随時点検を行い、お客様の安全を確保するとともに、使用に支障のないように努める。

その他会計
 施設管理 10. 長府庭園
 (様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	37,648	412	38,060	37,500	215	37,715	345	
施設管理料	37,648	-	37,648	37,500	-	37,500	148	
飲食料収益	-	25	25	-	-	-	25	
受講料収益	-	69	69	-	-	-	69	
参加料収益	-	3	3	-	-	-	3	
商品販売収益	-	150	150	-	200	200	△ 50	
販売手数料収益	-	45	45	-	15	15	30	
手数料収益	-	120	120	-	-	-	120	
雑収益	-	2	2	-	2	2	0	
受取利息	-	1	1	-	1	1	0	
雑収益	-	1	1	-	1	1	0	
経常収益計	37,648	414	38,062	37,500	217	37,717	345	
(2) 経常費用								
長府庭園事業費	35,795	382	36,177	34,891	160	35,051	1,126	
2 給料手当	9,069	-	9,069	9,058	-	9,058	11	
4 賞与引当金繰入額	508	-	508	629	-	629	△ 121	
6 退職給付費用	680	-	680	540	-	540	140	
7 法定福利費	1,567	-	1,567	1,593	-	1,593	△ 26	
10 旅費交通費	39	-	39	30	-	30	9	
11 通信運搬費	138	-	138	137	-	137	1	
13 広告宣伝費	87	15	102	87	-	87	15	
14 手数料	18	4	22	30	-	30	△ 8	
16 消耗品費	324	143	467	366	67	433	34	
17 修繕費	250	-	250	250	-	250	0	
18 印刷製本費	564	-	564	561	-	561	3	
20 光熱水料費	3,474	-	3,474	3,448	-	3,448	26	
21 賃借料	93	57	150	90	2	92	58	
22 保険料	6	-	6	6	-	6	0	
23 諸謝金	50	30	80	50	50	100	△ 20	
24 租税公課	978	-	978	973	9	982	△ 4	
27 委託費	17,950	-	17,950	17,043	-	17,043	907	
31 商品仕入	-	63	63	-	32	32	31	
32 原材料費	-	55	55	-	-	-	55	
34 予備費	-	15	15	-	-	-	15	
長府庭園管理費	1,853	32	1,885	2,609	57	2,666	△ 781	
本社費	1,853	32	1,885	2,609	57	2,666	△ 781	
経常費用計	37,648	414	38,062	37,500	217	37,717	345	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	19	19	0	0	0	19	
一般正味財産期末残高	0	19	19	0	0	0	19	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	19	19	0	0	0	19	

下関市ふれあい健康ランド

事業計画書

1. 職員構成

職員8名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 10:00～19:00

休場日は、水曜日（水曜日が祝日の場合は、翌日）、12月29日から翌年1月3日まで

3. 管理運営

(1) 安全確保を最優先課題とし、人身事故を未然に防止するとともに、関係法令に基づいた施設管理を徹底して行うほか、緊急時における初期対応・関係機関への通報を適切かつ冷静に行う。

(2) 幅広い世代の利用動機を高め、お客様の底辺拡大を目的とした自主事業及び自主企画事業を、年間を通して実施する。

自主事業：水泳教室、運動教室（リトミック教室含む。）、囲碁大会市長杯、介護予防教室（下関市より業務を受託し業務仕様書に基づき実施する）、読書感想文教室、温水プール及び研修室を利用した各種イベント及び利用者同士のふれあいを目的として幼児の遊べるキッズスペースを2階に新設して実施する。

自主企画事業：園児の絵画展、一日健康相談、脳げんき体操、ワンポイントアドバイスをを行うとともに夏季繁忙期のお客様のニーズに答え、夏休み期間中の臨時営業及び7～8月の夜間臨時営業をサマータイムとして実施し、市民へのサービスを図る。

(3) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努める。

(4) アンケート調査を実施することにより、利用されるお客様の声を反映し、より充実した施設運営に努める。

(5) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち、効率的・効果的な施設運営を図る。

(6) 能力向上を目的とした内部研修や専門知識・技術の習得を目的とした外部研修を行うほか、避難誘導訓練・心肺蘇生などの救急救命訓練を行い、職員の資質向上を図る。

(7) トラブルを未然に防止するため、設備機器の不備や説明の不備など、あらゆる面から想定される発生要因を見出し、防止対策を講じる。

また、トラブルが発生した場合には、素早く対応し市民へ誠意ある対応を行う。

4. 設備管理

(1) 温水プール・浴場・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理する。

(2) 高温水設備運転保守・法律に基づく検査業務など、専門的な知識・技術・器具等を必要とする業務については専門業者に委託し、管理に万全を期する。

その他会計
 施設管理 11. 下関市ふれあい健康ランド
 (様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	121,809	10,419	132,228	124,764	8,825	133,589	△ 1,361	
施設管理料	121,809	-	121,809	124,764	-	124,764	△ 2,955	
介護予防事業収益	-	-	-	-	360	360	△ 360	
受講料収益	-	9,756	9,756	-	8,465	8,465	1,291	
参加料収益	-	275	275	-	-	-	275	
受託料収益	-	360	360	-	-	-	360	
遊戯機使用料収益	-	28	28	-	-	-	28	
雑収益	-	2	2	-	2	2	0	
受取利息	-	1	1	-	1	1	0	
雑収益	-	1	1	-	1	1	0	
経常収益計	121,809	10,421	132,230	124,764	8,827	133,591	△ 1,361	
(2) 経常費用								
下関市ふれあい健康ランド事業費	105,396	9,494	114,890	102,618	8,291	110,909	3,981	
2 給料手当	29,383	-	29,383	29,230	-	29,230	153	
4 賞与引当金繰入額	1,862	-	1,862	2,135	-	2,135	△ 273	
5 臨時雇賃金	4,258	325	4,583	4,683	-	4,683	△ 100	
6 退職給付費用	2,720	-	2,720	1,889	-	1,889	831	
7 法定福利費	5,088	-	5,088	5,114	-	5,114	△ 26	
10 旅費交通費	332	-	332	526	38	564	△ 232	
11 通信運搬費	190	22	212	257	9	266	△ 54	
13 広告宣伝費	199	138	337	-	54	54	283	
14 手数料	229	4	233	522	4	526	△ 293	
15 消耗什器備品費	-	301	301	-	-	-	301	
16 消耗品費	3,800	486	4,286	3,812	456	4,268	18	
17 修繕費	4,320	54	4,374	3,240	76	3,316	1,058	
18 印刷製本費	891	13	904	891	13	904	0	
19 燃料費	7	-	7	7	-	7	0	
20 光熱水料費	25,181	-	25,181	24,754	-	24,754	427	
21 賃借料	555	4,578	5,133	555	3,438	3,993	1,140	
22 保険料	308	399	707	309	384	693	14	
23 諸謝金	-	2,678	2,678	-	3,278	3,278	△ 600	
24 租税公課	3,615	261	3,876	3,636	336	3,972	△ 96	
25 支払負担金	9	-	9	9	-	9	0	
27 委託費	22,358	-	22,358	20,894	-	20,894	1,464	
30 研修費	91	20	111	155	36	191	△ 80	
34 予備費	-	215	215	-	169	169	46	
下関市ふれあい健康ランド管理費 本社費	16,413 16,413	927 927	17,340 17,340	22,146 22,146	536 536	22,682 22,682	△ 5,342 △ 5,342	
経常費用計	121,809	10,421	132,230	124,764	8,827	133,591	△ 1,361	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	1,072	1,072	0	5	5	1,067	
一般正味財産期末残高	0	1,072	1,072	0	5	5	1,067	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	1,072	1,072	0	5	5	1,067	

長府毛利邸

事業計画書

1. 職員構成

職員4名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 利用時間 9:00~17:00

休業日は、12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 下関市の管理下にある事業所として規約を遵守し、正しい業務の遂行、効率的・効果的な予算の執行、環境への負担軽減、個人情報の取り扱い等適正に行う。また、空調・熱源・照明機器等の節減管理を徹底し、効率的な業務運営を行う。
- (2) 白壁に囲まれた邸内の歴史的・文化的価値のある武家屋敷造りの母屋や日本庭園の造形美の四季折々の趣が味わえるよう、庭園の維持管理や日常の環境整備に努める。また、母屋の各所に季節の山野草を生け、日常の清掃による清潔な場所、豊かな空間や静けさを生かした抹茶の提供などにより心のこもった接遇と合わせ、お客様にやすらぎや癒しを提供する施設としてリピーターの増加を図る。
- (3) 地元の団体等と連携協力して取り組む合同イベントなど、ともに地域の底上げ及び城下町長府の活性化を図る。施設の雰囲気にあう季節ごとの趣を生かした企画や日本の伝統文化にふれ、教養や趣味を深める講座や作品展など開催、また、お客様が参加できる体験コーナーの実施も増やしていく。さらに、今年はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」放映や維新の志士、毛利家の歴史に関心が寄せられることもあり、観光関連企画への積極的な協力や、関係各所へ協力いただき情報や資料・書籍などの収集に努め展示資料の充実を図るとともに、歴史のある観光施設としてアピールすることにより、施設の周知及び集客増加に努める。
- (4) 下関市報やそれに伴う広報媒体、マスコミ関係、長府各戸への回覧板、各市へ配布されるフリーペーパー・情報誌等、下関市の観光や施設のホームページ・イベント情報サイトの活用、JR各駅の掲示コーナー、観光関連施設等への積極的な情報発信に務める。また、観光業者へのPR拡充を図り、新たな斡旋契約によりツアー獲得及び誘致に努める。
- (5) 接遇研修や各種研修に積極的に参加し、職員の資質の向上や自己啓発を高め、お客様の満足度をあげるサービス向上に努める。座卓に用意する感想ノートの記事や定期的なアンケート実施により、感想や意見・要望の把握に努め、窓口で寄せられる声と合わせ分析・検討し、施設のあり方や職員の姿勢に反映させる。お客様からの母屋の説明・案内の要請には職員で積極的に対応する。こども文化パスポート事業の参加や校外学習での質問対応、インターンシップの受け入れなど積極的に行い、歴史的・文化的価値のある施設のよさを伝え、日本文化について学ぶ場となる施設としての役割を認識する。
- (6) 職員による邸内の巡回を度々行い異常の有無をチェックし、常にお客様の安全確保に努める。
また、定期的に消火設備を点検し災害に備え、万一災害や事故が発生した場合、緊急対応マニュアルに沿った連絡をすばやく行い、報告・連絡・確認を怠りなく実施する。

4. 設備管理

- (1) 庭園の樹木等の維持管理、環境整備、水景設備の保守、消防設備保守、夜間及び休業日の機械警備の安全管理を、それぞれ業務委託とする。
- (2) 委託や修繕業者の指導・監督体制の強化および報告書提出を義務付け、管理に万全を期す。

その他会計

施設管理 12. 長府毛利邸

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理事業	付随する自主事業	合計	指定管理事業	付随する自主事業	合計		
大中								
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	26,350	3,112	29,462	26,716	2,505	29,221	241	
施設管理料	26,350	-	26,350	26,716	-	26,716	△366	
受講料収益	-	-	-	-	15	15	△15	
参加料収益	-	350	350	-	-	-	350	
飲食料収益	-	2,462	2,462	-	2,280	2,280	182	
商品販売収益	-	300	300	-	210	210	90	
雑収益	-	2	2	-	2	2	0	
受取利息	-	1	1	-	1	1	0	
雑収益	-	1	1	-	1	1	0	
経常収益計	26,350	3,114	29,464	26,716	2,507	29,223	241	
(2) 経常費用								
長府毛利邸事業費	24,626	2,808	27,434	24,861	2,309	27,170	264	
2 給料手当	10,686	-	10,686	10,648	-	10,648	38	
4 賞与引当金繰入額	551	-	551	671	-	671	△120	
5 臨時雇賃金	525	-	525	507	-	507	18	
6 退職給付費用	680	-	680	540	-	540	140	
7 法定福利費	1,822	-	1,822	1,829	-	1,829	△7	
10 旅費交通費	77	10	87	106	10	116	△29	
11 通信運搬費	217	10	227	216	10	226	1	
13 広告宣伝費	92	65	157	103	83	186	△29	
14 手数料	24	10	34	24	10	34	0	
16 消耗品費	454	724	1,178	491	703	1,194	△16	
17 修繕費	170	20	190	170	20	190	0	
18 印刷製本費	326	-	326	430	-	430	△104	
19 燃料費	23	-	23	23	-	23	0	
20 光熱水料費	1,543	-	1,543	1,543	-	1,543	0	
21 賃借料	26	-	26	26	-	26	0	
22 保険料	7	-	7	7	-	7	0	
23 諸謝金	-	200	200	80	120	200	0	
24 租税公課	1,171	-	1,171	1,167	26	1,193	△22	
26 報酬	-	-	-	-	-	-	0	
27 委託費	6,232	-	6,232	6,280	-	6,280	△48	
28 交際費	-	20	20	-	20	20	0	
30 研修費	-	10	10	-	10	10	0	
31 商品仕入	-	1,639	1,639	-	1,297	1,297	342	
34 予備費	-	100	100	-	-	-	100	
長府毛利邸管理費	1,724	306	2,030	1,855	198	2,053	△23	
本社費	1,724	306	2,030	1,855	198	2,053	△23	
経常費用計	26,350	3,114	29,464	26,716	2,507	29,223	241	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	395	395	0	42	42	353	
一般正味財産期末残高	0	395	395	0	42	42	353	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	395	395	0	42	42	353	

粗大ごみ等受付センター

事業計画書

1. 職員構成

職員 5 名及びパート職員をもって業務を行う。

2. 営業時間 月曜日 8:15～19:00 (電話受付時間 9:00～19:00)
火～金曜日 8:15～17:00 (電話受付時間 9:00～17:00)
休業日は、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から翌年1月3日まで

3. 業務

- (1) 下関市の各家庭から排出される粗大ごみ等の収集申込みを電話及びインターネットにより受付し、受付伝票及び収集地図を整理した後、収集日の前日までにこれを的確に下関市(クリーン推進課)へ回付する。また、排出状況によりお客様への確認が必要である旨が収集車無線よりあった場合、お客様へ電話で確認し、無線により収集車へ対応方法を連絡する。なお、対応方法については、事前にクリーン推進課と協議し決定する。
- (2) 粗大ごみ等排出に関する規則の変更に対応し、クリーン推進課からの指示に従い、お客様へ変更後の規則の周知活動に貢献する。また、ごみ百科等の作成時には、できる限り協力する。
- (3) 電話受付時間のオペレータは原則 8 名配置とし、その他の職員により収集地図整理・受付票整理・無線対応業務・受付内容のチェック及び集計業務に従事する。
- (4) 受電数の集計及び分析を行い、受電数向上を強く意識するとともに、その対策についてクリーン推進課と協議し、必要に応じて報告・連絡・相談をする。また、高い受電率を達成できるよう考慮した勤務シフトにより、オペレータを配置する。

4. 資質向上の方策

- (1) 職員 1 人 1 人が粗大ごみ等受付センターの代表であるという共通意識のもと、お客様に対し責任をもった上質のサービスを提供することに努める。
- (2) 電話応対における検定試験の受験、各種研修会へ参加することで、電話応対の実践及び指導(コーチング等)における知識を学び、職場内研修(OJT)の質を高め、職員の電話応対技術の向上に努める。
- (3) 全オペレータのデスクに卓上鏡を設置し、「笑声」を実践した、お客様から好感をもっていただける質の高い電話応対に努める。

※「笑声」…「笑顔」で発声し、明るく聞き心地のよい声で対応すること。電話応対において重要な、声に表情をつける技術。

- (4) ハイレベルなオペレータと競い合うことのできる、「電話応対コンクール」に出場することで、アウトプットの研鑽を深め、高度な実践力をもつオペレータを育成することに努める。

(平成 26 年度実績)

下関地区予選：最優秀賞 1 名、優秀賞 6 名、敢闘賞 4 名(県支部大会出場権獲得者)

山口県支部大会：優秀賞 2 名(2 位、3 位)特別賞 2 名(7 位、8 位)

※業務に支障のないよう、予選通過上位 5 名を選抜して県支部大会に出場した。

- (5) 個人情報取扱特記事項を遵守し、プライバシーマーク認証取得をした水準で、個人情報保護の重要性を認識するとともに、個人の権利利益を害することのないよう努める。
- (6) ものせきエコマネジメントプランに基づき、下記のとおり環境に配慮した業務及び活動、また職員の自己啓発に努める(H26 年度 奥山工場研修 3 名参加)。

その他会計

施設管理 13. 粗大ごみ等受付センター
(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
大中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	43,517	44,863	△ 1,346	
施設管理料	43,517	44,863	△ 1,346	
経常収益計	43,517	44,863	△ 1,346	
(2) 経常費用				
粗大ごみ等受付センター事業費	39,959	42,407	△ 2,448	
2 給料手当	15,898	19,370	△ 3,472	
4 賞与引当金繰入額	813	1,257	△ 444	
5 臨時雇賃金	13,715	11,609	2,106	
6 退職給付費用	1,020	1,080	△ 60	
7 法定福利費	2,562	3,241	△ 679	
10 旅費交通費	1,545	1,323	222	
14 手数料	1	-	1	
16 消耗品費	1,514	1,476	38	
24 租税公課	2,865	3,051	△ 186	
30 研修費	26	-	26	
粗大ごみ等受付センター管理費	3,558	2,456	1,102	
本社費	3,558	2,456	1,102	
経常費用計	43,517	44,863	△ 1,346	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場

事業計画書

1. 職員構成

職員10名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 日曜日・祝日 9:00～17:00

月曜日～土曜日 9:00～22:00

休館日は、12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

(1) 「下関市体育施設の設置等に関する条例」等諸規則を遵守し、市民の健康の増進と体育の振興・普及に資するための公共施設であることを十分認識し、平等かつ公平な利用を確保して、お客様が安全かつ快適に利用できるよう適正な管理運営に努める。

(2) 適正な管理運営を図るため、下関市と管理運営全般に関する意見交換、情報を共有するなど密接な連携を保ち、運営方針について共通認識を持つことにより、施設の効果的・効率的な活用に取り組む。

(3) 「安全点検マニュアル表」に基づいた管理を徹底し、施設や機器の異常等をいち早く発見することによる危険要因の排除、事故や災害の未然防止・安全確保に努め、万が一事故等が発生した場合は、責任者の指示の下、緊急対応マニュアルにより速やかな対応と適切な処置を行う。

所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた消火訓練及び避難訓練を定期的実施する。

(4) お客様への接遇を強化し、親しまれる施設になるように努め、周辺地域や市教育機関等に施設利用の発信を行い利用増加を図る。各施設の予約については、下関市をはじめ各体育団体と連絡を密にとり、年間の使用調整を行うとともに、お客様の利便性向上のため、下関市公共予約システムの普及に努める。

また、アンケート調査を実施することにより、お客様の声を反映し、充実した施設運営に努める。

(5) 施設内でのミーティングの実施、接遇研修など各種研修会の受講を実施し、職員の資質向上、知識の習得や技術の向上及びサービスの充実を図る。

(6) 体育の振興・普及と地域住民との交流を目的とし、施設利用の呼び水として自主事業を実施し施設PR及び利用者増を図る。

平成27年度自主事業実施予定

①綺麗な身体作りエクササイズ	②初めてのテニス教室	
③キッズダンス教室	④ウォーキング教室	⑤太極拳教室
⑥バドミントン教室	⑦婚活スポーツ教室	

4. 設備管理

(1) お客様や周辺散策者の安全確保及び美観維持のため、環境整備に努める。照明設備、体育器具等については、お客様の安全確保と利用に支障が出ないよう適時点検を行う。

(2) 規定されている定期的な検査・点検等の維持管理については、関係法令を鑑み、専門業者により確実に実施する。

その他会計

施設管理 14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場
(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度		前年度		増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業	指定管理事業	指定管理事業		
大 中						
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益	76,978	76,532			446	
施設管理料	76,978	76,532			446	
経常収益計	76,978	76,532			446	
(2) 経常費用						
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場事業費	74,335	72,180			2,155	
2 給料手当	21,615	20,969			646	
4 賞与引当金繰入額	975	926			49	
5 臨時雇賃金	4,500	4,140			360	
6 退職給付費用	1,000	517			483	
7 法定福利費	3,441	3,002			439	
10 旅費交通費	193	229			△ 36	
11 通信運搬費	670	668			2	
14 手数料	47	47			0	
16 消耗品費	648	1,199			△ 551	
17 修繕費	3,500	3,500			0	
18 印刷製本費	195	301			△ 106	
19 燃料費	96	97			△ 1	
20 光熱水料費	19,132	19,132			0	
21 賃借料	1,355	1,346			9	
22 保険料	270	250			20	
24 租税公課	2,625	2,637			△ 12	
27 委託費	14,073	13,220			853	
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場管理費	974	2,236			△ 1,262	
本社費	974	2,236			△ 1,262	
経常費用計	75,309	74,416			893	
評価損益等調整前経常増減額	1,669	2,116			△ 447	
評価損益等計	0	0			0	
当期経常増減額	1,669	2,116			△ 447	
2. 経常外増減の部						
経常外収益計	0	0			0	
経常外費用計	0	0			0	
当期経常外増減額	0	0			0	
他会計振替額	△ 1,669	△ 2,116			447	
税引前当期一般正味財産増減額						
法人税、住民税及び事業税						
当期一般正味財産増減額	0	0			0	
一般正味財産期首残高	0	0			0	
一般正味財産期末残高	0	0			0	
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0			0	
指定正味財産期首残高						
指定正味財産期末残高	0	0			0	
III 正味財産期末残高	0	0			0	

下関市満珠荘

事業計画書

1. 職員構成

職員7名及び日々雇用職員をもって管理業務を行う。

2. 営業時間

開館時間 7:00～22:00

宿泊時間 チェックイン15:00から、チェックアウト翌日10:00まで

入浴時間 6:00～23:00

日帰入浴 9:00～22:00 (受付21:00まで)

※火曜日・水曜日 13:00～22:00 (受付21:00まで)

休館日 年中無休

3. 管理運営

- (1) 年間5,000人の宿泊者及び年間44,230人の日帰り入浴者の獲得を目標とする。
- (2) 宿泊者獲得に向け、3年間の動向分析を基に、宿泊企画商品等の積極的な販売、新規の文化講座、健康講座、館内イベント、ロビー展示等、自主事業の実施により、施設の目的を最も効率的・効果的に達成する。契約する旅行会社への営業を積極的に行い集客に努める。また、ネットエージェントを通じた予約の獲得に努める。
日帰り入浴者獲得に向け、スタンプカードの継続を行うとともに、脱衣場及び浴場内の清掃を徹底し、常に清潔感を保つことに努め、リピーターの増加を図る。なお、宿泊施設の管理ノウハウを活用した運営を行うとともに、新しいサービス提供によりリピーター利用率の向上に努めることとし、適正な管理運営を行う。
- (3) 平等・公平な利用を確保するため、全てのお客様に等しく快適な施設環境を提供するとともに、運営に関する全ての情報は当施設や市のホームページ、市報など、多様な媒体を通じて広く発信する。
- (4) 地元利用促進のため、老人会、自治会、企業等の団体誘致に努める。
- (5) 新規利用獲得に努める一方、サービスの提供によるリピーター確保のため、全てのお客様に対し一期一会の接遇に努め、客室環境の充実を図るとともにアンケートによるご意見・ご要望に対し迅速に対応する。
- (6) 四季を通じて地元の食材を生かした魅力ある料理の開発、販売を行う。
- (7) 売店においては、お客様のニーズに合わせた商品の仕入れ管理を徹底し、販売増に繋げる。
- (8) 機械設備に精通した日々雇用職員の雇用を行い、機械設備・安全設備・施設内外の巡視点検を実施、危険要因の排除により人身事故、火災、盗難等の事故防止に努め、安心安全な施設を維持する。
- (9) 電気、水道、ガス、消耗品等の使用を必要最低限とするよう全職員によるコスト管理を徹底し、経費節減に努める。
- (10) 所轄消防署との連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施、有事における万全を期する。
 - (11) 不測の事態が発生した場合は、緊急マニュアルに基づき速やかに対応し、必要な措置を適切に講じる。
 - (12) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。
 - (13) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図る。

4. 設備管理

- (1) 職員による機械設備の日常点検を行い、特殊な設備については専門業者による定期点検を実施する。また、異常の早期発見により機能保全に努める。
- (2) 職員による飲料水・浴場水の日常管理を行なうほか、配管洗浄・貯水槽清掃・水質検査等、必要な措置について専門業者により実施、適正な水質管理に万全を期する。
- (3) 厨房の給排水配管及び空調設備等については特に留意し、適正な環境維持に努めることにより衛生管理に万全を期し食中毒等重大事故を防止する。
- (4) 自動販売機等、設置機器の正常な機能保全に努める。

その他会計

15. 下関市満珠荘

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度		増減	備考
	指定管理事業	前年度 指定管理事業		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	112,719	116,089	△ 3,370	
施設管理料	1,208	1,208	0	
施設利用料	30,083	28,995	1,088	
飲食料収益	55,978	63,762	△ 7,784	
入浴料収益	22,518	18,851	3,667	
売店事業収益	318	362	△ 44	
販売手数料収益	1,677	2,082	△ 405	
自動販売機収益	841	733	108	
遊戯機使用料収益	96	96	0	
雑収益	2	2	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	1	1	0	
経常収益計	112,721	116,091	△ 3,370	
(2) 経常費用				
満珠荘事業費	111,753	115,172	△ 3,419	
2 給料手当	24,324	27,347	△ 3,023	
4 賞与引当金繰入額	753	740	13	
5 臨時雇賃金	17,115	16,643	472	
6 退職給付費用	2,023	718	1,305	
7 法定福利費	5,280	5,314	△ 34	
10 旅費交通費	611	571	40	
11 通信運搬費	583	583	0	
12 減価償却費	2,030	1,653	377	
13 広告宣伝費	1,000	1,292	△ 292	
14 手数料	1,941	1,669	272	
15 消耗什器備品費	200	1,714	△ 1,514	
16 消耗品費	1,851	1,842	9	
17 修繕費	150	112	38	
18 印刷製本費	720	737	△ 17	
19 燃料費	96	63	33	
20 光熱水料費	16,900	17,368	△ 468	
21 賃借料	4,873	4,620	253	
22 保険料	176	176	0	
23 諸謝金	90	0	90	
24 租税公課	3,591	3,066	525	
25 支払負担金	20	1	19	
27 委託費	9,944	9,786	158	
31 商品仕入	350	436	△ 86	
32 原材料費	17,132	18,721	△ 1,589	
満珠荘管理費	10	10	0	
本社費	10	10	0	
経常費用計	111,763	115,182	△ 3,419	
評価損益等調整前経常増減額	958	909	49	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	958	909	49	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 958	△ 909	△ 49	
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	△ 38,126	△ 25,305	△ 12,821	
一般正味財産期末残高	△ 38,126	△ 25,305	△ 12,821	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 38,126	△ 25,305	△ 12,821	

下関市営宿舍サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）

事業計画書

1. 職員構成 下関市営宿舍サングリーン菊川（以下、「サングリーン菊川」という。）は、職員5名及び日々雇用職員、また、下関市菊川温泉プール（以下、「菊川温泉プール」という。）は、職員2名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間 サングリーン菊川
開館時間 7:00～22:00、宿泊時間 チェックイン 15:00 からチェックアウト翌日 10:00 まで
入浴時間 6:30～23:00、日帰入浴 11:00～21:00、休館日 年中無休
菊川温泉プール
開場時間 4月から10月まで 10:00～20:00、11月から3月まで 13:00～20:00
休館日は、12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営
 - (1) 営業戦略にもとづく各種企画の実践により、利用者数及び収益拡大に努める。
 - (2) 料理自慢、きくがわ温泉の宿として地元はもとより、ネットエージェントとの契約により全国に魅力を発信する。
 - (3) 下関市の協力を得て、体験型修学旅行受入協議会の円滑な運営に努め、平成28年度修学旅行の誘致に向けた取り組みを実践する。
 - (4) 道の駅きくがわ、やまぐち県酪乳業などの地元団体との連携により、中国青島からの観光客受入体制を確立する。
 - (5) 菊川温泉プールでは、幼児から高齢者まで、更にはリハビリ等で利用されている身体の不自由な方々も安心して利用できる健康増進の場を提供し、市民の福利向上に寄与する。
 - (6) 両施設においては、お客様アンケートを実施し、可能な限り施設運営へ反映し、顧客満足の向上に努める。
 - (7) ホームページ、折込チラシ、ダイレクトメールなど効果的な媒体を活用し、企画商品の販売促進及び情報提供に努めるとともに、地元企業等のリピーターに対する営業活動を積極的に実施する。
 - (8) パート職員を含む職員の接遇研修の実施により、また訪れたい施設と感じていただける、より質の高い接遇を実践する。
 - (9) 施設の衛生管理については正しい知識のもと、日々適正に清掃及び消毒等の処置を行い、食中毒やレジオネラ属菌の発生等、施設運営に致命的な損害を加える事故の防止に対し万全を期する。
 - (10) 所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施する。
また、不測の事態に備え、緊急対応マニュアルを整備するとともに、発生時には適切に対応する。
 - (11) 下関市と密接な連携を取り、共通認識のもと効率的・効果的な施設運営に努める。

4. 設備管理
 - (1) 機械設備の日々点検は職員により行い、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、専門的知識を要する点検等においては、専門業者へ業務の委託を行い、その実施について監督することとする。
 - (2) 厨房機器及び浴場・プールの水質管理に関する機器については専門業者による保守・点検を実施し、「安全・安心」な環境の提供に努めると共に、重大事故の未然防止に万全を期する。

その他会計

16. 下関市営宿舍サングリーン菊川 (下関市菊川温泉プール)

(様式2-1)

平成27年度収支予算書 (正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度 (指定管理事業)				合計	前年度 (指定管理事業)				増減	備考
	サングリーン 菊川	菊川温泉プール				サングリーン 菊川	菊川温泉プール				
		指定管理 事業	付随する 自主事業	計			指定管理 事業	付随する 自主事業	計		
大 中											
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
事業収益	125,328	30,266	136	30,402	155,730	130,106	30,266	205	30,471	160,577	△ 4,847
施設管理料	3,500	30,266	-	30,266	33,766	3,500	30,266	-	30,266	33,766	0
受講料収益	-	-	114	114	114	-	-	115	115	115	△ 1
商品販売収益	-	-	22	22	22	-	-	90	90	90	△ 68
施設利用料	29,600	-	-	-	29,600	30,167	-	-	-	30,167	△ 567
飲食料収益	77,300	-	-	-	77,300	81,221	-	-	-	81,221	△ 3,921
入浴料収益	11,200	-	-	-	11,200	10,745	-	-	-	10,745	455
入湯料収益	1,200	-	-	-	1,200	1,086	-	-	-	1,086	114
売店事業収益	700	-	-	-	700	888	-	-	-	888	△ 188
自動販売機収益	800	-	-	-	800	828	-	-	-	828	△ 28
手数料	850	-	-	-	850	1,431	-	-	-	1,431	△ 581
実費弁償金収入	178	-	-	-	178	240	-	-	-	240	△ 62
雑収益	672	-	2	2	674	17	-	-	-	17	657
受取利息	2	-	1	1	3	2	-	-	-	2	1
雑収益	670	-	1	1	671	15	-	-	-	15	656
経常収益計	126,000	30,266	138	30,404	156,404	130,123	30,266	205	30,471	160,594	△ 4,190
(2) 経常費用											
サングリーン菊川事業費	125,790	30,188	136	30,324	156,114	129,123	30,241	167	30,408	159,531	△ 3,417
2 給料手当	19,514	6,626	-	6,626	26,140	19,362	6,359	-	6,359	25,721	419
4 賞与引当金繰入額	708	388	-	388	1,096	890	333	-	333	1,223	△ 127
5 臨時雇賃金	20,598	4,870	-	4,870	25,468	22,512	5,148	-	5,148	27,660	△ 2,192
6 退職給付費用	1,700	680	-	680	2,380	1,350	270	-	270	1,620	760
7 法定福利費	5,129	1,173	-	1,173	6,302	5,424	1,076	-	1,076	6,500	△ 198
10 旅費交通費	540	34	-	34	574	568	56	-	56	614	△ 40
11 通信運搬費	1,093	172	-	172	1,265	773	185	-	185	958	307
13 広告宣伝費	2,200	-	15	15	2,215	1,383	-	-	-	1,383	832
14 手数料	2,900	1	-	1	2,901	3,136	5	-	5	3,141	△ 240
15 消耗什器備品費	500	-	-	-	500	800	-	-	-	800	△ 300
16 消耗品費	4,500	1,404	3	1,407	5,907	4,477	1,419	19	1,438	5,915	△ 8
17 修繕費	1,000	207	-	207	1,207	1,000	207	-	207	1,207	0
18 印刷製本費	150	146	-	146	296	130	146	-	146	276	20
19 燃料費	9,500	5,438	-	5,438	14,938	8,613	5,233	-	5,233	13,846	1,092
20 光熱水料費	12,500	5,586	-	5,586	18,086	11,595	6,111	-	6,111	17,706	380
21 貸借料	3,500	59	57	116	3,616	3,801	83	67	150	3,951	△ 335
22 保険料	450	40	17	57	507	408	39	30	69	477	30
23 諸謝金	-	-	40	40	40	-	-	32	32	32	8
24 租税公課	5,205	1,104	-	1,104	6,309	5,281	1,083	9	1,092	6,373	△ 64
25 支払負担金	60	16	-	16	76	55	16	-	16	71	5
26 報酬	-	-	-	-	-	284	-	-	-	284	△ 284
27 委託費	6,558	2,244	-	2,244	8,802	6,438	2,472	-	2,472	8,910	△ 108
28 交際費	50	-	-	-	50	50	-	-	-	50	0
30 研修費	15	-	-	-	15	17	-	-	-	17	△ 2
31 商品仕入	500	-	-	-	500	864	-	-	-	864	△ 364
32 原材料費	26,900	-	4	4	26,904	29,902	-	10	10	29,912	△ 3,008
33 寄付金	20	-	-	-	20	20	-	-	-	20	0
サングリーン菊川管理費	210	78	2	80	290	1,000	25	38	63	1,063	△ 773
本社費	210	78	2	80	290	1,000	25	38	63	1,063	△ 773
経常費用計	126,000	30,266	138	30,404	156,404	130,123	30,266	205	30,471	160,594	△ 4,190
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額											
税引前当期一般正味財産増減額											
法人税、住民税及び事業税											
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	△ 2,658	0	0	0	△ 2,658	△ 615	0	0	0	△ 615	△ 2,043
一般正味財産期末残高	△ 2,658	0	0	0	△ 2,658	△ 615	0	0	0	△ 615	△ 2,043
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高											
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 2,658	0	0	0	△ 2,658	△ 615	0	0	0	△ 615	△ 2,043

売店

事業計画書

1. 職員構成

職員1名及び日々雇用職員をもって、独立採算で売店経営の健全な運営を行う。

2. 管理運営

(1) 長府庭園売店

- ア. 蔵のイメージを活かした店舗で対面販売を行い、お客様の購買意欲を高める。
- イ. 観光施設であることを認識し、観光客のニーズに合う商品を取り揃える。
- ウ. 地元で人気のある作家の商品を販売し、地元客への販売促進に努める。
- エ. 周辺地域及び市の観光行政と連携を図り、積極的なPR活動に努める。
- オ. 季節感のある商品構成、及び店内装飾を行いお客様の購買意欲に訴求する。
- カ. 2階の展示販売については、人気のある作家の誘致に努め、売上向上を図る。

(2) 下関市ふれあい健康ランド売店

- ア. 地場野菜を販売し売上向上を図ると共に、地域農家と連携し共生を図る。
- イ. 水泳関連商品などを揃え、施設を利用するお客様の利便性向上に努める。
- ウ. 施設の利用層を把握し、お客様のニーズに合った商品を揃え販売促進に努める。
- エ. マッサージ機を設置することによりお客様の満足度を高める。
- オ. 下関市ふれあい健康ランド自主事業と連携し、ゲームを取り入れたイベントを開催して販売促進に努める。

(3) 自動販売機及び遊戯機

- ア. 飲料水自動販売機(市内33カ所57台)の管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努める。
- イ. 自動販売機を新規に設置できるよう市場調査を行い、手数料収入の増加を図る。
- ウ. 飲料水自動販売機設置業者と連携し、省電力化できる機器取付等、節電の推進を行う。
- エ. 望遠鏡等は定期的に運転チェックを行い、品質管理を行う。

(4) 共通事項

- ア. 売上金の管理については、安全かつ厳正を期するよう努める。
- イ. 取り扱う商品については、賞味期限等に細心の注意を払い安全な商品の販売に努める。
- ウ. 売店店舗については、不測の事態に備え保険に加入する。
- エ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努め、プライバシーマークの認証取得をした。

3. 設備管理

売店店舗においては、お客様の安全確保のため、店内レイアウトの変更等商品配置の見直しを図り、売り場の改善に努める。

その他会計

17. 売店

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
大 中				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
事業収益	10,630	14,153	△ 3,523	
売店事業収益	430	868	△ 438	
販売手数料収益	3,100	4,589	△ 1,489	
自動販売機収益	5,300	6,444	△ 1,144	
遊戯機使用料収益	380	405	△ 25	
実費弁償金収益	1,420	1,847	△ 427	
雑収益	23	319	△ 296	
受取利息	16	12	4	
雑収益	7	307	△ 300	
経常収益計	10,653	14,472	△ 3,819	
(2) 経常費用				
売店事業費	10,030	14,444	△ 4,414	
2 給料手当	2,875	7,117	△ 4,242	
4 賞与引当金繰入額	151	451	△ 300	
5 臨時雇賃金	1,313	-	1,313	
6 退職給付費用	340	194	146	
7 法定福利費	482	1,195	△ 713	
10 旅費交通費	146	103	43	
11 通信運搬費	208	208	0	
14 手数料	10	10	0	
15 消耗什器備品費	30	30	0	
16 消耗品費	183	190	△ 7	
17 修繕費	54	54	0	
18 印刷製本費	51	51	0	
20 光熱水料費	1,600	1,871	△ 271	
21 賃借料	880	988	△ 108	
22 保険料	35	25	10	
24 租税公課	429	734	△ 305	
25 支払負担金	14	8	6	
26 報酬	315	315	0	
28 交際費	60	60	0	
29 行事費	180	171	9	
31 商品仕入	674	669	5	
売店管理費	623	10	613	
本社費	623	10	613	
経常費用計	10,653	14,454	△ 3,801	
評価損益等調整前経常増減額	0	18	△ 18	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	18	△ 18	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	18	△ 18	
一般正味財産期首残高	53,442	54,140	△ 698	
一般正味財産期末残高	53,442	54,158	△ 716	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	53,442	54,158	△ 716	

駐車場

山口県が所有する土地について、占用許可を得て月極駐車場として管理運営を行うもの。

事業計画書

1. 職員構成 職員1名を配置し、管理業務を行う。
2. 利用時間 0:00~24:00 年中無休
3. 利用可能台数
 - (1) 関彦橋駐車場 72台(第1:35台、第2:11台、第3:26台)
 - (2) 筋川駐車場 26台
 - (3) 迫町駐車場 53台
4. 業務内容
 - (1) 使用料の徴収事務、お客様への受付案内を行う。
 - (2) 使用料の取扱については、安全かつ厳正なる管理に努める。
 - (3) 接遇については、お客様に親しみを感じていただける対応とするよう努める。
 - (4) 事故、災害等が発生した場合やお客様からの要望等、速やかに対応する。
 - (5) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、お客様の個人情報の保護についても適正に管理する。
 - (6) ホームページで広報する等、利用台数の増加を図る。
5. 設備管理

職員による定期的な巡回点検等を行い、危険要因を排除し、入出庫の円滑化や利用者の安全確保及び利便性の向上に努める。

また、場内清掃や植栽の剪定等を定期的に行い、衛生と美観の維持に努める。

その他会計

18. 駐車場

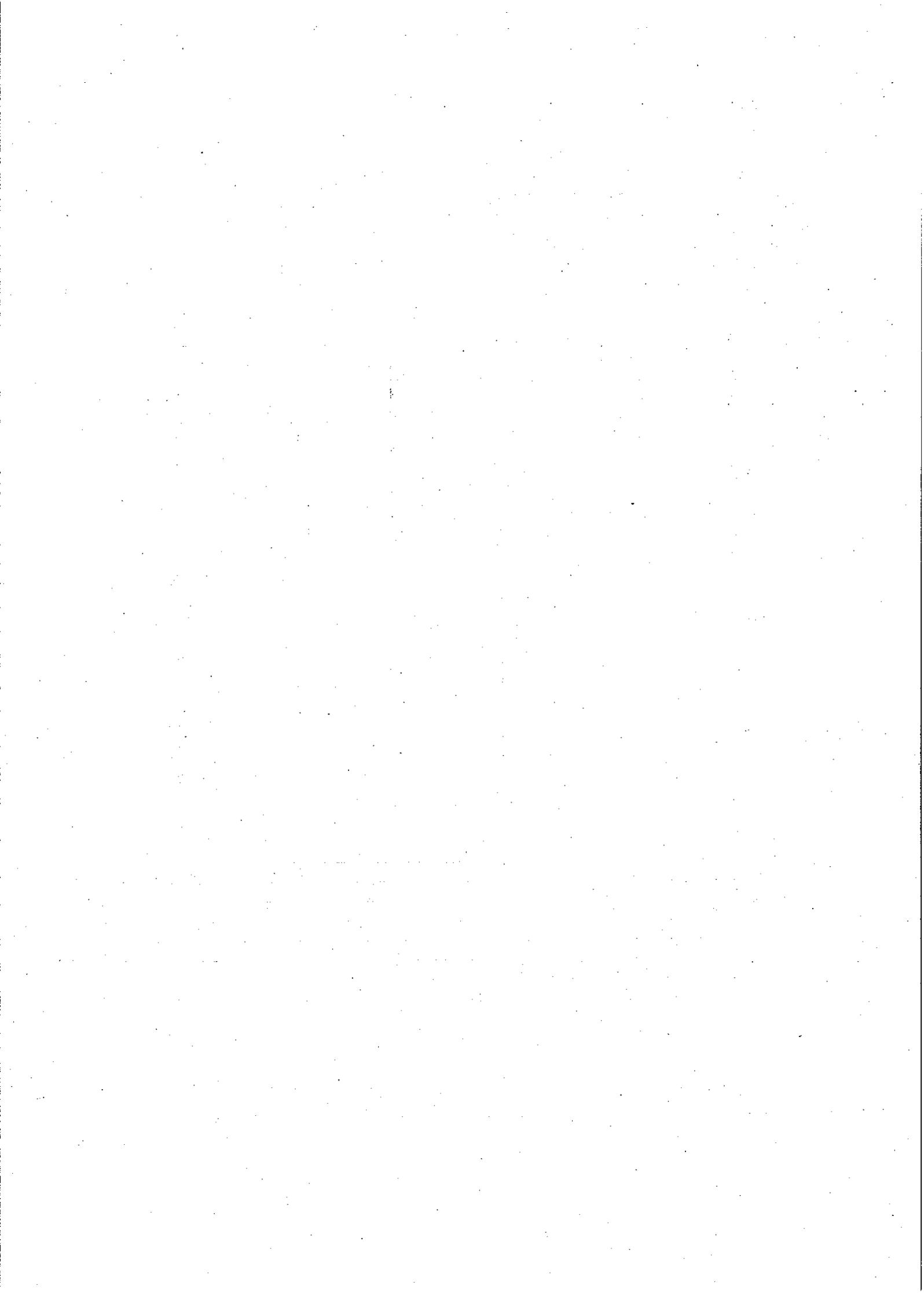
(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
大中	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	5,775	6,231	△ 456	
手数料収益	3	3	0	
駐車料収益	5,772	6,228	△ 456	
雑収益	2	2	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	1	1	0	
経常収益計	5,777	6,233	△ 456	
(2) 経常費用				
駐車場事業費	4,541	6,223	△ 1,682	
2 給料手当	1,698	1,694	4	
4 賞与引当金繰入額	43	42	1	
7 法定福利費	284	278	6	
10 旅費交通費	30	-	30	
11 通信運搬費	73	68	5	
13 広告宣伝費	88	217	△ 129	
14 手数料	10	10	0	
16 消耗品費	150	182	△ 32	
17 修繕費	335	389	△ 54	
18 印刷製本費	3	3	0	
19 燃料費	-	20	△ 20	
20 光熱水料費	337	337	0	
21 賃借料	650	647	3	
22 保険料	30	17	13	
24 租税公課	284	310	△ 26	
26 報酬	315	315	0	
27 委託費	211	416	△ 205	
34 予備費	-	1,278	△ 1,278	
駐車場管理費	1,236	10	1,226	
本社費	1,236	10	1,226	
経常費用計	5,777	6,233	△ 456	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額				
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,958	164	1,794	
一般正味財産期末残高	1,958	164	1,794	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,958	164	1,794	



平成 2 7 年 度

法 人 会 計 内 訳

事 業 計 画 内 訳 書

収 支 予 算 内 訳 書

本 社

事業計画書

1. 役員、職員構成

常勤役員として、理事長1名、専務理事1名及び職員6名をもって、管理運営を行う。
また、社有車2台（うち運搬用軽自動車1台）を有効活用する。

2. 営業時間 月曜日から金曜日まで 8:30から17:15まで

休業日は、土曜日、日曜日及び祝日と12月29日から翌年1月3日まで

3. 管理運営

- (1) 下関市より指定管理者の指定または委託を受けた施設の適正な管理運営を行うとともに、実施事業（公益目的事業）や自主事業及びこれらに必要な付帯事業について、下関市及び関係各機関との連絡調整等緊密な連携を図り、効率的かつ効果的な運営を進める。
- (2) 施設管理業務を適正に遂行するために、各事業所の指導及び連絡調整を行い、次の業務を行う。
 - ア. 評議員会、理事会の開催に関すること。
 - イ. 事業計画と予算及び事業報告と決算を行う。
 - ウ. 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
 - エ. 全事業所の契約に関すること。
 - オ. 全事業所の出納事務に関すること。
 - カ. 職員の接遇や資質向上を目的として研修計画を策定のうえ、適切に実施する。
 - キ. 管理事務所の責任者を招集のうえ責任者会議を実施する。
 - ク. 経営改善を図るため、下関市総務部総務課と連絡調整会議を開催する。
- (3) 平成27年度は指定を受けている多くの指定管理施設において選定にかかる公募が行われるため、本社においてプロジェクトチームを設置し、応募する施設の獲得を目指す。
- (4) 各施設の運営については「最少経費で最大効果を挙げること」を目的とし、各事業の効率的、かつ効果的な運営を図るために管理事務所を設置し、事業所責任者を配置し、円滑な業務・事務処理を行うよう指導する。
- (5) お客様の安全管理及び安全確保に努める、職員による巡視点検・監視体制の強化を図るよう各事業所を指導する。
- (6) 事業所責任者の指導のもと、前例や慣例の踏襲に甘んじることなく「サービスの向上」や「お客様の利用の拡大」、「収益の向上」を目的とした新規事業、企画等を立案・実施できるように促す。
- (7) 個人情報保護マネジメントシステムを導入し、業務で取得したすべての個人情報について適切な保護措置の整備を図り、平成27年度においてプライバシーマーク認証取得をした。
- (8) 必要な経費の支出の事務取扱等については、整理統一のうえ、事務処理の簡素化を図り、事務効率の改善を実施し合理化を図り、インターネットを有効活用して、各事業所への情報伝達の迅速化及び事務改善に努める。
- (9) 自社公式ホームページにより、当管理公社の事業内容の紹介、各事業所の情報発信、求人案内等を行い広報に努める。
- (10) 高齢者多数雇用奨励金を財源とした福利厚生事業会計については、平成26年度をもって本社会計へ整理統合のうえ閉鎖する。なお、職員の資格取得や健康診断等の事業は本社において実施する。

法人会計

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	本社	福利厚生 事業	合計	本社	福利厚生 事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	11	-	11	8	-	8	3	
基本財産受取利息	11	-	11	8	-	8	3	
管理費収益	49,651	-	49,651	57,095	-	57,095	△ 7,444	
本社管理費収益	49,651	-	49,651	57,095	-	57,095	△ 7,444	
火の山地区観光施設	1,188	-	1,188	1,196	-	1,196	△ 8	
火の山ロープウェイ	522	-	522	522	-	522	0	
下関市勤労青少年ホーム	4,525	-	4,525	5,123	-	5,123	△ 598	
唐戸市場駐車場	3,024	-	3,024	3,003	-	3,003	21	
下関市長府体育館	1,311	-	1,311	1,461	-	1,461	△ 150	
下関市市民プール	4,012	-	4,012	4,555	-	4,555	△ 543	
下関市彦島体育館	786	-	786	1,112	-	1,112	△ 326	
下関市立美術館	1,800	-	1,800	1,637	-	1,637	163	
下関市勤労者総合福祉センター	3,730	-	3,730	4,728	-	4,728	△ 998	
長府庭園	1,885	-	1,885	2,666	-	2,666	△ 781	
下関市ふれあい健康ランド	17,340	-	17,340	22,682	-	22,682	△ 5,342	
長府毛利邸	2,030	-	2,030	2,053	-	2,053	△ 23	
粗大ごみ等受付センター	3,558	-	3,558	2,456	-	2,456	1,102	
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場	974	-	974	2,236	-	2,236	△ 1,262	
サングリーン菊川(菊川温泉プール)	290	-	290	1,063	-	1,063	△ 773	
満珠荘	10	-	10	10	-	10	0	
売店	623	-	623	10	-	10	613	
駐車場	1,236	-	1,236	10	-	10	1,226	
実施事業等会計(公益目的事業)	807	-	807	572	-	572	235	
受取手数料	526	-	526	-	-	-	526	
全国市長会保険料事務	126	-	126	-	-	-	126	
下関市職員OB親和会事務	400	-	400	-	-	-	400	
雑収益	30	-	30	10	1	11	19	
受取利息	29	-	29	9	1	10	19	
雑収入	1	-	1	1	-	1	0	
経常収益計	50,218	-	50,218	57,113	1	57,114	△ 6,896	
(2) 経常費用								
本社管理費	50,137	-	50,137	57,003	999	58,002	△ 7,865	
1 役員報酬	5,770	-	5,770	5,997	-	5,997	△ 227	
2 給料手当	21,770	-	21,770	25,540	-	25,540	△ 3,770	
3 役員賞与引当金繰入額	351	-	351	445	-	445	△ 94	
4 賞与引当金繰入額	1,252	-	1,252	1,757	-	1,757	△ 505	
5 臨時雇賃金	102	-	102	50	-	50	52	
6 退職給付費用	2,380	-	2,380	2,075	-	2,075	305	
7 法定福利費	4,473	-	4,473	4,832	-	4,832	△ 359	
8 福利厚生費	790	-	790	823	45	868	△ 78	
9 会議費	50	-	50	43	-	43	7	
10 旅費交通費	924	-	924	465	167	632	292	
11 通信運搬費	519	-	519	543	-	543	△ 24	

法人会計

(様式2-1)

平成27年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	本社	福利厚生 事業	合計	本社	福利厚生 事業	合計		
大 中								
14 手数料	473	-	473	1,394	151	1,545	△ 1,072	
15 消耗什器備品費	0	-	0	85	-	85	△ 85	
16 消耗品費	456	-	456	723	6	729	△ 273	
17 修繕費	76	-	76	65	22	87	△ 11	
18 印刷製本費	44	-	44	141	-	141	△ 97	
19 燃料費	160	-	160	146	-	146	14	
20 光熱水料費	540	-	540	540	-	540	0	
21 賃借料	2,261	-	2,261	1,623	247	1,870	391	
22 保険料	209	-	209	110	113	223	△ 14	
24 租税公課	2,982	-	2,982	3,325	40	3,365	△ 383	
25 支払負担金	119	-	119	69	45	114	5	
26 報酬	2,662	-	2,662	4,238	20	4,258	△ 1,596	
27 委託費	111	-	111	638	-	638	△ 527	
28 交際費	50	-	50	100	-	100	△ 50	
30 研修費	1,613	-	1,613	1,236	143	1,379	234	
経常費用計	50,137	-	50,137	57,003	999	58,002	△ 7,865	
評価損益等調整前経常増減額	81	-	81	110	△ 998	△ 888	969	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	81	0	81	110	△ 998	△ 888	969	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
税引前当期一般正味財産増減額								
法人税、住民税及び事業税	81	-	81	72	-	72	9	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	38	△ 998	△ 960	960	
一般正味財産期首残高	25,042	51	25,093	11,000	104	11,104	13,989	
一般正味財産期末残高	25,042	51	25,093	11,038	△ 894	10,144	14,949	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	25,042	51	25,093	11,038	△ 894	10,144	14,949	